

II . 項目別調査結果

市民アンケートでのAI活用実証 前橋市「住みやすさ」に関する意識調査

業務報告書

2020年 3月

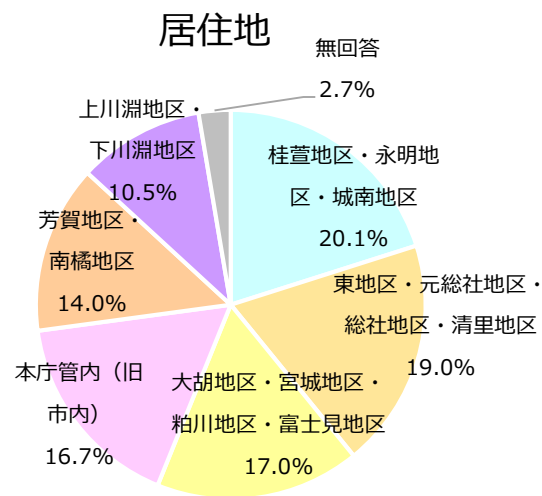
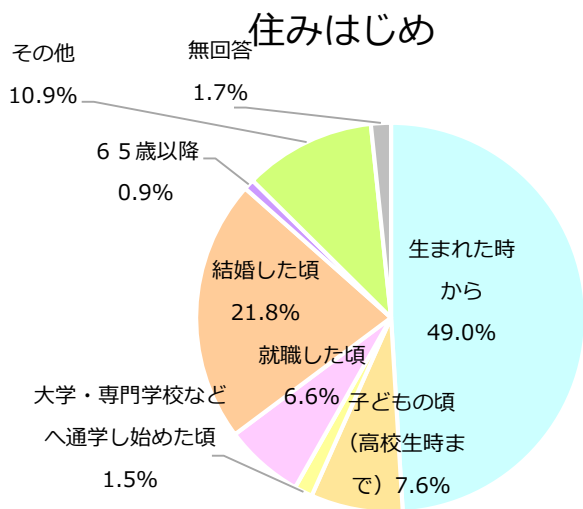
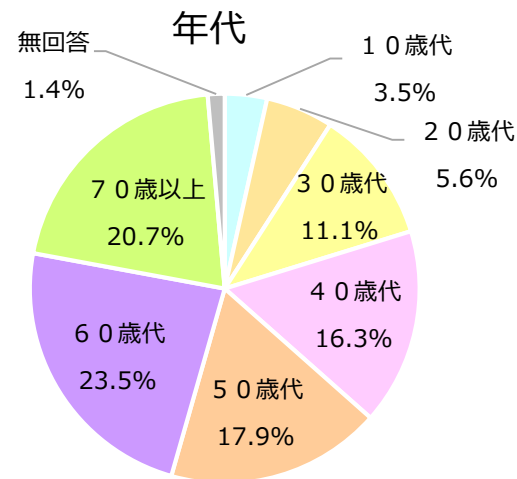
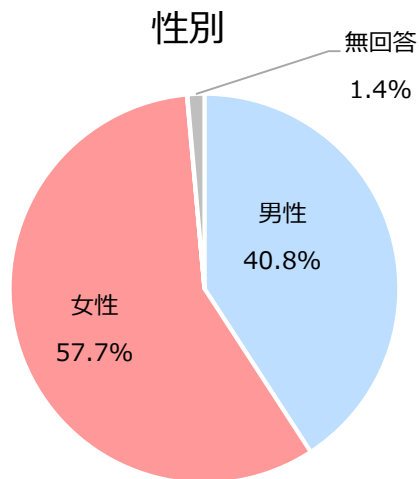


1. 単純集計からみた住みやすさ	9
2. 性・年代別集計からみる住みやすさ	19
3. 地区別集計からみる住みやすさ	29
4. 設問間集計からみる住みやすさ	37
5. フリーコメント×AIによる課題抽出	42

8

1. 単純集計からみた住みやすさ

対象者属性 (n=2,712) 単位：件数



資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

copyright© Insight Tech

注：問1以降すべて空欄となっているサンプルを除外し、2,712件を母数とする。

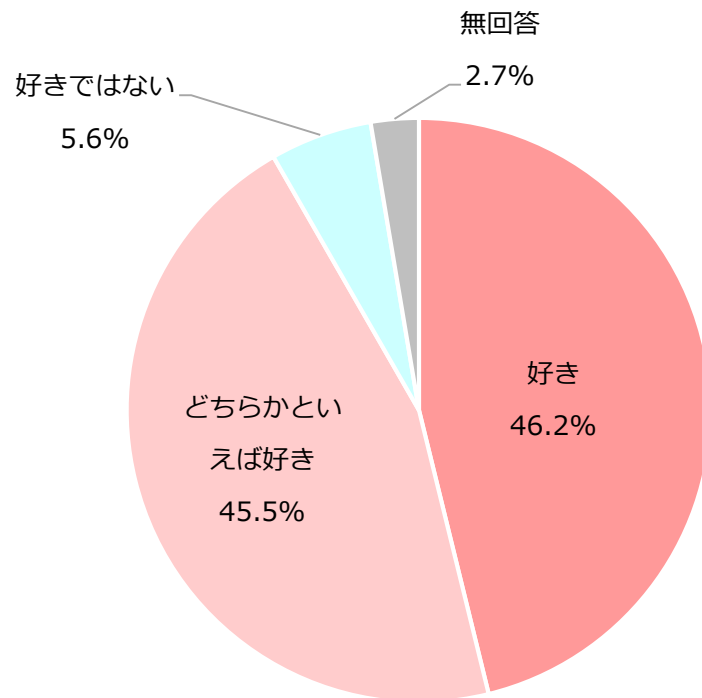
1. 単純集計

前橋市が好きかどうか



- 全体の46.2%が「好き」、45.5%が「どちらかといえば好き」と回答しており、回答者の9割以上が好意的な印象を有している。
- 「好きではない」とした回答者は全体の5.6%と僅少。

問1 あなたは前橋市というまちが好きですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。



(n=2,712)

資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

copyright© Insight Tech inc.

1. 単純集計

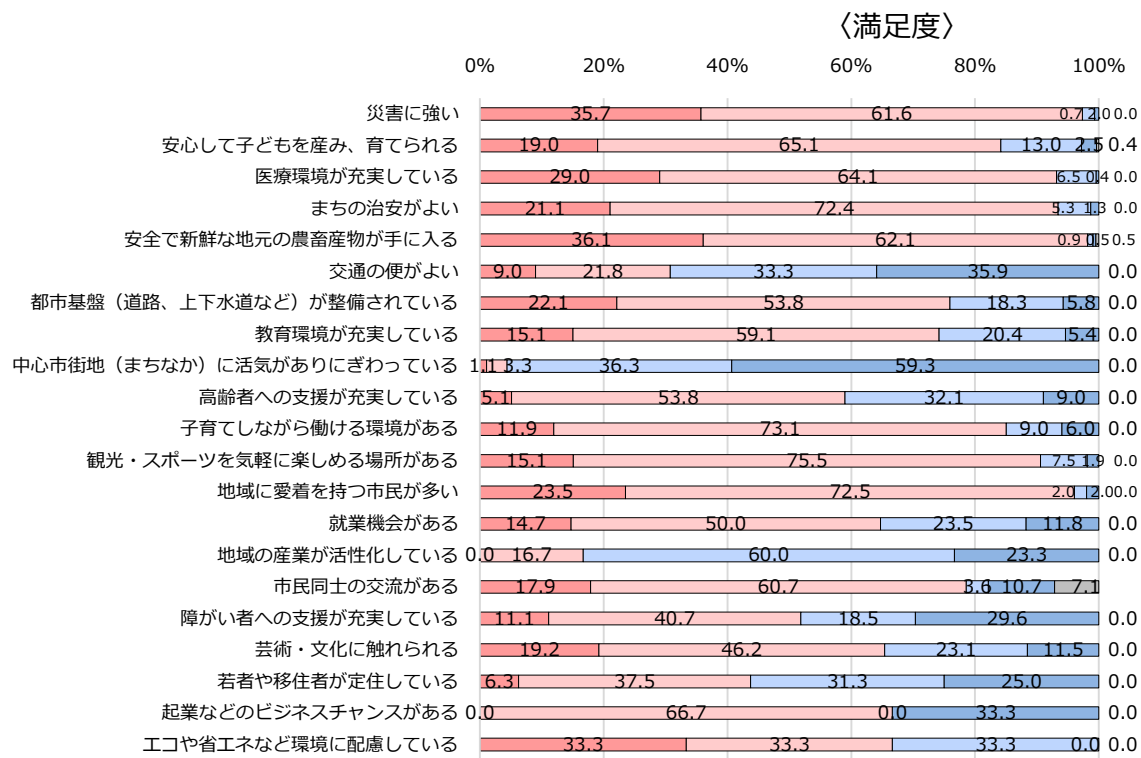
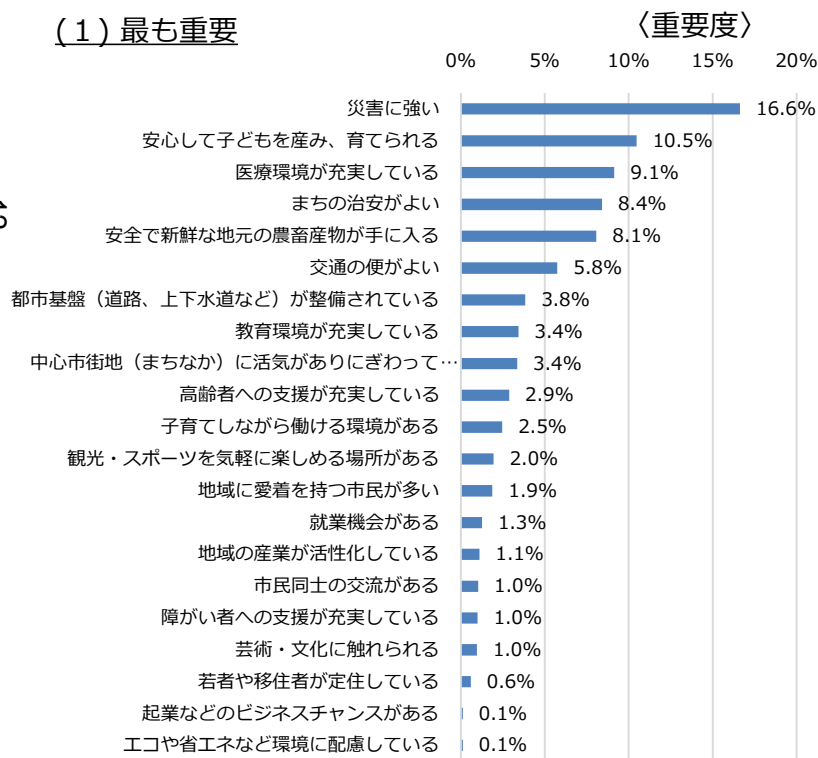
住みやすさについて（最も重要なこと）



- 前橋市民が住みやすさにおいて最も重視することとしては「災害に強い」ことが最多。次いで「安心して子どもを産み、育てられる」、「医療環境が充実している」、「まちの治安がよい」と続く。
- これらの満足度は概ね高い。一方で「交通の便」「中心市街地の活気」「産業の活性化」は満足度が低い。

問2 前橋市というまちの住みやすさについて、あなたが最も重要としているものを3つ選び、その満足度についてあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

(1) 最も重要



(n=2,712)

赤 = とても満足 白 = 満足 青 = 不満 水色 = とても不満 灰色 = 無回答

(n=2,712)

資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

copyright© Insight Tech inc.

1. 単純集計

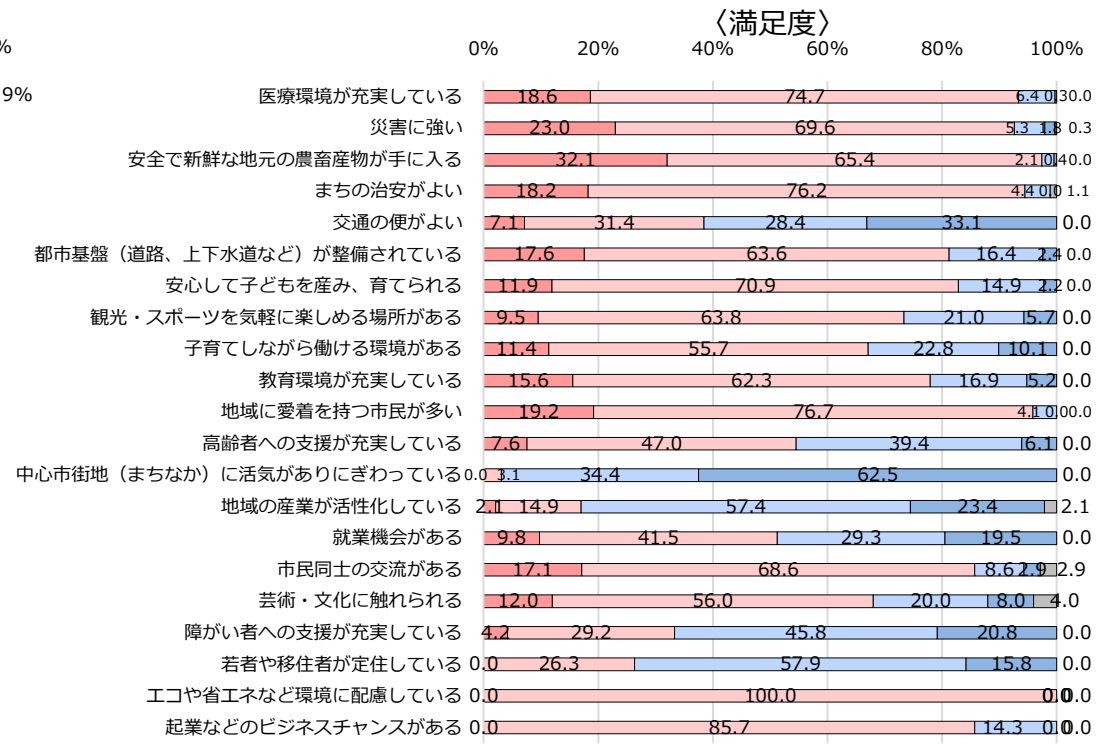
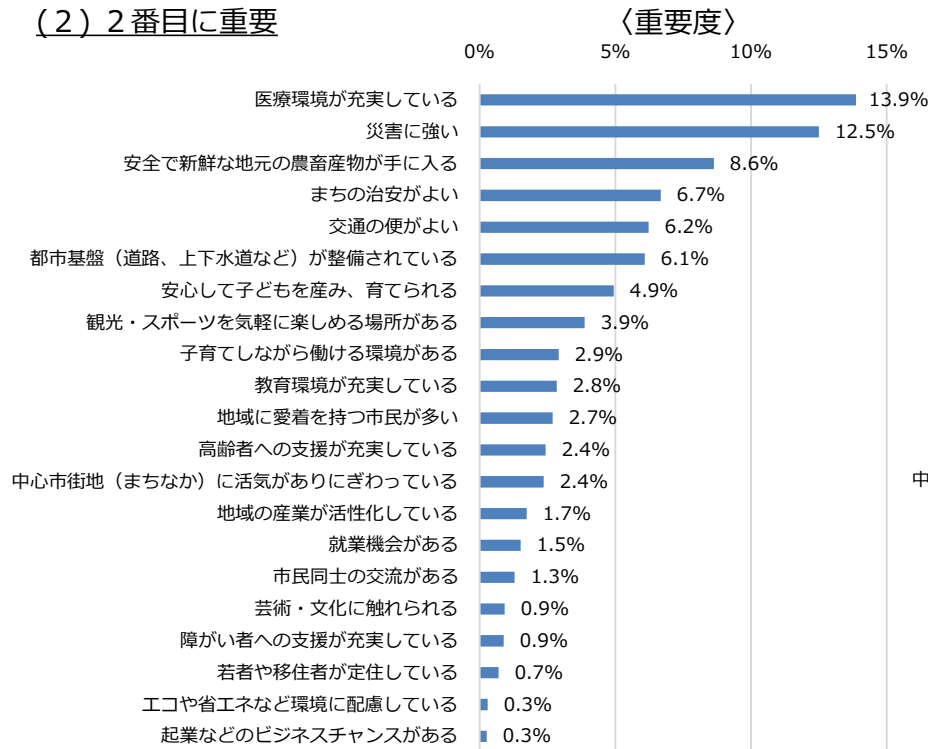
住みやすさについて（2番目に重要）



- 2番目に重要な項目でも最も重要とされる項目と上位は重複する傾向。「安全で新鮮な地元の農産物が手に入る」「交通の便がよい」等は2番目として重視される傾向が強い。
- 先にみた傾向と同様、「交通の便」「中心市街地の活気」「産業の活性化」は満足度が低い。

問2 前橋市というまちの住みやすさについて、あなたが最も重要としているものを3つ選び、その満足度についてあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

(2) 2番目に重要



■ 1 (とても満足) ■ 2 (満足) ■ 3 (不満) ■ 4 (とても不満) ■ 5 (無回答)

(n=2,712)

(n=2,712)

資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

copyright© Insight Tech inc.

1. 単純集計

住みやすさについて（3番目に重要）

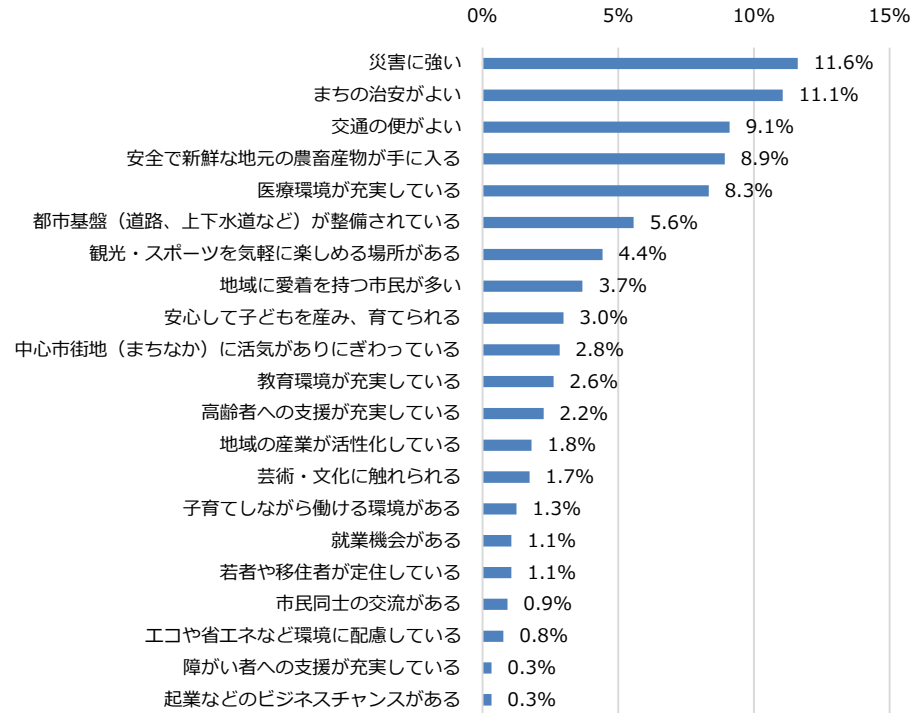


- 3番目に重要な項目でも最も重要とされる項目と上位は重複する傾向。「まちの治安がよい」「交通の便がよい」等は3番目として重視される傾向が強い。
- 先にみた傾向と同様、「交通の便」「中心市街地の活気」「産業の活性化」は満足度が低い。

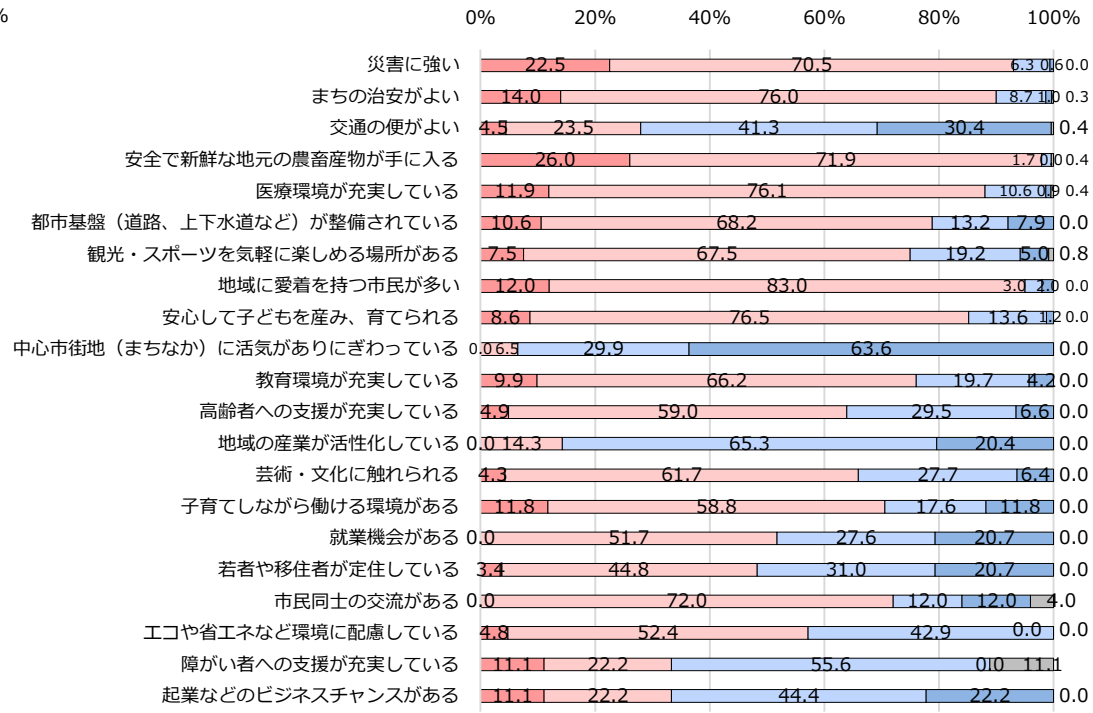
問2 前橋市というまちの住みやすさについて、あなたが最も重要としているものを3つ選び、その満足度についてあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

(3) 3番目に重要

〈重要度〉



〈満足度〉



0 1 2 3 4
 ■ とても満足 ■ 満足 ■ 不満 ■ とても不満 ■ 無回答

(n=2,712)

(n=2,712)

資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

1. 単純集計

住みやすさについて（1～3番目のいずれかで重要）



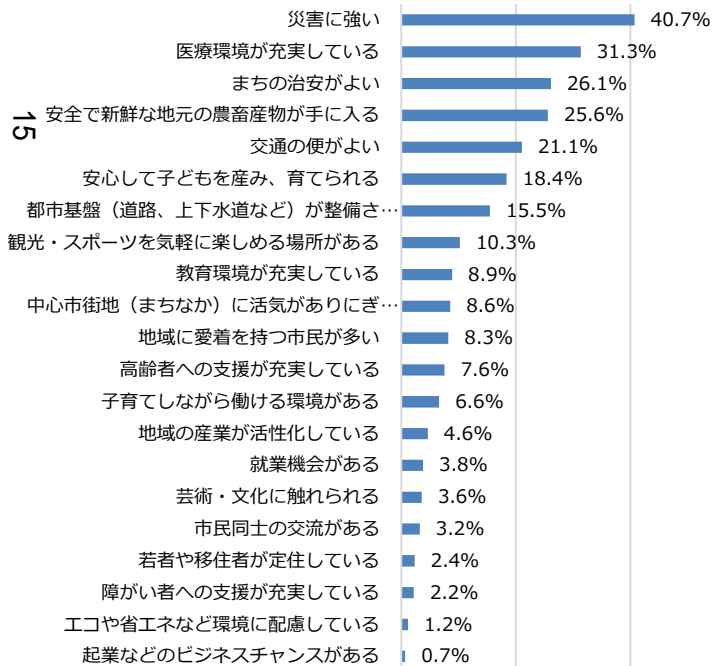
- 1～3番目のいずれかで重要なこととして選択された項目を見ると、①災害に強い、②医療環境が充実している、③まちの治安がよいことが重視される傾向。これら3項目については市民の満足度は高く、住みやすさを評価する上で「強み」といえる。

問2 前橋市というまちの住みやすさについて、あなたが最も重要としているものを3つ選び、その満足度についてあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

(1)～(3) 総計

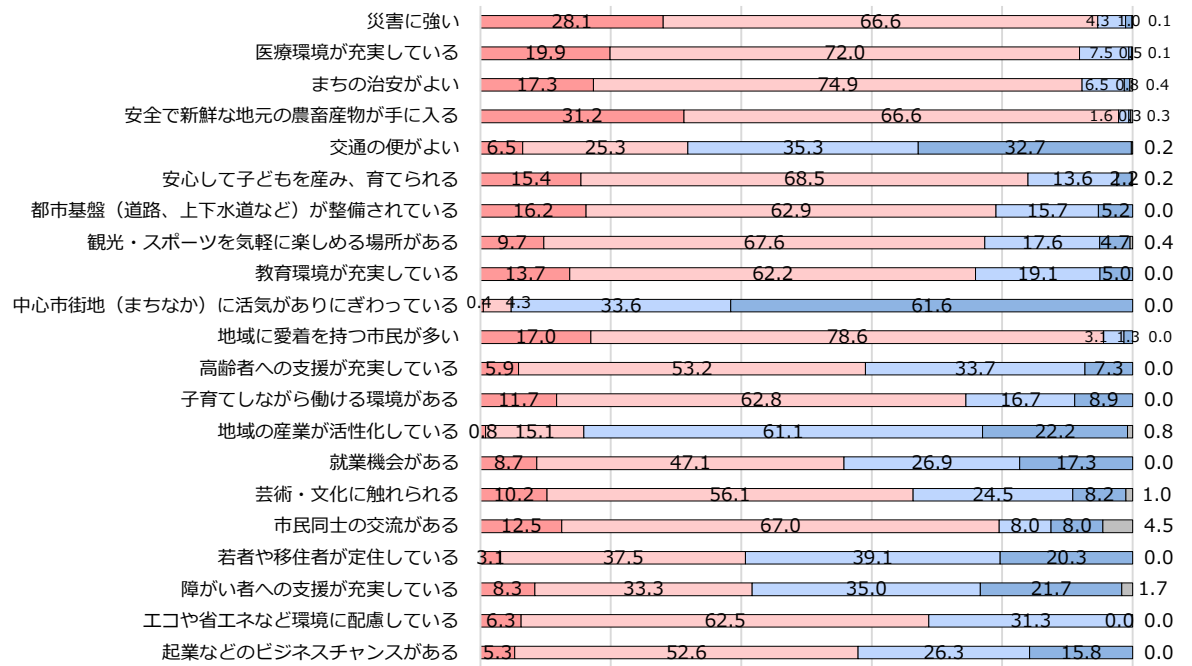
〈重要度〉

0% 20% 40% 60%



〈満足度〉

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ とても満足 □ 満足 ■ 不満 ■ とても不満 ■ 無回答

(n=2,712)

(n=2,712)

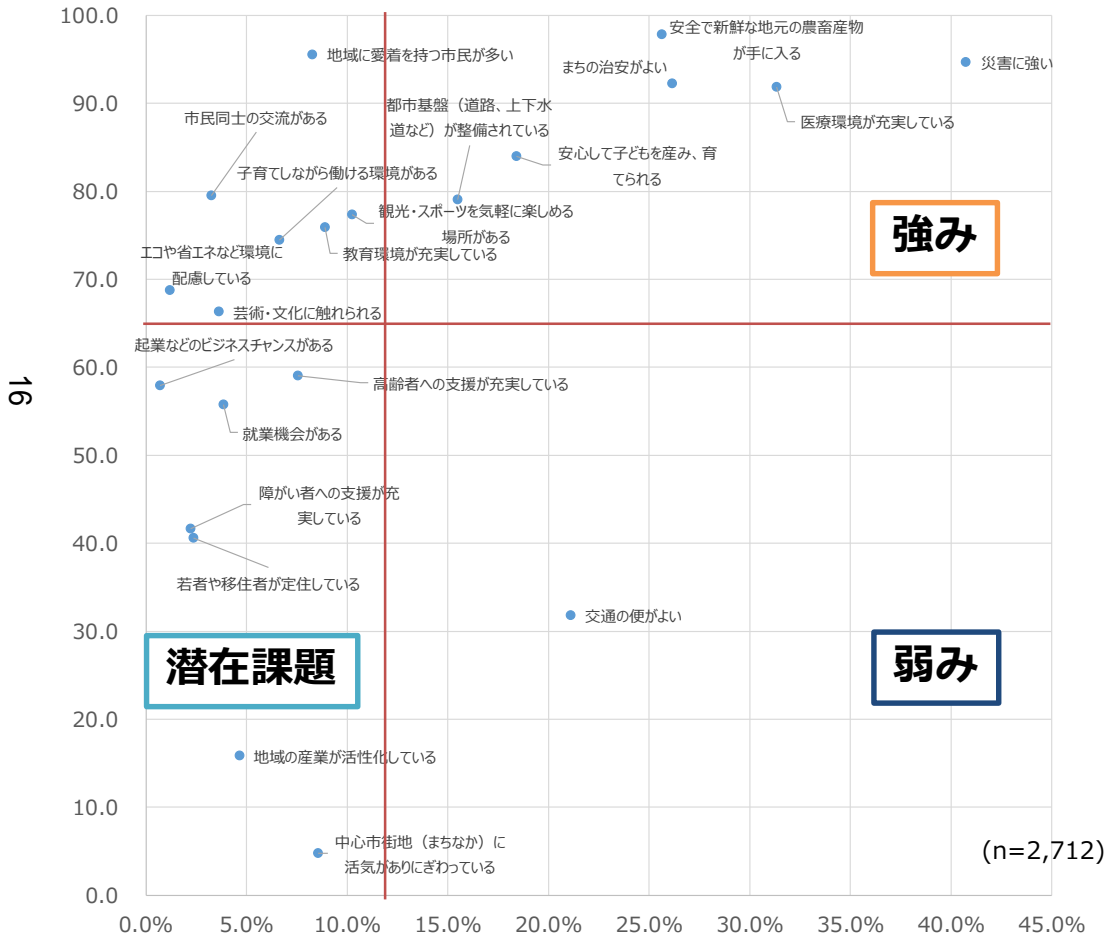
資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

1. 単純集計

住みやすさについて（1～3番目のいずれかで重要）



● 前橋市民が住みやすさに対する評価から強み・弱み・潜在課題を整理すると以下の通り。



- <強み>**
- ・ 災害に強い
 - ・ 医療環境が充実している
 - ・ 安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る
 - ・ まちの治安がよい
 - ・ 安心して子どもを産み、育てられる
 - ・ 都市基盤が整備されている

- <弱み>**
- ・ 交通の便が悪い

- <潜在課題>**
- ・ 中心市街地に活気がない
 - ・ 地域の産業が活性化していない
 - ・ 若者や移住者が定住していない
 - ・ 障がい者への支援が充実していない
 - ・ 就業機会が少ない
 - ・ 起業などのビジネスチャンスが少ない
 - ・ 高齢者への支援が充実していない

縦軸：【満足度】1番重要～3番目に重要な項目として選ばれたなかで「とても満足」「満足」と回答した比率 全項目平均65.9%
 横軸：【重要度】1番重要～3番目に重要に選ばれた項目の比率 全項目平均11.9%

資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

1. 単純集計

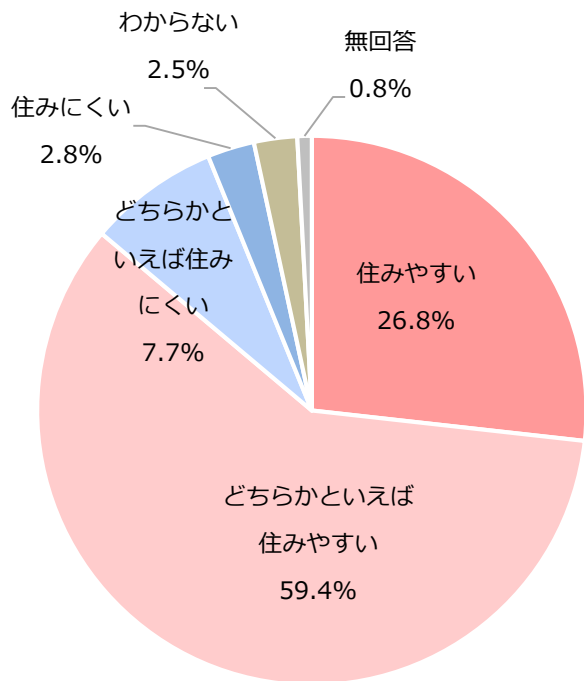
住みやすさへの評価・継続定住意向



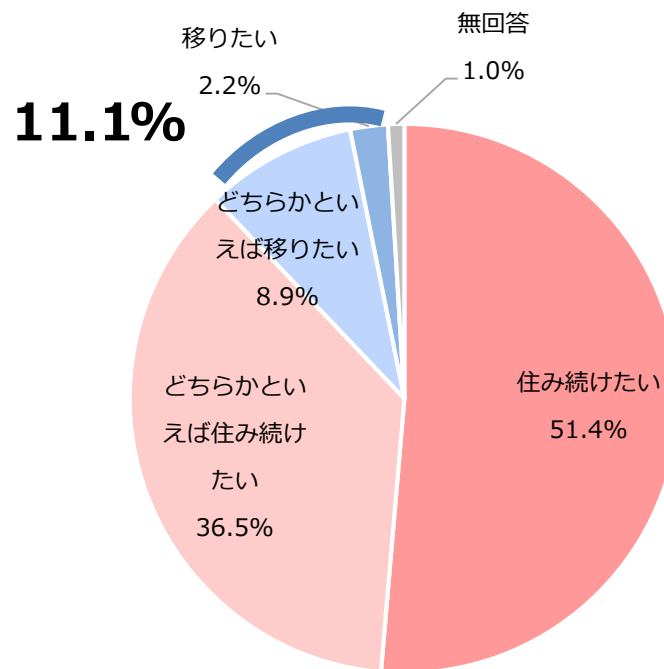
- 前橋市民の26.8%は「住みやすい」、59.4%は「どちらかといえば住みやすい」としており9割程度が住みやすさを前向きに評価。
- 過半数が「住み続けたい」。「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると9割程度が前向きな意向。

問4 総合的にみて、前橋市というまちは住みやすいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

問5 あなたは（事情が許せば）これからも前橋市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。



(n=2,712)



11.1%

(n=2,712)

1. 単純集計

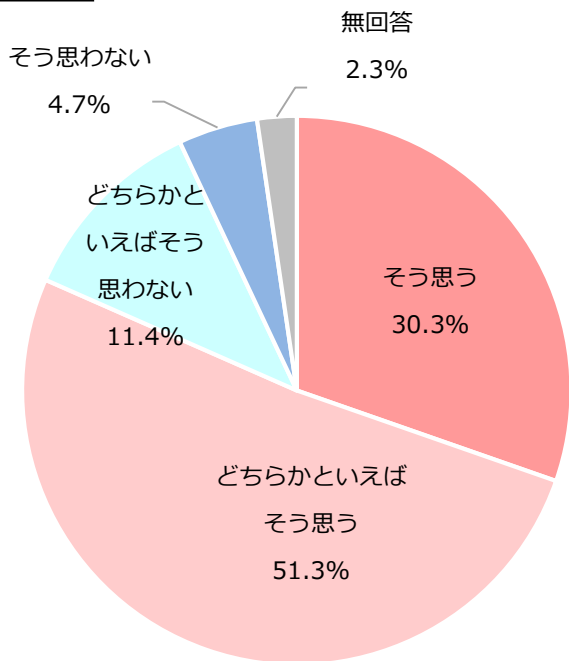
役に立ちたい・何かしたいと思うか



- 3割が「暮らす人の役に立ちたい」としており地域に対する貢献欲求は高い。
- 25.4%が実際に「何かしたい」と考えており、地域に対する愛着が貢献欲求につながり実際の行動欲求にもつながっていることが分かる。

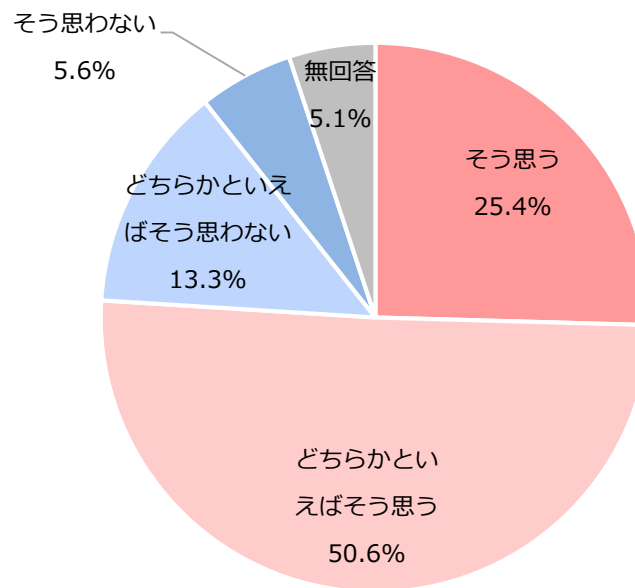
問6 あなたは前橋市で暮らす人の役に立ちたい、何かしたいと思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つだけ選び、番号に○をつけてください。

(1) 役に立ちたい



(n=2,712)

(2) 何かしたい



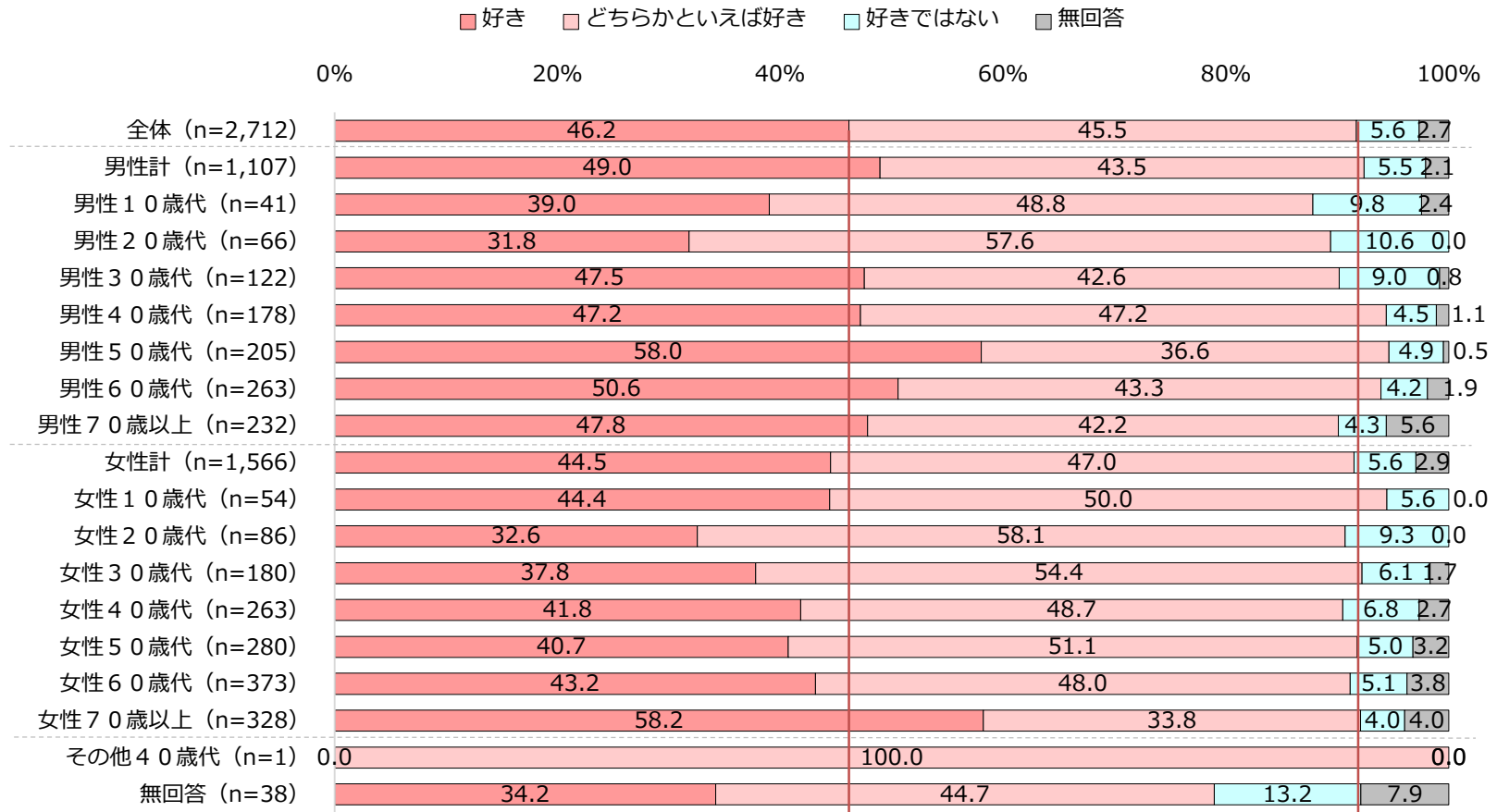
(n=2,712)

2. 性・年代別集計からみる住みやすさ

2. 前橋市が好きかどうか（性×年代別）



- 前橋市に対して「好き」とする傾向が強いのは①女性70歳以上、②男性50歳代、③男性60歳代、④男性70歳以上と壮年以上の世代が目立つ。
- 逆に、男女とも20歳代では「好き」とするのは3割程度と他の世代と比して目立って低い。



資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

copyright© Insight Tech inc.

注：「女性計」は年代不明（n=2）を含めた母数とする。
「無回答」は性別その他（n=2）を含めた母数とする。

2. 住みやすさについて（1～3番目のいずれかで重要）男性×年代別



- 男性10歳代では「まちの治安」を最も重視、男性70歳以上では「医療環境が充実」を最も重視。それ以外の世代では「災害に強い」が最も重視される。男性10歳代、男性20歳代、男性40歳代では「交通の便」、男性30歳代では「安心して子どもを産み、育てられる」が重視される傾向。

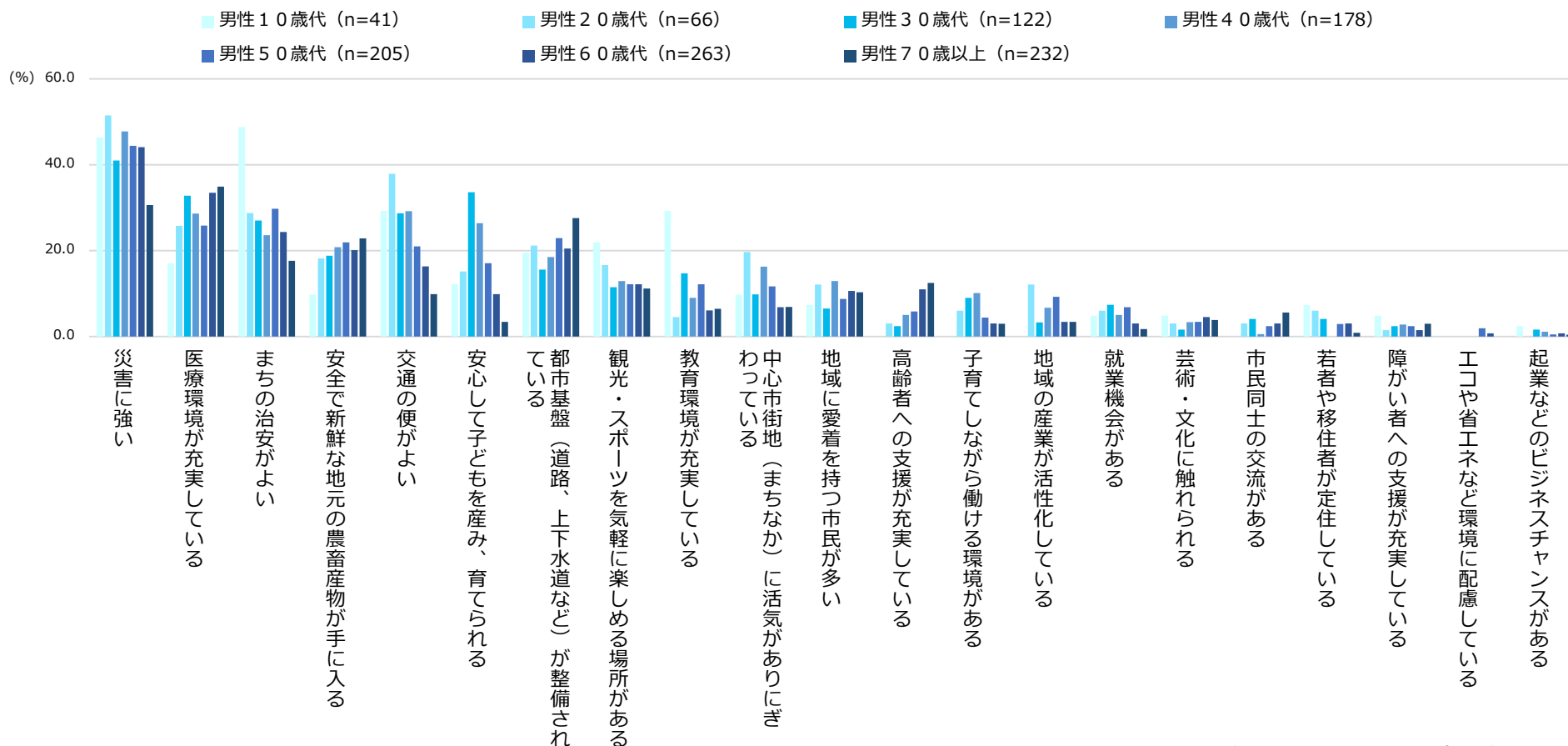
	1位	2位	3位
全体 (n=2,712)	災害に強い	医療環境が充実している	まちの治安がよい
男性計 (n=1,107)	災害に強い	医療環境が充実している	まちの治安がよい
男性10歳代 (n=41)	まちの治安がよい	災害に強い	交通の便がよい
男性20歳代 (n=66)	災害に強い	交通の便がよい	まちの治安がよい
男性30歳代 (n=122)	災害に強い	安心して子どもを産み、育てられる	医療環境が充実している
男性40歳代 (n=178)	災害に強い	交通の便がよい	医療環境が充実している
男性50歳代 (n=205)	災害に強い	まちの治安がよい	医療環境が充実している
男性60歳代 (n=263)	災害に強い	医療環境が充実している	まちの治安がよい
男性70歳以上 (n=232)	医療環境が充実している	災害に強い	都市基盤（道路、上下水道など）が整備されている

資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

2. 住みやすさについて（1～3番目のいずれかで重要）男性×年代別



- 男性10歳代では「まちの治安」を最も重視、男性70歳以上では「医療環境が充実」を最も重視。それ以外の世代では「災害に強い」が最も重視される。男性10歳代、男性20歳代、男性40歳代では「交通の便」、男性30歳代では「安心して子どもを産み、育てられる」が重視される傾向。



資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

注：「その他40歳代」（n=1）は除く。

2. 住みやすさについて（1～3番目のいずれかで重要）女性×年代別



- 女性では「安全で新鮮な地元の農畜産物」をより重視する傾向。特に女性50歳代以上で重視される傾向が強い。女性10歳代、女性20歳代では「交通の便」がより重視され、女性30歳代では「安心して子どもを産み、育てられる」ことが最も重視される傾向。世代による重視事項の差異が大きい。

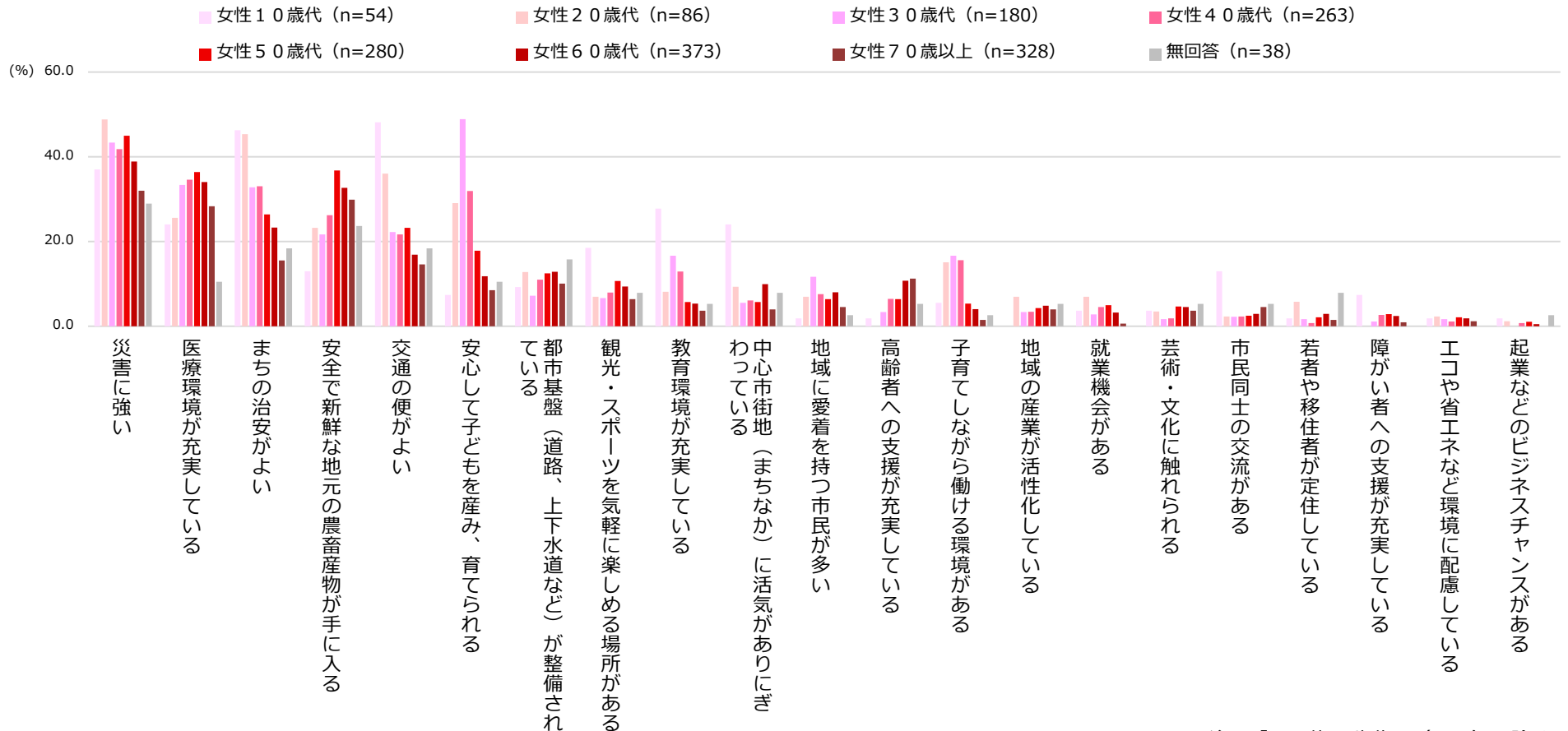
	1位	2位	3位
全体 (n=2,712)	災害に強い	医療環境が充実している	まちの治安がよい
女性計 (n=1,566)	災害に強い	医療環境が充実している	安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る
女性10歳代 (n=54)	交通の便がよい	まちの治安がよい	災害に強い
女性20歳代 (n=86)	災害に強い	まちの治安がよい	交通の便がよい
女性30歳代 (n=180)	安心して子どもを産み、育てられる	災害に強い	医療環境が充実している
女性40歳代 (n=263)	災害に強い	医療環境が充実している	まちの治安がよい
女性50歳代 (n=280)	災害に強い	安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る	医療環境が充実している
女性60歳代 (n=373)	災害に強い	医療環境が充実している	安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る
女性70歳以上 (n=328)	災害に強い	安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る	医療環境が充実している

資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。



2. 住みやすさについて（1～3番目のいずれかで重要）女性×年代別

- 女性では「安全で新鮮な地元の農畜産物」をより重視する傾向。特に女性50歳代以上で重視される傾向が強い。女性10歳代、女性20歳代では「交通の便」がより重視され、女性30歳代では「安心して子どもを産み、育てられる」ことが最も重視される傾向。世代による重視事項の差異が大きい。



24

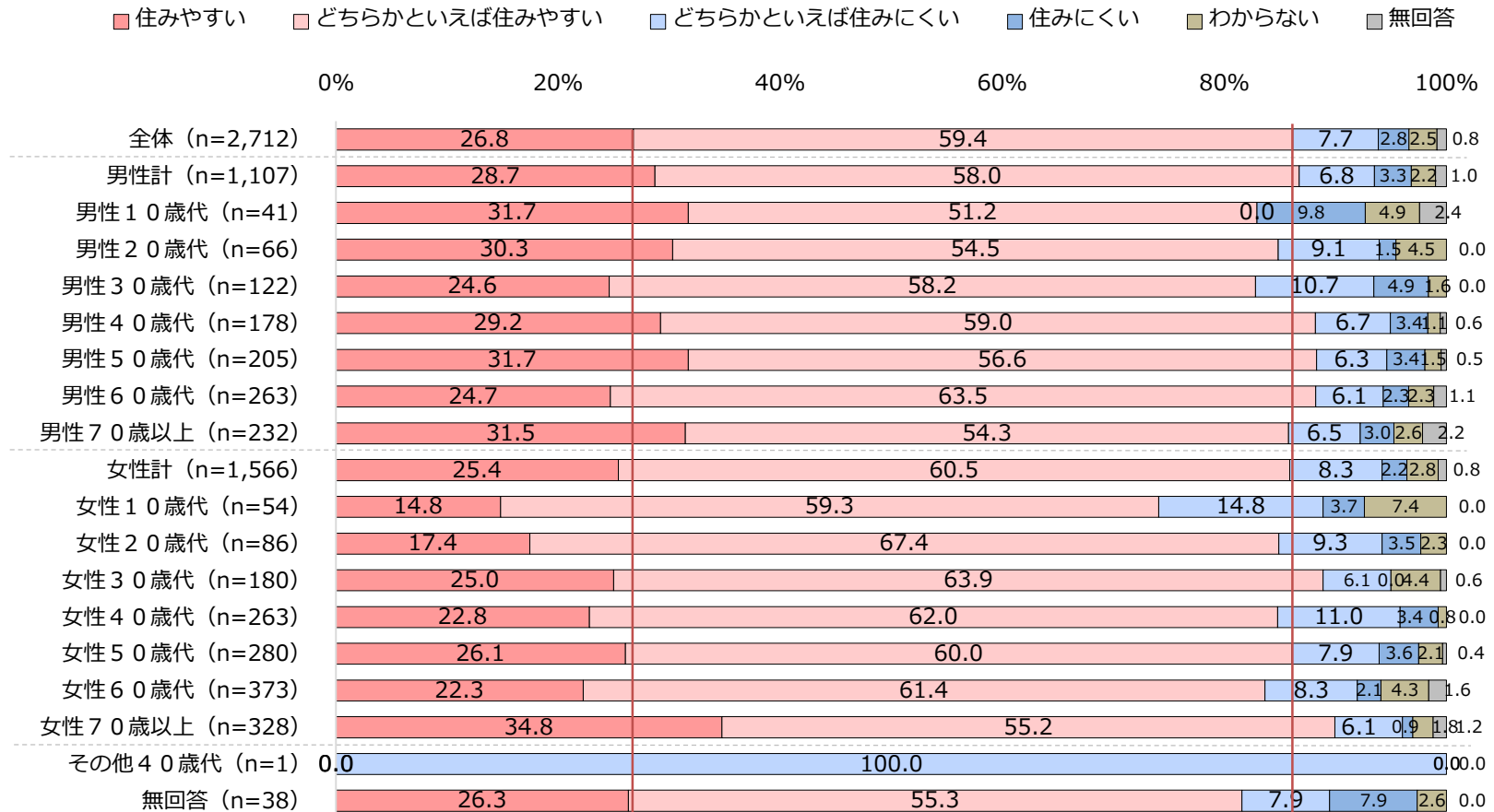
資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

注：「その他40歳代」（n=1）は除く。



2. 住みやすさへの評価（性×年代別）

- 「住みやすい」とする割合は相対的に女性で低い。特に10歳代・20歳代では2割を切る水準で目立って低い。
- 男女70歳以上、男性50歳代など壮年以上の世代では「住みやすい」とする傾向が強い。
- 若年層、特に女性若年層にとっての「住みやすさ」の向上が課題といえる。



資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

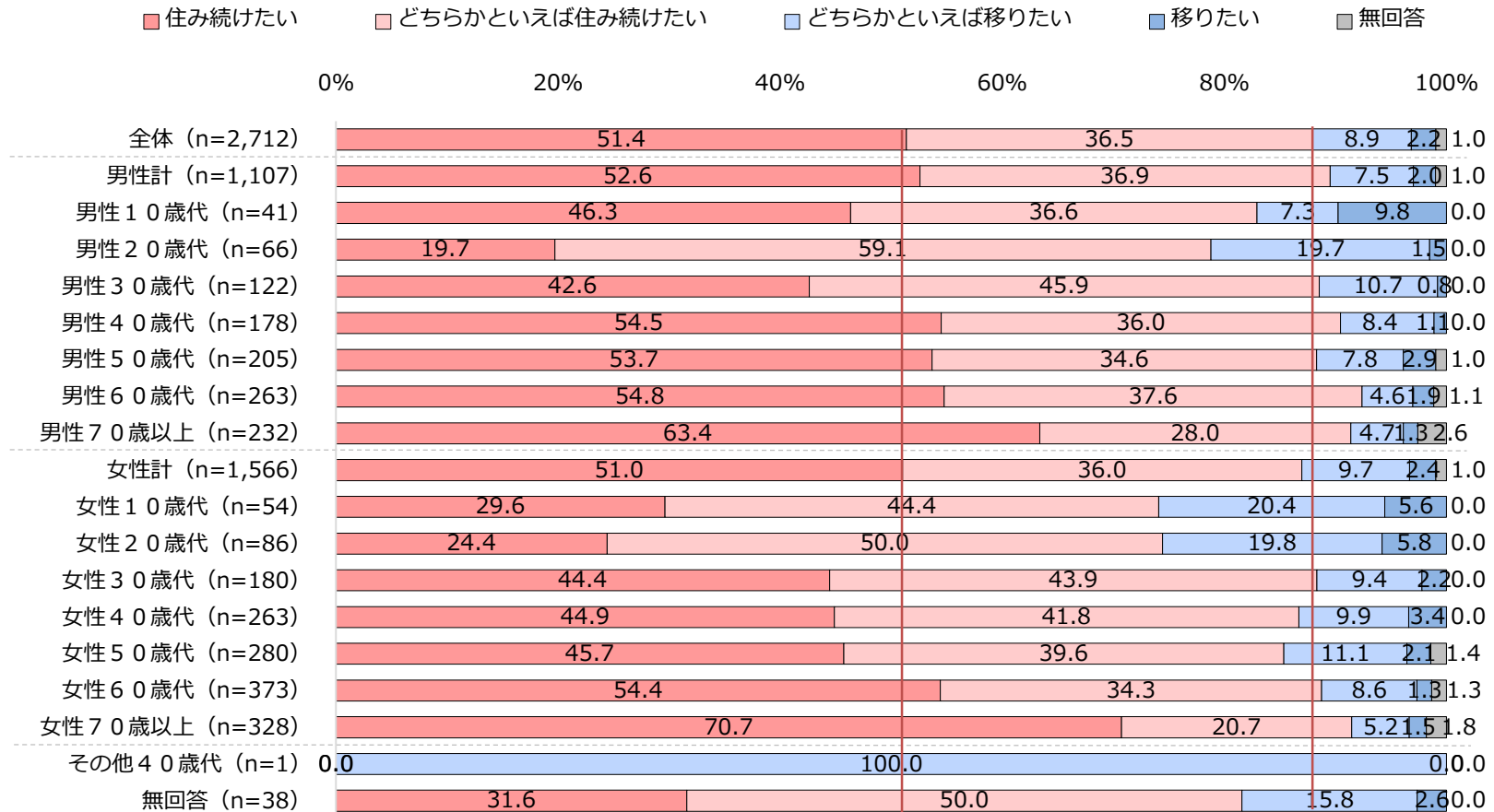
copyright© Insight Tech inc.

注：「女性計」は年代不明（n=2）を含めた母数とする。
「無回答」は性別その他（n=2）を含めた母数とする。

2. 継続定住意向（性×年代別）



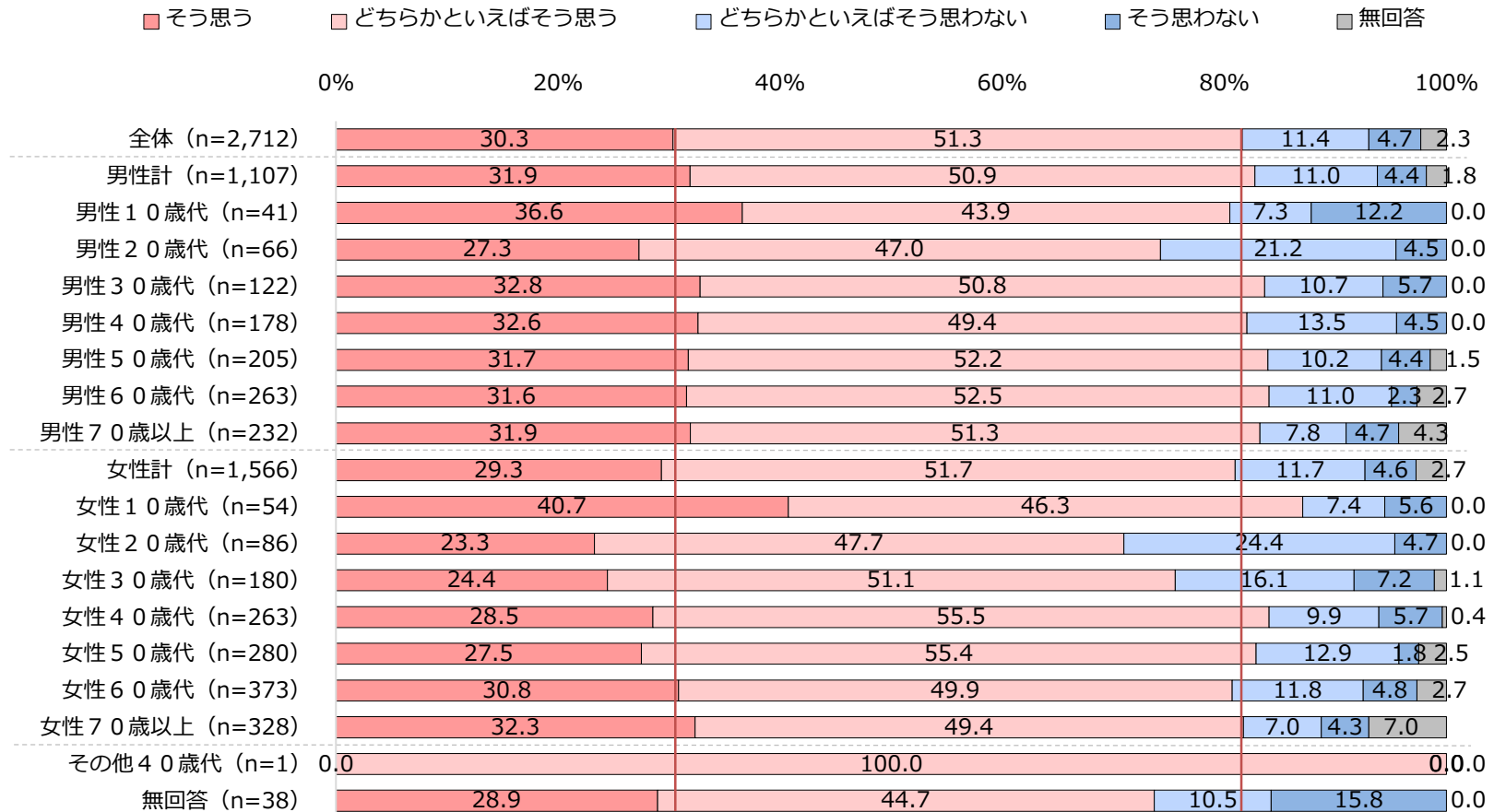
- 「移りたい」「どちらかといえば移りたい」とする傾向が強いのは女性10歳代・女性20歳代、男性10歳代でいずれも2割以上が転居意向を有している。
- 他方、男女70歳代で「住み続けたい」とする傾向が強く世代により大きな差異がある。



2. 役に立ちたいか（性×年代別）



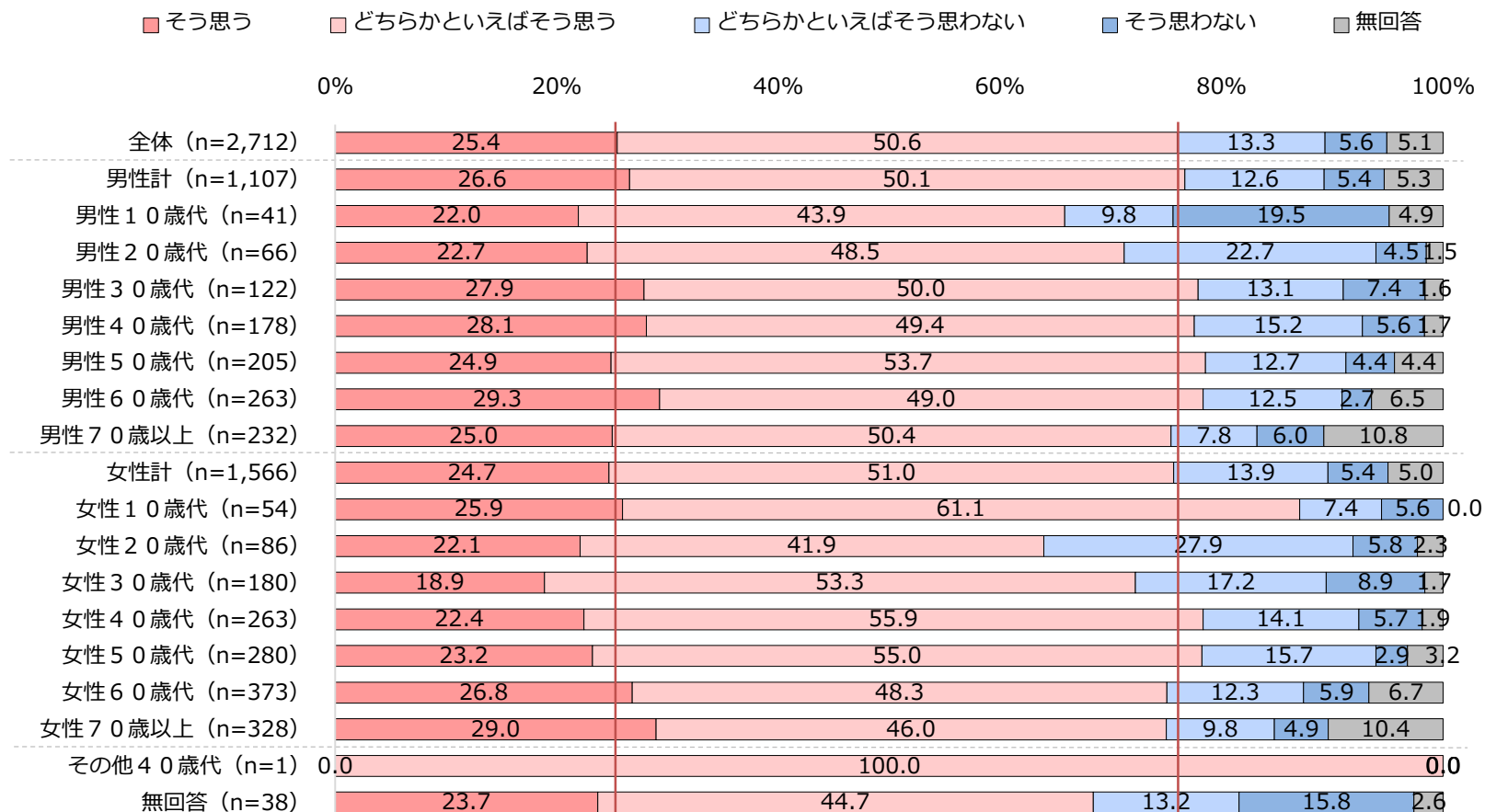
●男女とも10歳代では「役に立ちたい」と思う傾向が強いが、男女とも20歳代ではこの傾向が反転し「役に立ちたい」と思う割合が低下。特に女性では20歳代・30歳代において「そう思う（役に立ちたい）」が2割程度に留まっており成人若年層において貢献欲求が低い。



2. 何かしたいと思うか（性×年代別）



- 「何かをしたいと思うか」とする比率は女性において相対的に低く、特に女性の20歳代～40歳代において低い。他方、男性30歳代、男性40歳代、男性60歳代では高くなっており男女差・年代差が目立つ。



資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

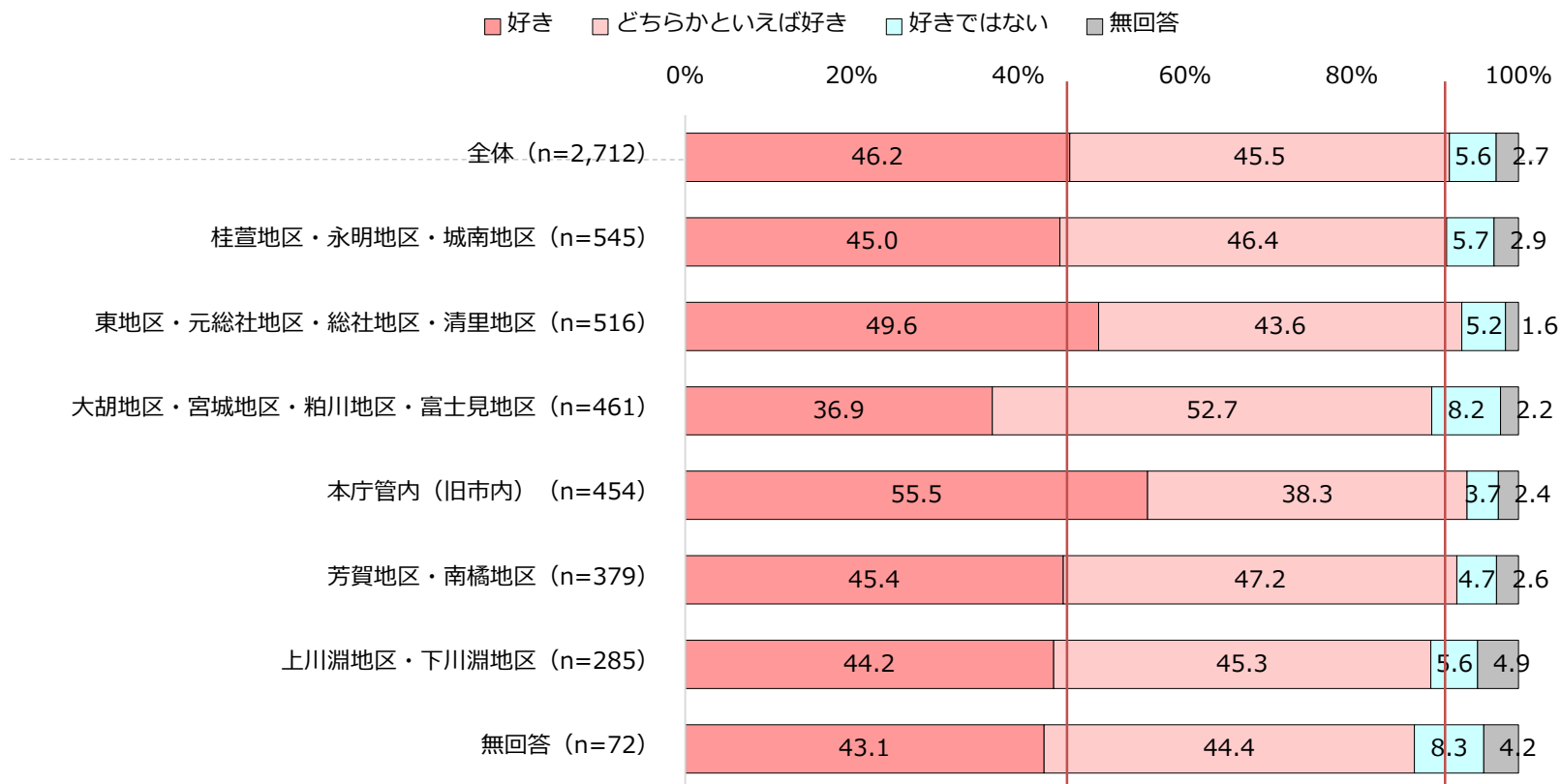
注：「女性計」は年代不明（n=2）を含めた母数とする。
「無回答」は性別その他（n=2）を含めた母数とする。

3. 地区別集計からみる住みやすさ

3. 前橋市が好きかどうか（大地区別）



- 「本庁管内」居住者では「好き」とする割合が55.5%と全体平均と比して高い。これに対して「大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区」居住者では「好き」とするのは36.9%と全体平均と比して10Pt程度低い。
- 前橋市に対する愛着は居住地区により異なる傾向。



資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

3. 住みやすさについて（1～3番目のいずれかで重要）大地区別



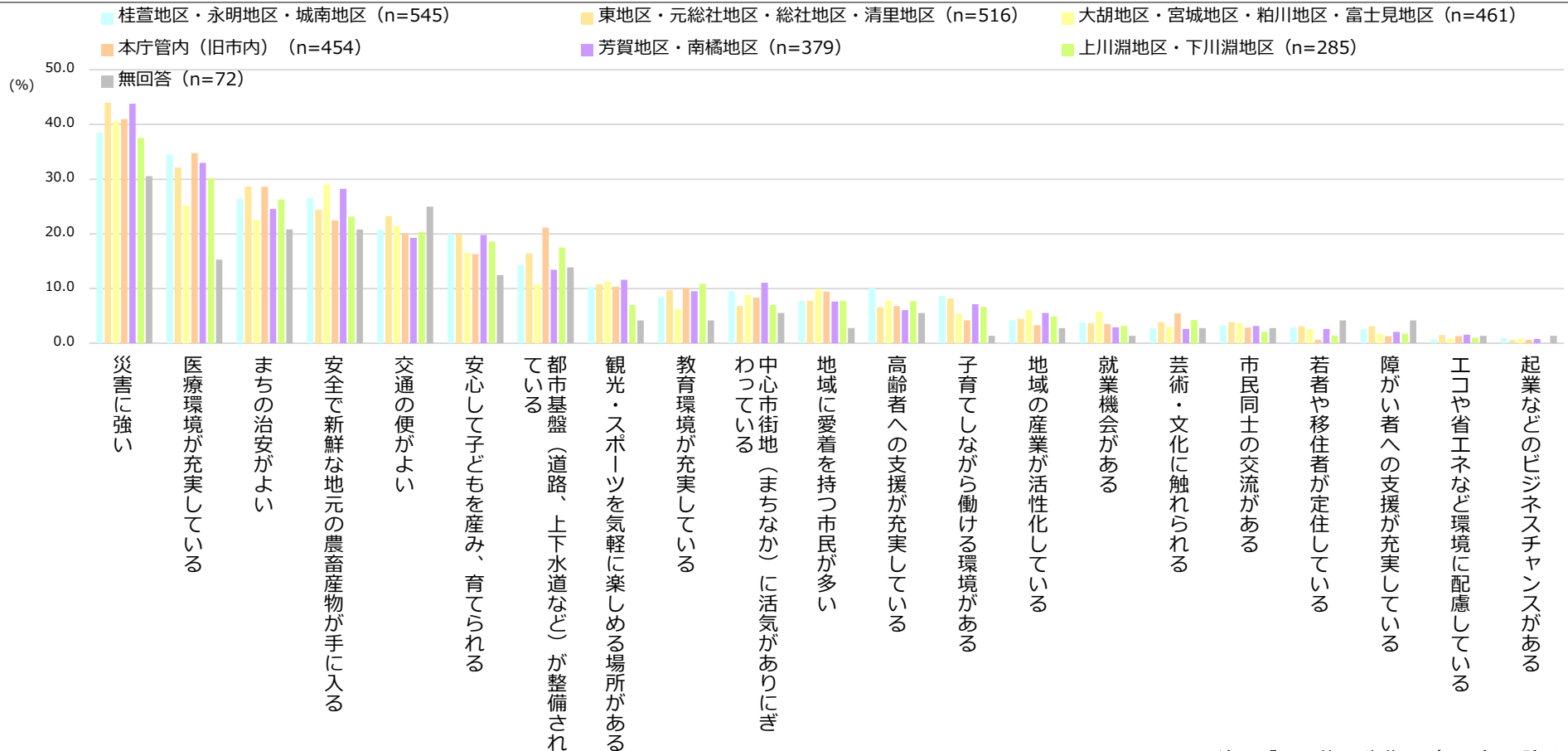
- いずれの地区においても「災害に強い」「医療環境が充実している」ことが重視されている。「桂萱地区・永明地区・城南地区」「大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区」「芳賀地区・南橋地区」では「安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る」ことが重視事項の上位となっている。

	1位	2位	3位
全体（n=2,712）	災害に強い	医療環境が充実している	まちの治安がよい
桂萱地区・永明地区・城南地区（n=545）	災害に強い	医療環境が充実している	安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る
東地区・元総社地区・総社地区・清里地区（n=516）	災害に強い	医療環境が充実している	まちの治安がよい
大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区（n=461）	災害に強い	安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る	医療環境が充実している
本庁管内（旧市内）（n=454）	災害に強い	医療環境が充実している	まちの治安がよい
芳賀地区・南橋地区（n=379）	災害に強い	医療環境が充実している	安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る
上川淵地区・下川淵地区（n=285）	災害に強い	医療環境が充実している	まちの治安がよい



3. 住みやすさについて（1～3番目のいずれかで重要）大地区別

● いずれの地区においても「災害に強い」「医療環境が充実している」ことが重視されている。「桂萱地区・永明地区・城南地区」「大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区」「芳賀地区・南橋地区」では「安全で新鮮な地元の農畜産物が手に入る」ことが重視事項の上位となっている。



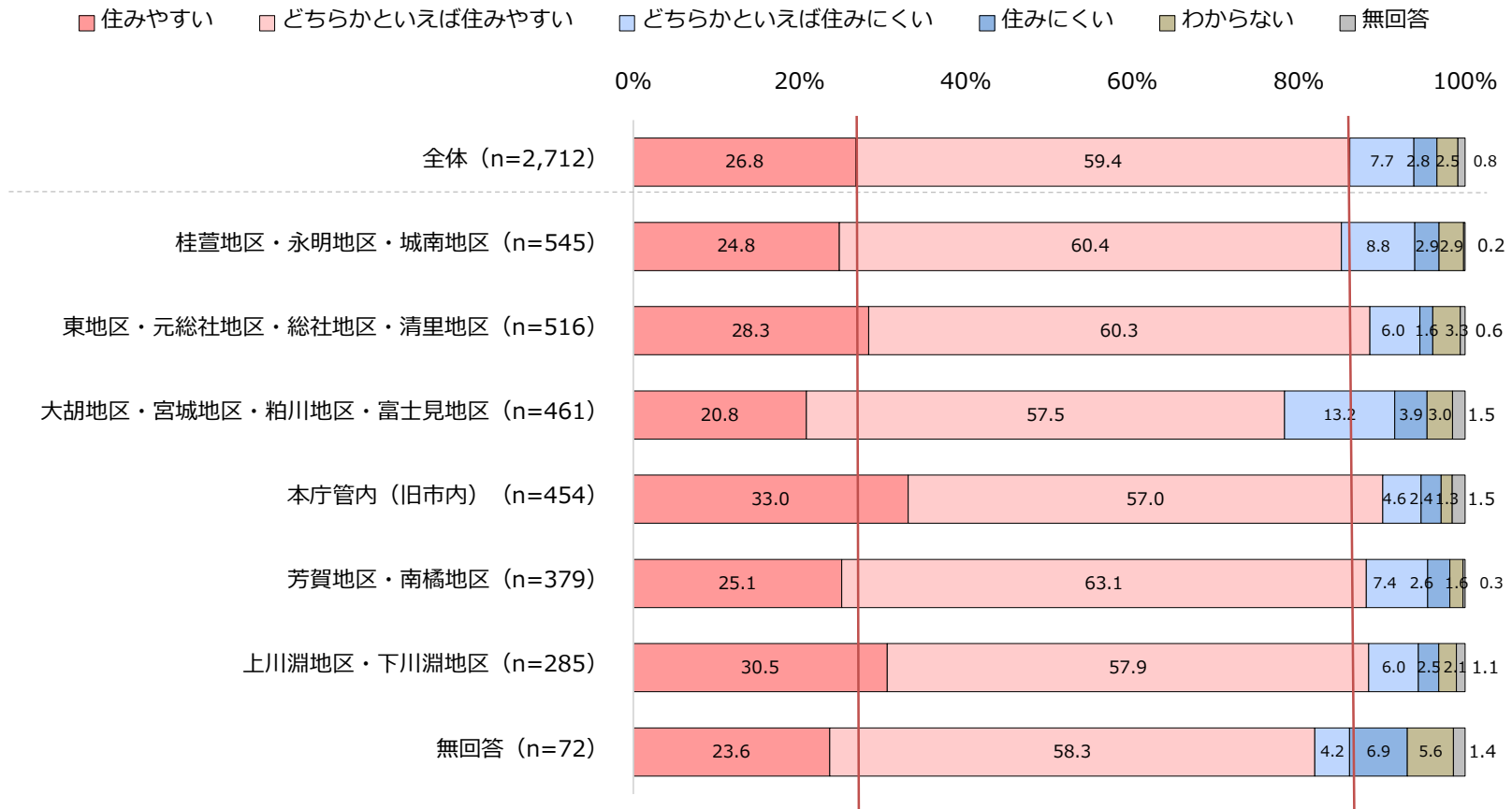
資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

注：「その他40歳代」（n=1）は除く。



3. 住みやすさへの評価（大地区別）

- 「住みやすい」とする割合が高いのは「本庁管内（旧市内）」、「上川淵地区・下川淵地区」、「東地区・元総社地区・総社地区・清里地区」居住者。「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」とする傾向が強いのは「大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区」。前述の「前橋市が好きかどうか」と類似する傾向。



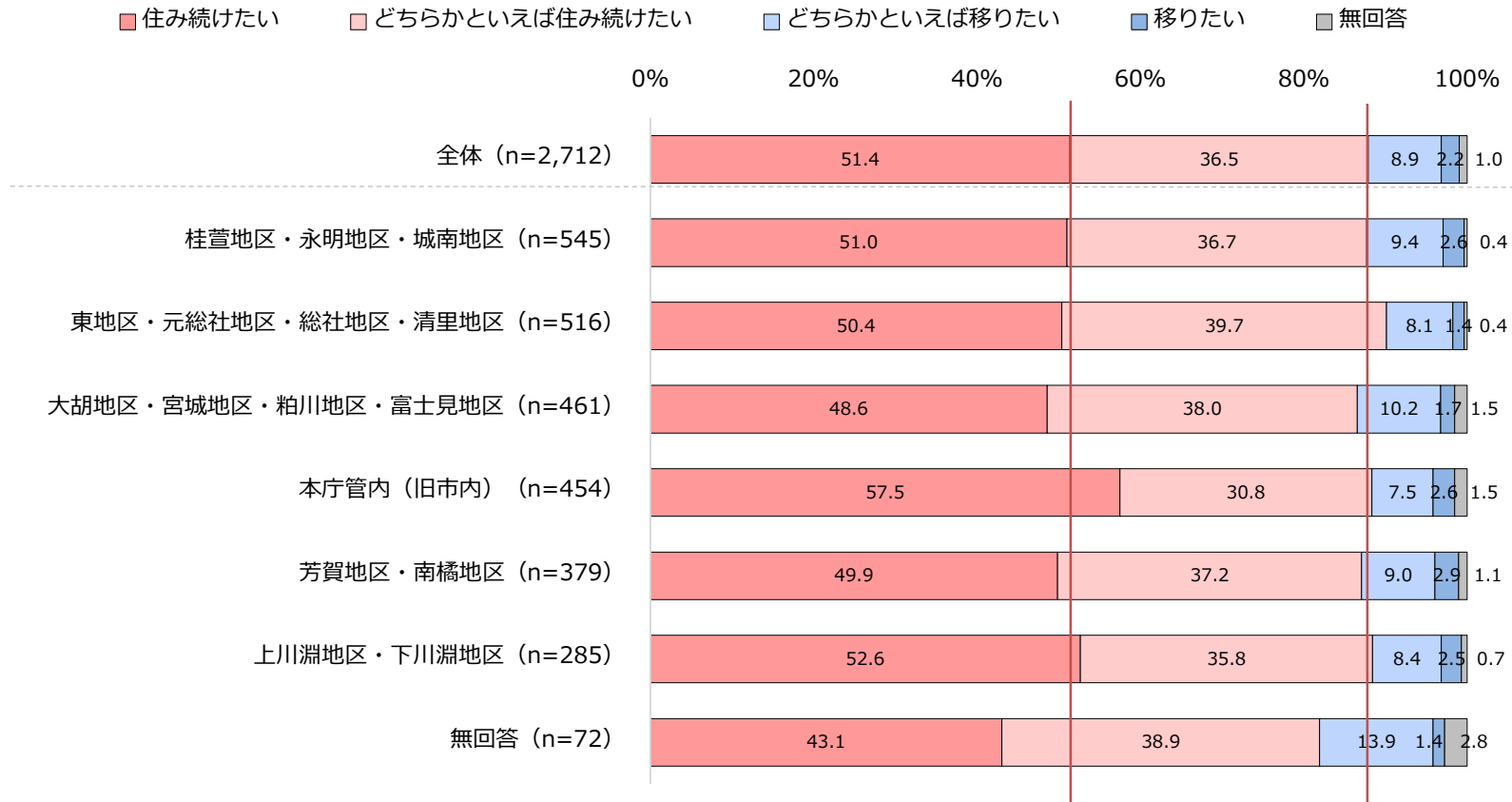
資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

copyright© Insight Tech inc.



3. 継続定住意向（大地区別）

- 「住み続けたい」とする割合が高いのは「本庁管内（旧市内）」、「上川淵地区・下川淵地区」居住者。
「住み続けたい」とする割合が相対的に低いのは「大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区」居住者。
- 前述の「住みやすさへの評価」と類似する傾向。



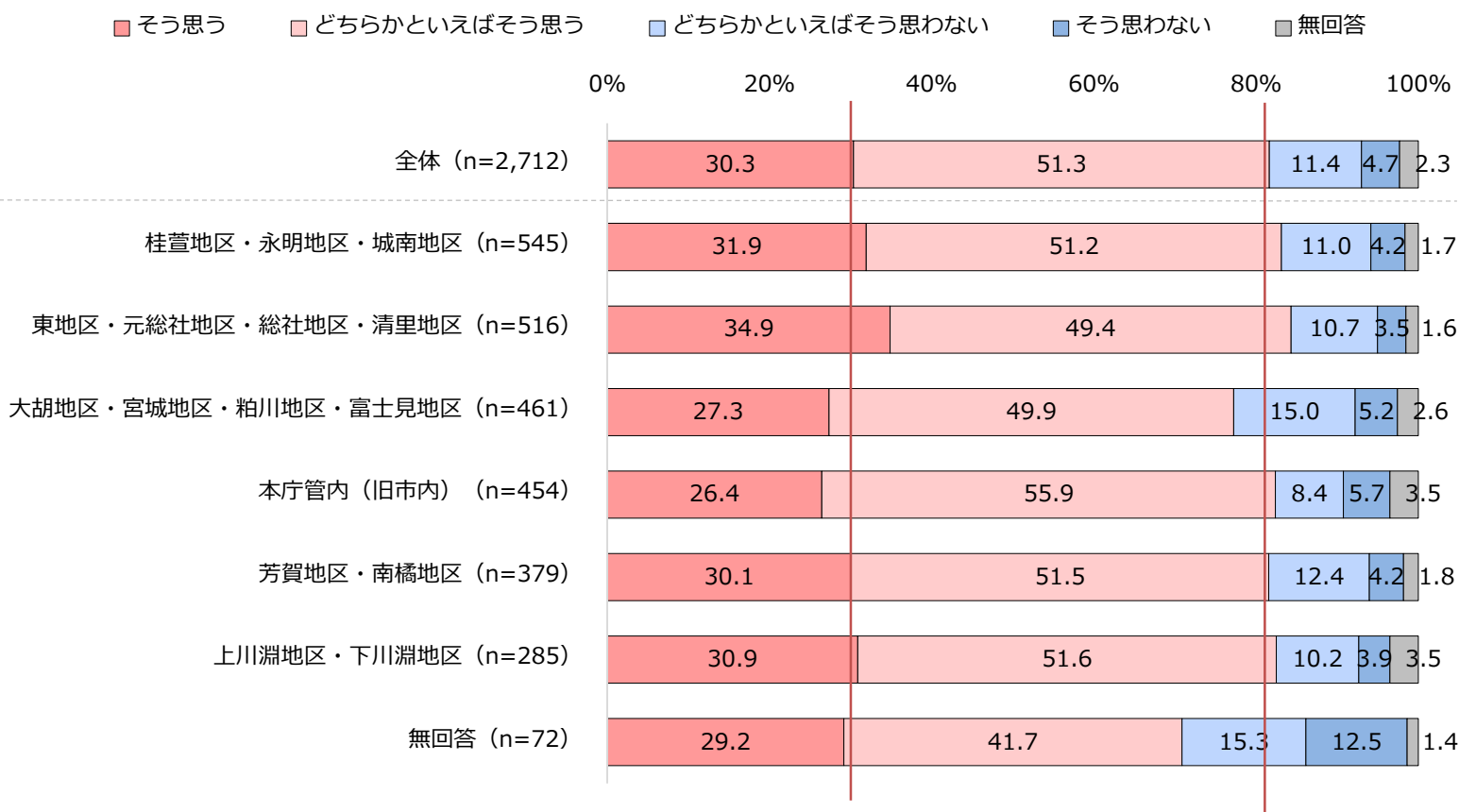
資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

3. 役に立ちたいか（大地区別）



- 「役に立ちたい」とする割合が高いのは「東地区・元総社地区・総社地区・清里地区」居住者。
- 住み続けたいとする傾向が強い「本庁管内（旧市内）」では「役に立ちたい」とする割合は相対的に低い（居住者の年齢構成の違いが影響を与えている可能性）。

35

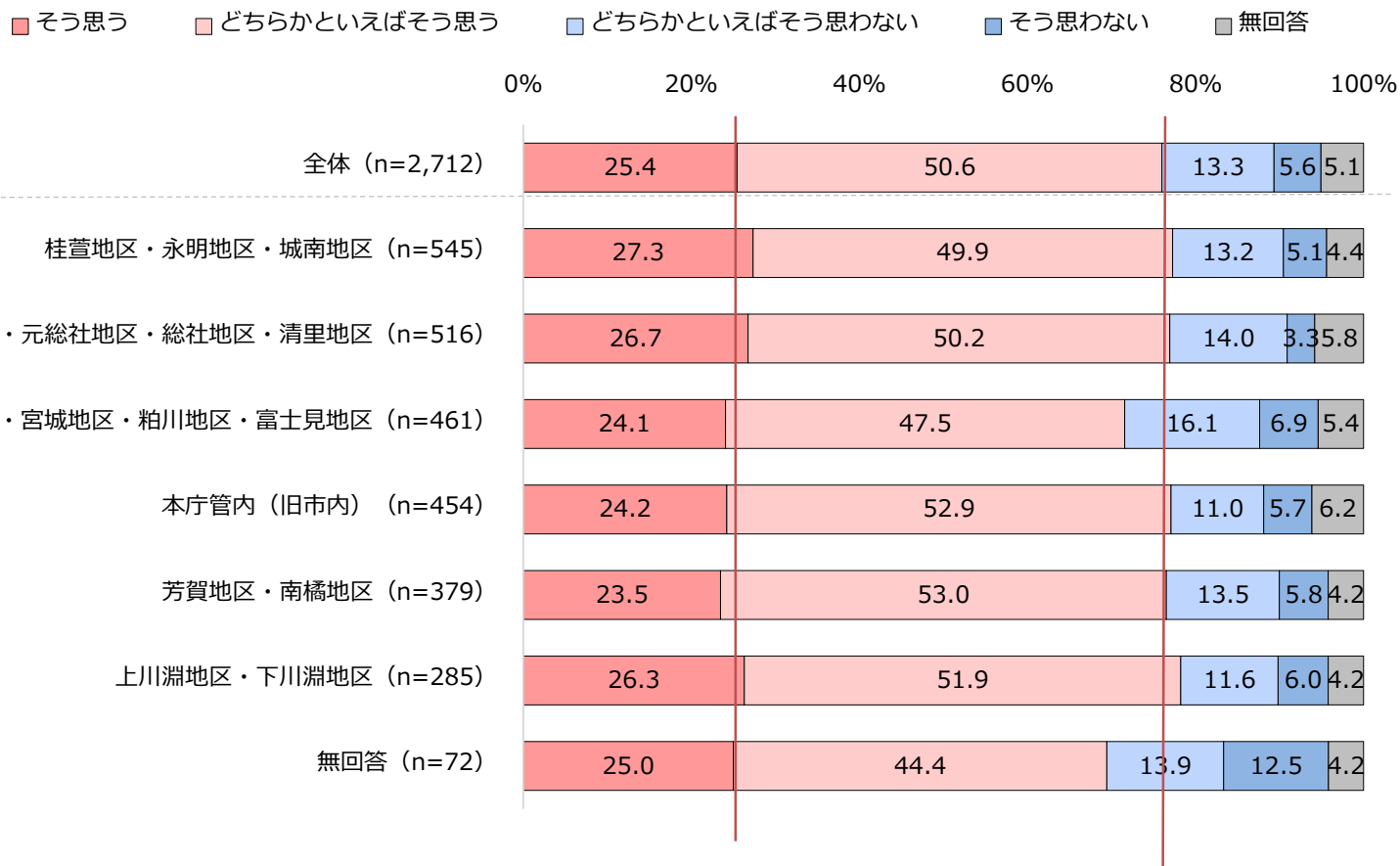


資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

3. 何かしたいと思うか（大地区別）



- 「何かしたいと思うか」とする割合は地区により大きな差異は確認できないが、「大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区」居住者では「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」とする割合がやや高く、地域への愛着や住みやすさの評価との関連性がうかがえる結果となっている。



資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

4. 設問間集計からみる住みやすさ

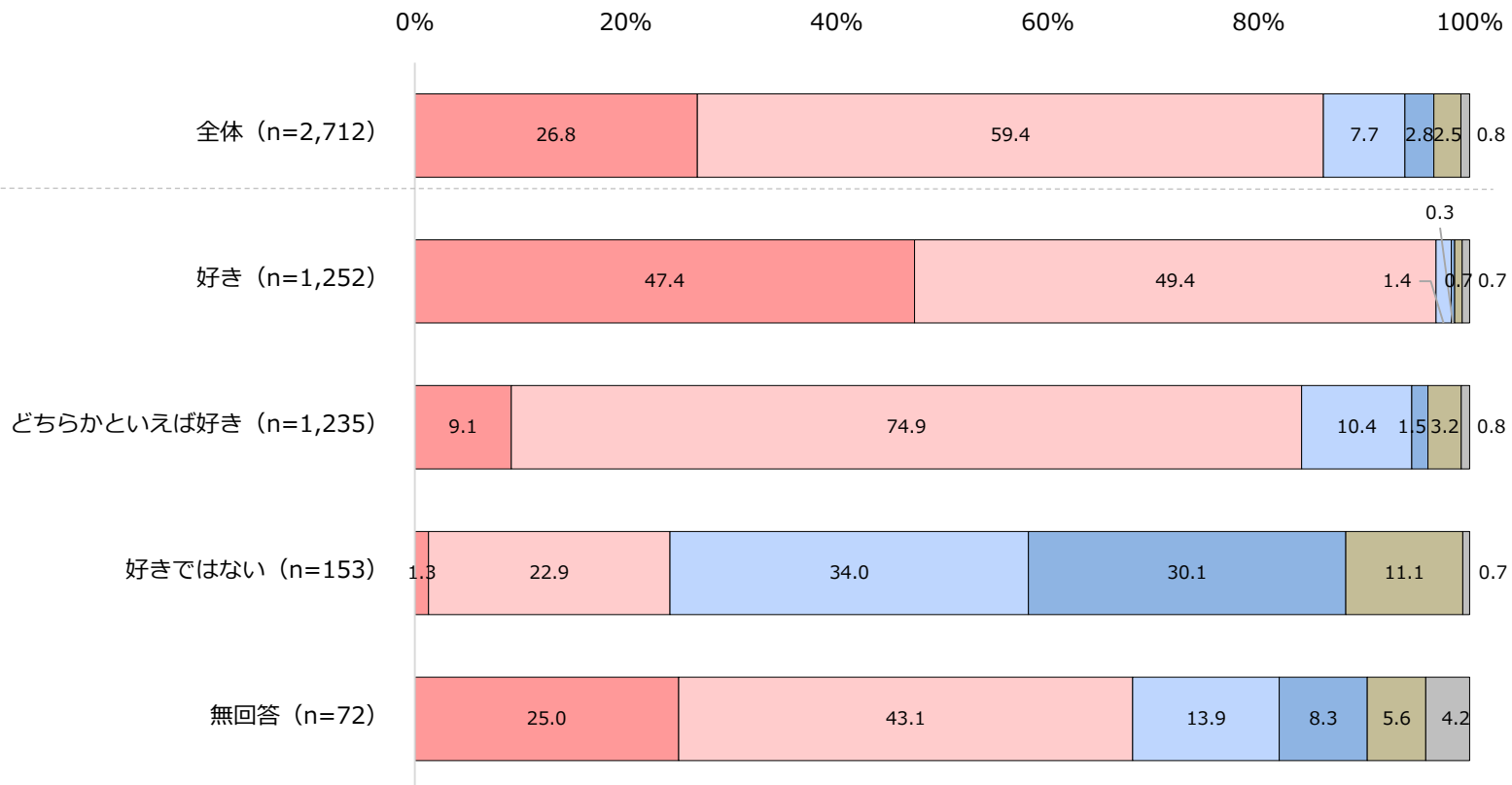
4. 「前橋市が好きかどうか」 × 「住みやすさへの評価」



- 前橋市が「好き」とする層ほど「住みやすい」とする割合が顕著に高い。逆に、前橋市が「好きではない」とする層では過半数が「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」としている。前橋市への評価と住みやすさが密接に関係していることがうかがえる。

■ 住みやすい
 ■ どちらかといえば住みやすい
 ■ どちらかといえば住みにくい
 ■ 住みにくい
 ■ わからない
 ■ 無回答

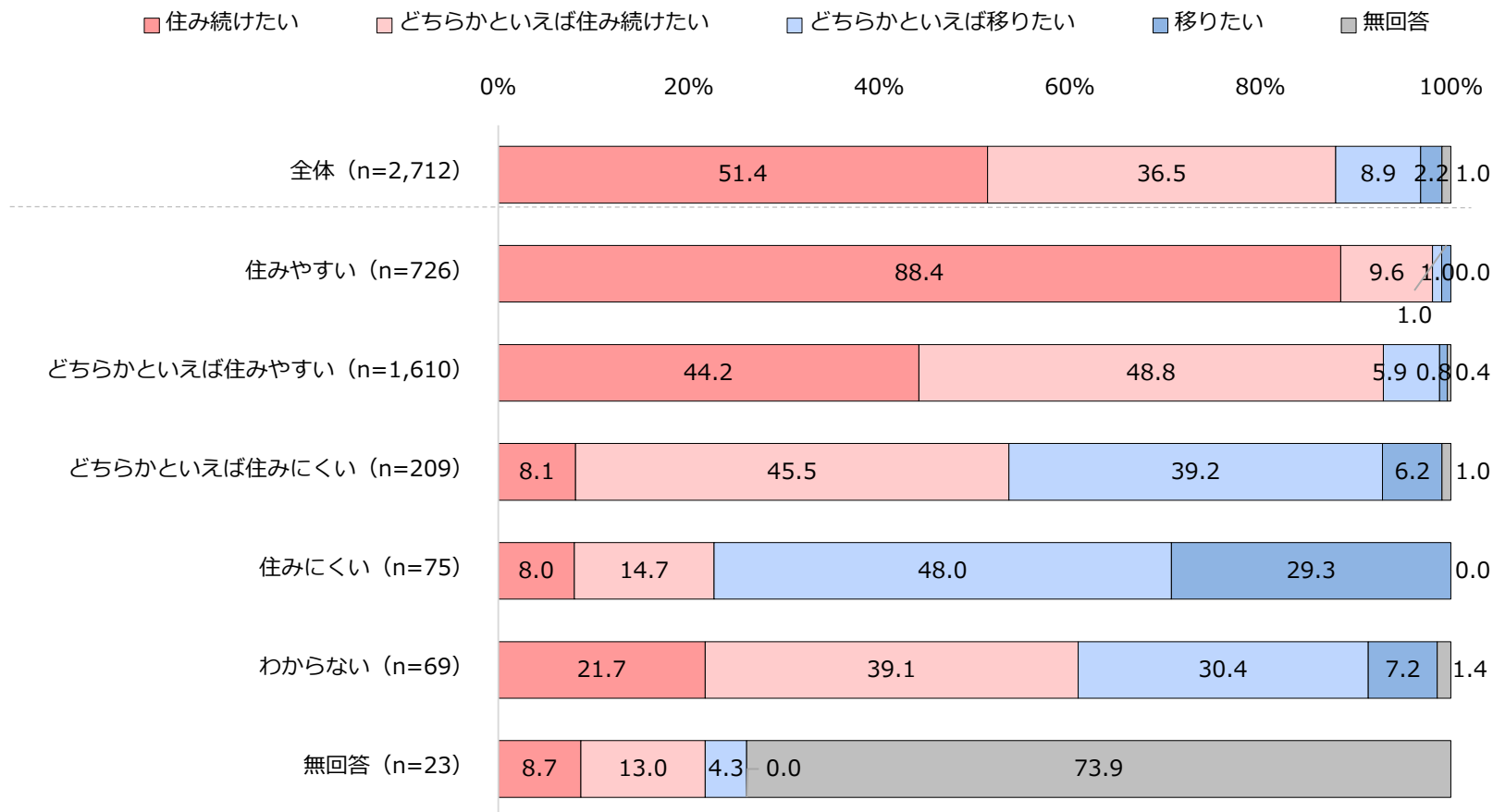
38



4. 「住みやすさへの評価」 × 「継続定住意向」



- 「住みやすい」とした層の約9割が「住み続けたい」と回答。逆に「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」とする層では「どちらかといえば移りたい」「移りたい」が顕著に高い。
- 住みやすさへの評価と継続定住意向に強い関連性があることが分かる。



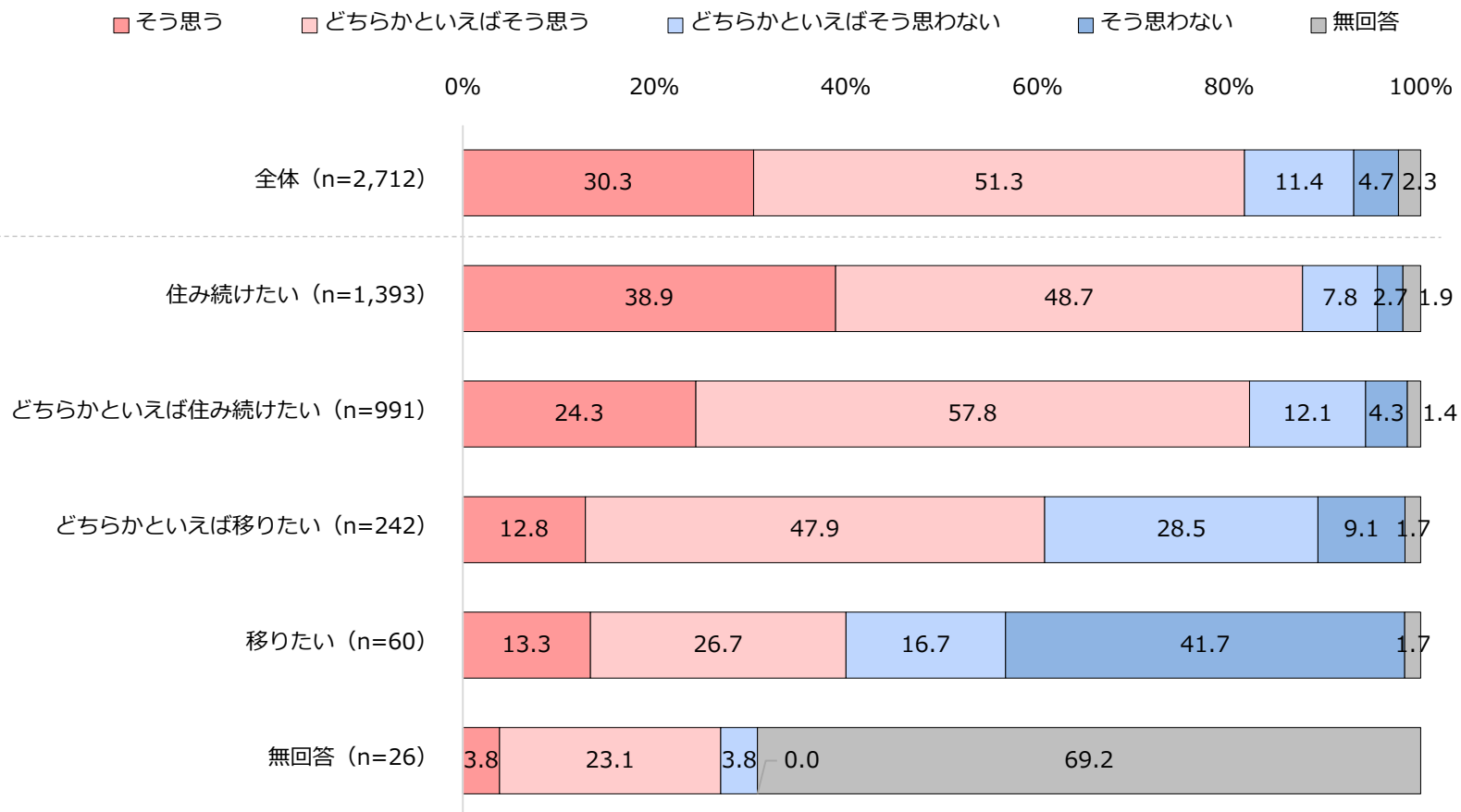
資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

4. 「継続定住意向」 × 「前橋市で暮らす人の役に立ちたいか」



- 「住み続けたい」とする層では9割近くが「役に立ちたい」との意向を有し貢献欲求が極めて高い。他方で「どちらかといえば移りたい」「移りたい」とする層では貢献欲求は低い。住みやすさが継続定住意向につながり、これが貢献欲求につながる、というサイクルが確認できる。

40

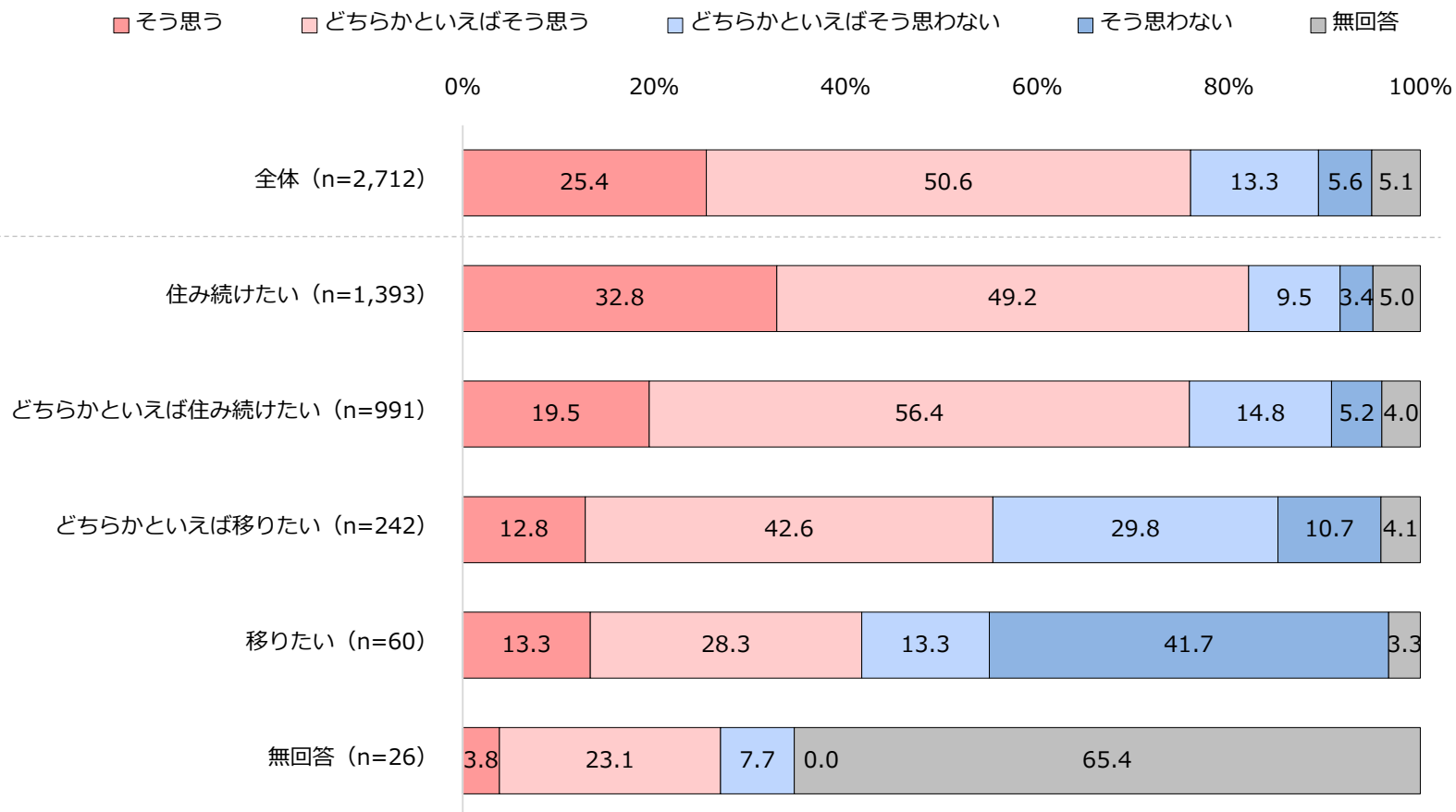


4. 「継続定住意向」 × 「前橋市で暮らす人のために何かしたい」



- 「住み続けたい」とする層では9割近くが「何かしたい」との意向を有し行動欲求が極めて高い。他方で「どちらかといえば移りたい」「移りたい」とする層では行動欲求は低い。住みやすさが継続定住意向につながり、これが貢献欲求につながり、さらに行動を誘発する、というサイクルが確認できる。

41



資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

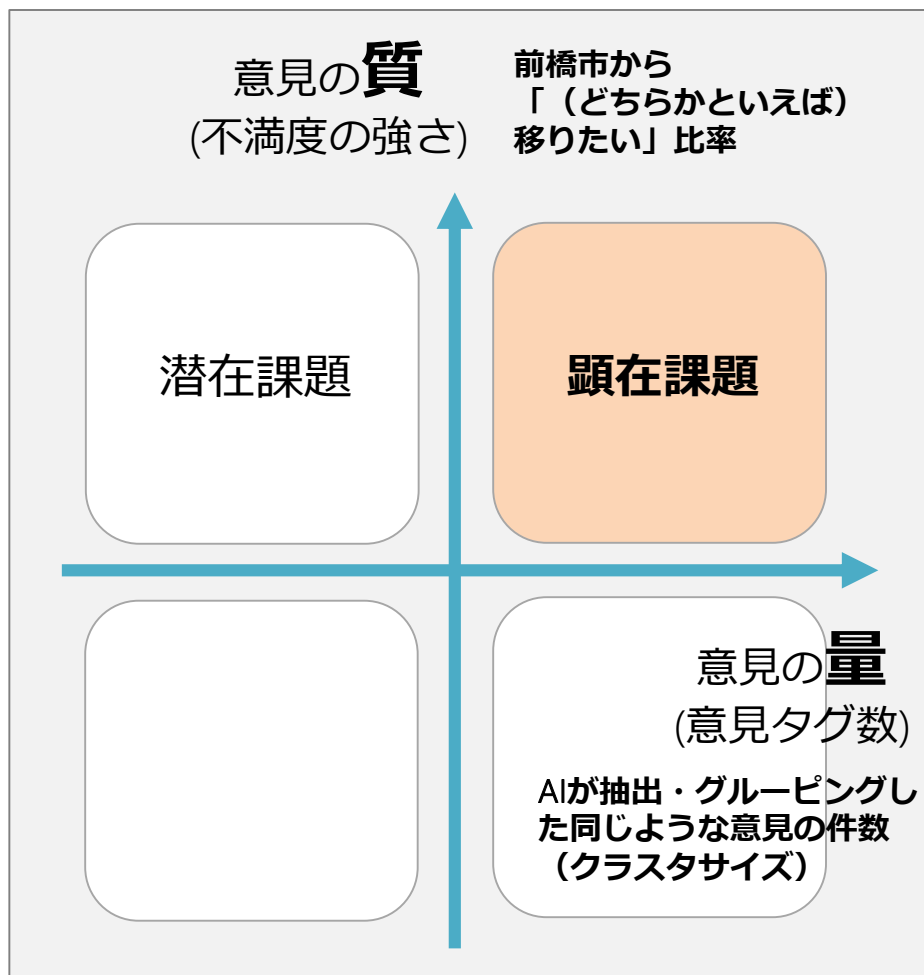
5. フリーコメント×AIによる課題抽出

5. 市民の声に基づく「住みやすさ」に関する優先課題図（顕在課題）



優先課題図

住みやすさからみる優先課題



【前提】

- ・市民の皆様が記述した「住みやすさ」に関する自由回答から文章解析AI「ITAS」を用いフレーズ（意見タグ）を抽出。
- ・類似するフレーズ（意見タグ）をAIでグルーピング（クラスタ化）。クラスタには類似する意見が含まれる。
- ・優先課題図はこの「クラスタ」をプロットする。

【横軸】意見の量（クラスタサイズ）

- ・クラスタに含まれる意見の件数を示す。
- ・具体的にはクラスタに含まれる意見タグの件数を示す。
- ・右にプロットされるクラスタほど「意見が多い」ことを示す。
- ・象限を分ける閾値は各クラスタに含まれる意見タグ件数の平均値である9.57件。

【縦軸】不満度の強さ：移住可能性

（前橋市から「(どちらかといえば) 移りたい」比率）

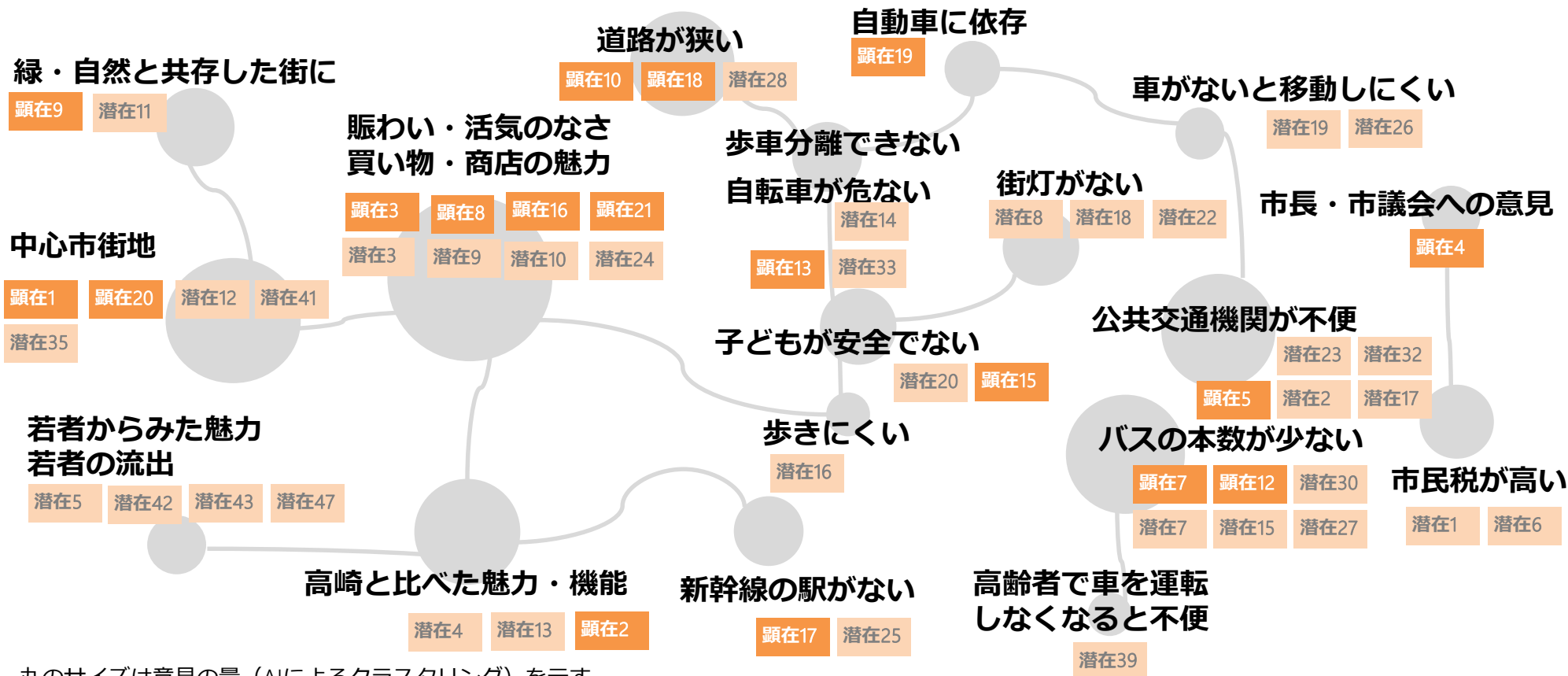
- ・各クラスタに含まれる意見タグの原文のうち、「これからも前橋市にずっと住み続けたいと思いますか。」との問いに対して「移りたい」「どちらかといえば移りたい」とした比率。
- ・象限を分ける閾値は閾値は回答者全体の移住可能性11.1%。

市民の声×AIに基づく「住みやすさ」からみた顕在課題・潜在課題



- 「住みやすさ」に関する市民の自由回答欄から得られた「顕在課題」「潜在課題」は以下。
- **自動車利用を前提とした都市構造故の移動利便性や安全性の低下を懸念する声**に加え、**中心市街地を中心とした街のにぎわい・魅力の低下**が地域への評価に影響を与えていることが分かる。

44



丸のサイズは意見の量（AIによるクラスタリング）を示す。
丸を結ぶ線は文脈の類似性を反映（人の目）。

5. 市民の声×AIに基づく「住みやすさ」に関する優先課題図（顕在課題）



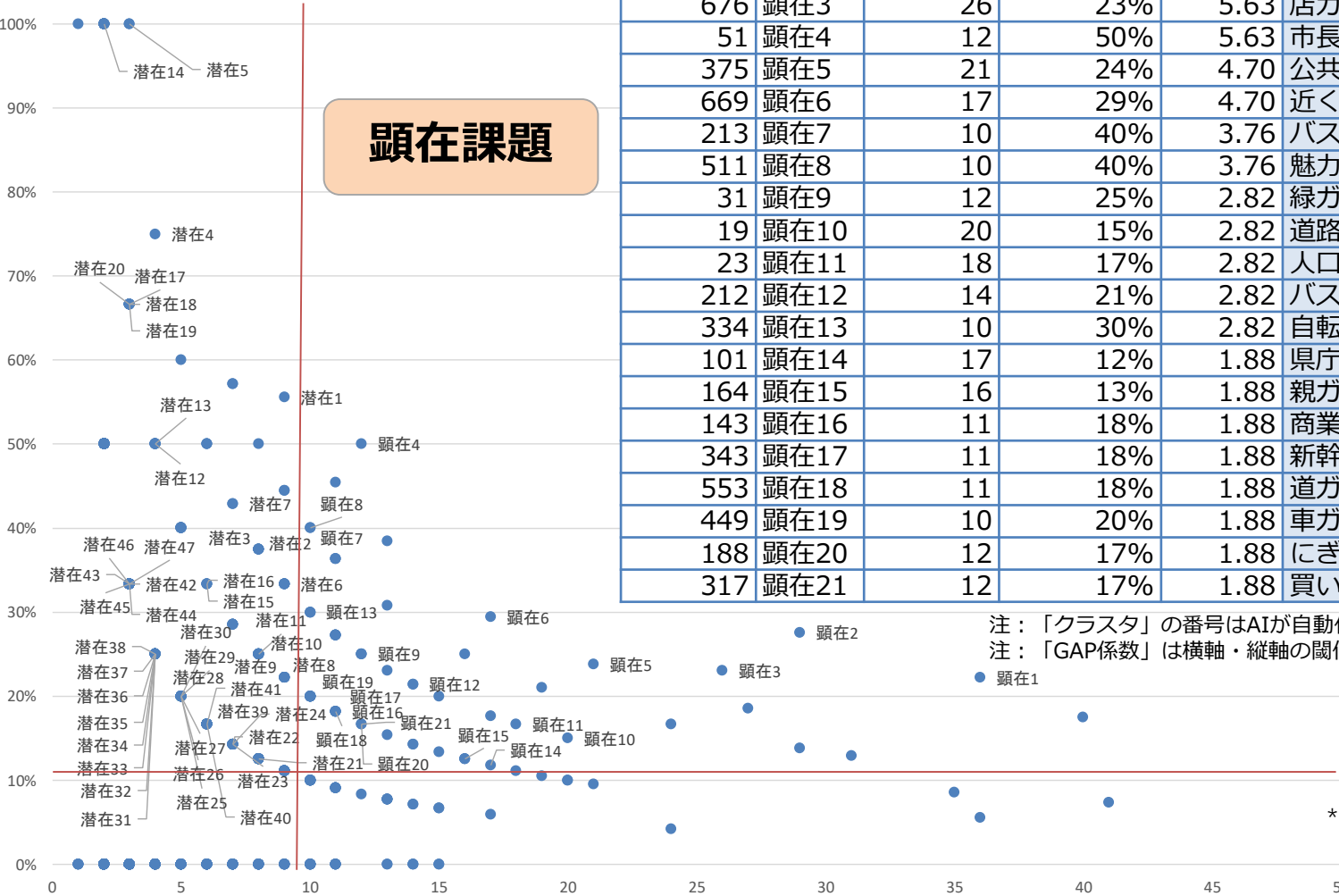
クラスサイズ平均
9.57件

顕在課題

クラス	顕在	サイズ	移住可能性	GAP係数	代表的な意見タグ
833	顕在1	36	22%	7.51	人がいない
702	顕在2	29	28%	7.51	高崎二負けている
676	顕在3	26	23%	5.63	店が閉じていて
51	顕在4	12	50%	5.63	市長が交代する
375	顕在5	21	24%	4.70	公共交通機関が充実していない
669	顕在6	17	29%	4.70	近く二なくなる
213	顕在7	10	40%	3.76	バスの本数を増やしてほしい
511	顕在8	10	40%	3.76	魅力がない
31	顕在9	12	25%	2.82	緑が豊かな
19	顕在10	20	15%	2.82	道路の幅が狭い
23	顕在11	18	17%	2.82	人口が増え
212	顕在12	14	21%	2.82	バスの本数が少ない
334	顕在13	10	30%	2.82	自転車に乗る
101	顕在14	17	12%	1.88	県庁がある
164	顕在15	16	13%	1.88	親が安心して
143	顕在16	11	18%	1.88	商業施設を増やしてほしい
343	顕在17	11	18%	1.88	新幹線が通っていない
553	顕在18	11	18%	1.88	道がせまい
449	顕在19	10	20%	1.88	車が多く
188	顕在20	12	17%	1.88	にぎわいがある
317	顕在21	12	17%	1.88	買い物ができる

注：「クラス」の番号はAIが自動付番した意見クラスターのID番号を示す。
注：「GAP係数」は横軸・縦軸の閾値からの乖離度合を示す。

45
移住可能性（移りたい・どちらかといえば移りたい人の比率）



11.1% 移住可能性*

*「移りたい」、「どちらかといえば移りたい」の合計

意見の量（AIがグルーピングした同ような意見の多さ：件数）

資料：前橋市 市民アンケート（2019年）より作成。

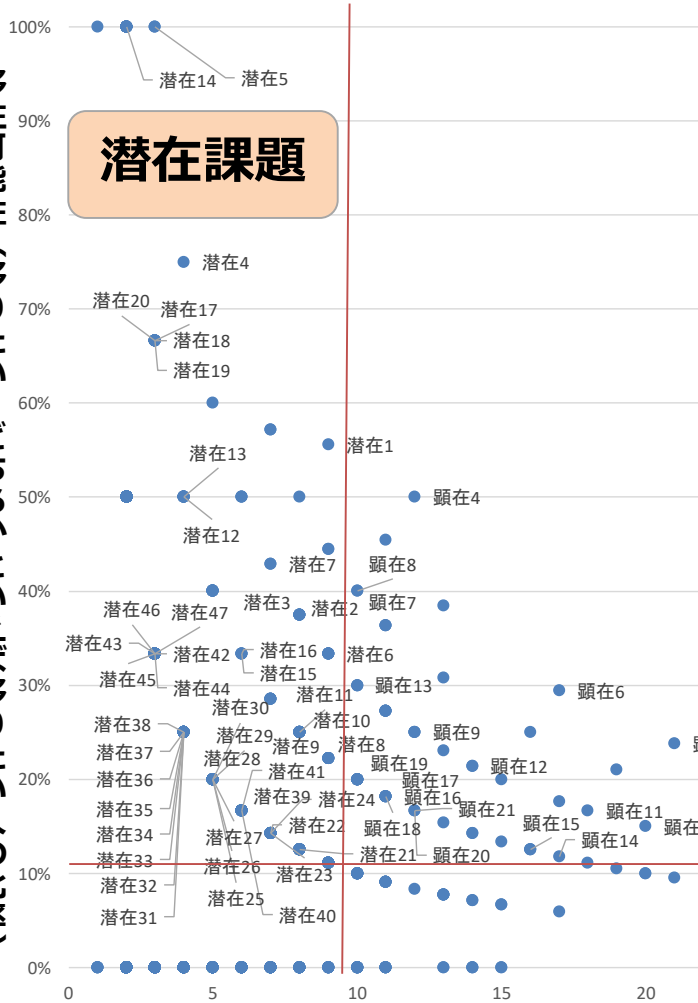
5. 市民の声×AIに基づく「住みやすさ」に関する優先課題図（潜在課題1/2）



クラスサイズ平均
9.57件

クラス	潜在	サイズ	不満比率	GAP係数	代表的な意見タグ
20	潜在1	9	56%	4.70	市民税が高い
229	潜在2	8	38%	2.82	交通が不便で
674	潜在3	8	38%	2.82	思う店がない
697	潜在4	4	75%	2.82	高崎二行ってしまう
734	潜在5	3	100%	2.82	若者が行ってしまう
281	潜在6	9	33%	2.82	税金が高い
474	潜在7	7	43%	2.82	バスがなく
261	潜在8	9	22%	1.88	外灯が少ない
313	潜在9	9	22%	1.88	買い物二行く
314	潜在10	8	25%	1.88	買い物二行けない
406	潜在11	8	25%	1.88	自然がある
298	潜在12	4	50%	1.88	活気がなく
699	潜在13	4	50%	1.88	高崎が良い
419	潜在14	2	100%	1.88	歩行者が安心して
455	潜在15	6	33%	1.88	バスヲ充実させてほしい
544	潜在16	6	33%	1.88	歩道がない
207	潜在17	3	67%	1.88	交通の便が不便
260	潜在18	3	67%	1.88	街灯がなくて
447	潜在19	3	67%	1.88	車が使えない
796	潜在20	3	67%	1.88	子供が通る
492	潜在21	8	13%	0.94	病院二行く
259	潜在22	7	14%	0.94	街灯が少ない
382	潜在23	7	14%	0.94	交通機関ヲ充実させてほしい
670	潜在24	7	14%	0.94	店が少なく

46
移住可能性（移りたい・どちらかといえば移りたい人の比率）



注：「クラス」の番号はAIが自動付番した意見クラスターのID番号を示す。
注：「GAP係数」は横軸・縦軸の閾値からの乖離度合を示す。

11.1% 移住可能性*

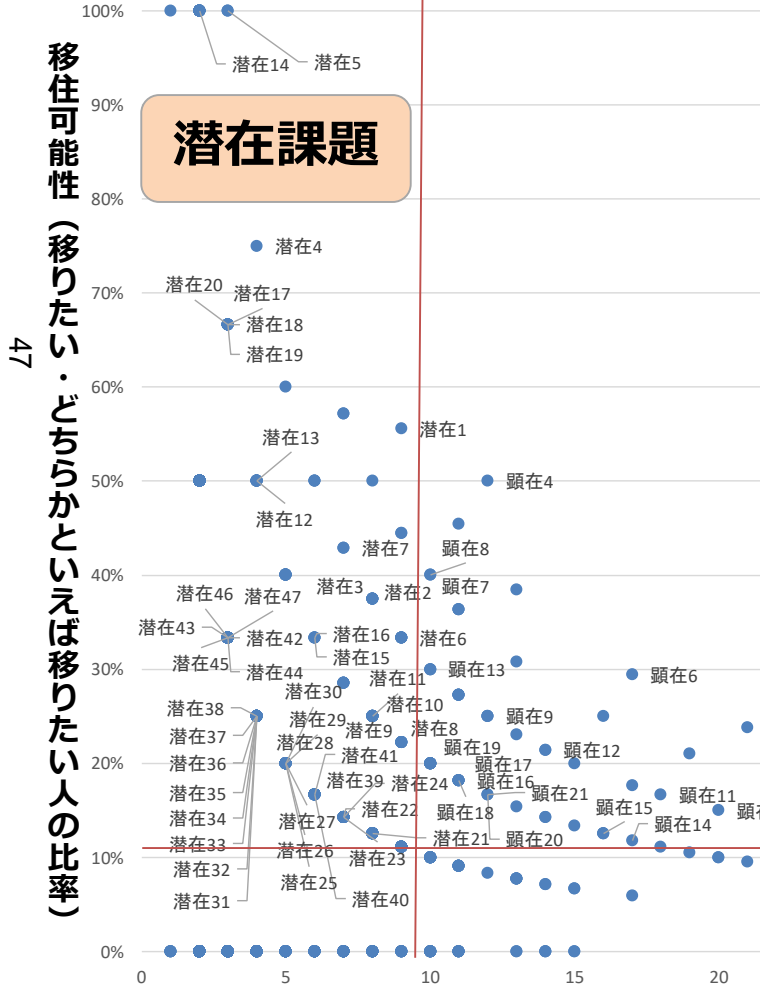
*「移りたい」、「どちらかといえば移りたい」の合計

5. 市民の声×AIに基づく「住みやすさ」に関する優先課題図（潜在課題2/2）



クラスサイズ平均
9.57件

クラス	潜在	サイズ	不満比率	GAP係数	代表的な意見タグ
342	潜在25	5	20%	0.94	新幹線ガ止まらない
437	潜在26	5	20%	0.94	車ヲ運転しない
460	潜在27	5	20%	0.94	バスガ通っていない
550	潜在28	5	20%	0.94	道路ガ狭く
680	潜在29	5	20%	0.94	高校ガ移り
719	潜在30	5	20%	0.94	マイバスヲ増やしてほしい
214	潜在31	4	25%	0.94	電車の本数ガ少ない
225	潜在32	4	25%	0.94	公共交通機関の充実ガ必要だ
337	潜在33	4	25%	0.94	自転車ガない
612	潜在34	4	25%	0.94	スーパーガない
660	潜在35	4	25%	0.94	街中ガにぎわう
824	潜在36	4	25%	0.94	人ヲ呼べる
1008	潜在37	4	25%	0.94	よる事故ガ多発しています
1011	潜在38	4	25%	0.94	事故ヲ起こさない
257	潜在39	6	17%	0.94	車の運転ガ出来ない
546	潜在40	6	17%	0.94	道路ヲ整備してほしい
822	潜在41	6	17%	0.94	人々ガ集まる
215	潜在42	3	33%	0.94	電車の本数ヲ増やしてほしい
729	潜在43	3	33%	0.94	若者ガ離れていく
730	潜在44	3	33%	0.94	若者ガ少ない
1041	潜在45	3	33%	0.94	駅周辺ニ集中させ
1116	潜在46	3	33%	0.94	事故ガ減る
1127	潜在47	3	33%	0.94	若者二人気のある



注: 「クラス」の番号はAIが自動付番した意見クラスターのID番号を示す。
注: 「GAP係数」は横軸・縦軸の閾値からの乖離度を示す。

11.1% 移住可能性*

* 「移りたい」、「どちらかといえば移りたい」の合計

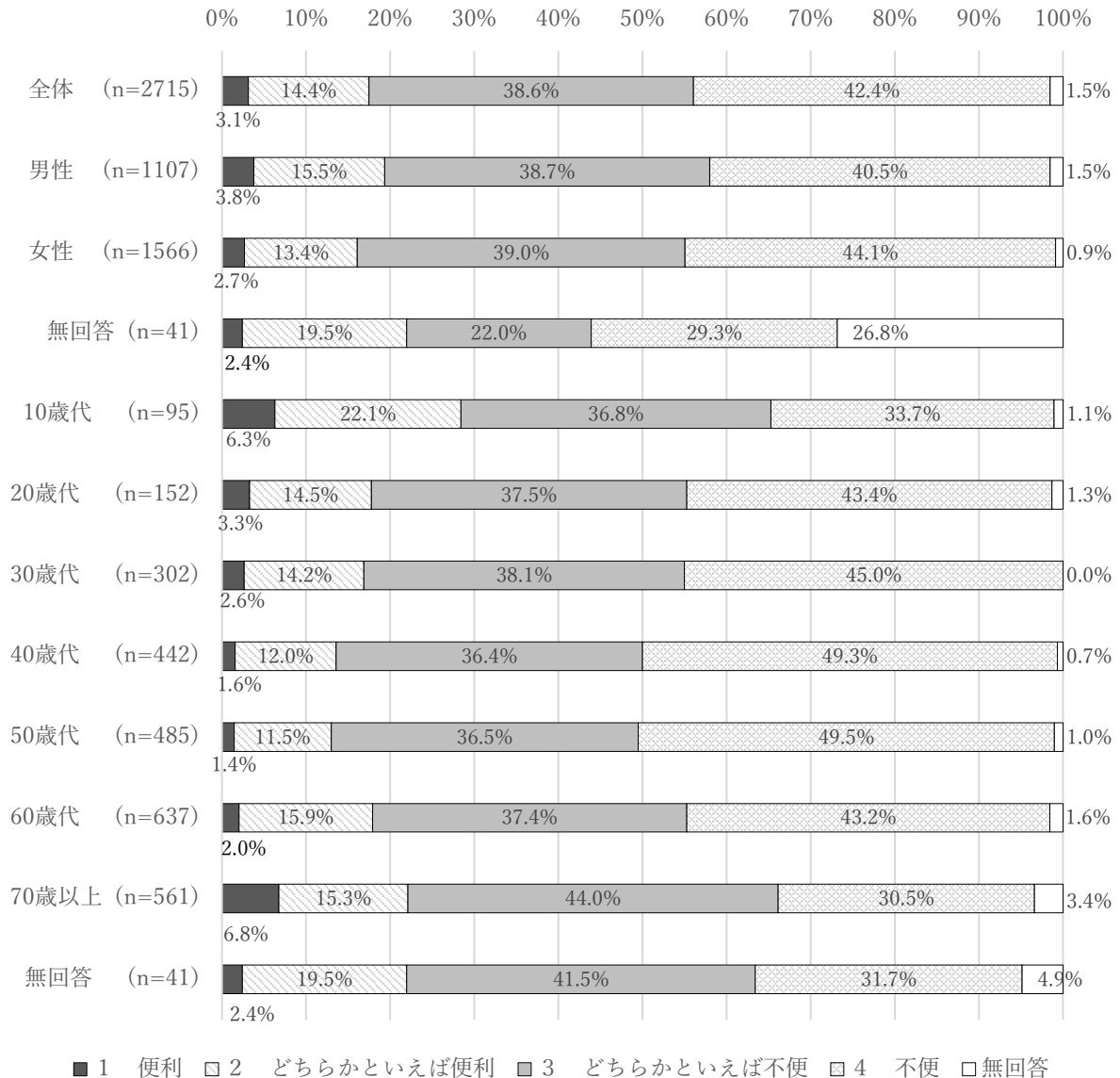
● 「まちづくり」アンケート《各施策の質問》

報告書

■ 公共交通・自転車の利用環境について

【問7】あなたは、前橋市内における鉄道・バスなどの公共交通機関を便利だと感じますか。
 あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

【性別・年代別】

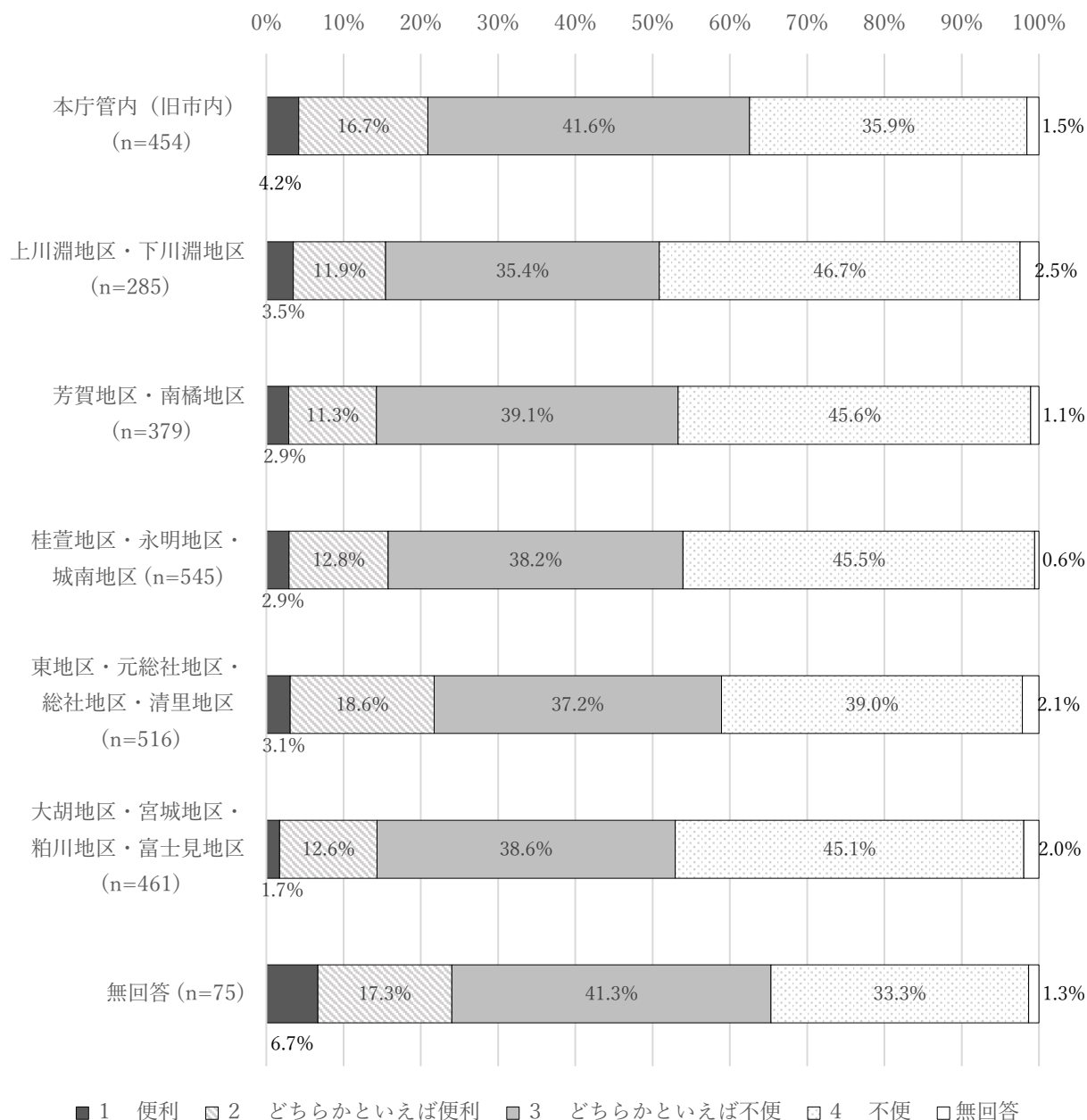


※性別・年代別に関係なく、前橋市内の公共交通機関について「3 どちらかといえば不便」「4 不便」であると約80%が回答した。

※20歳代～60歳代では、約50%近くが「4 不便」である回答したが、70歳以上の方は30.5%である。

※「1 便利」「2 どちらかといえば便利」であると回答したのは、「10歳代」(6.3%)と「70歳以上」(6.8%)である。

【地区別】



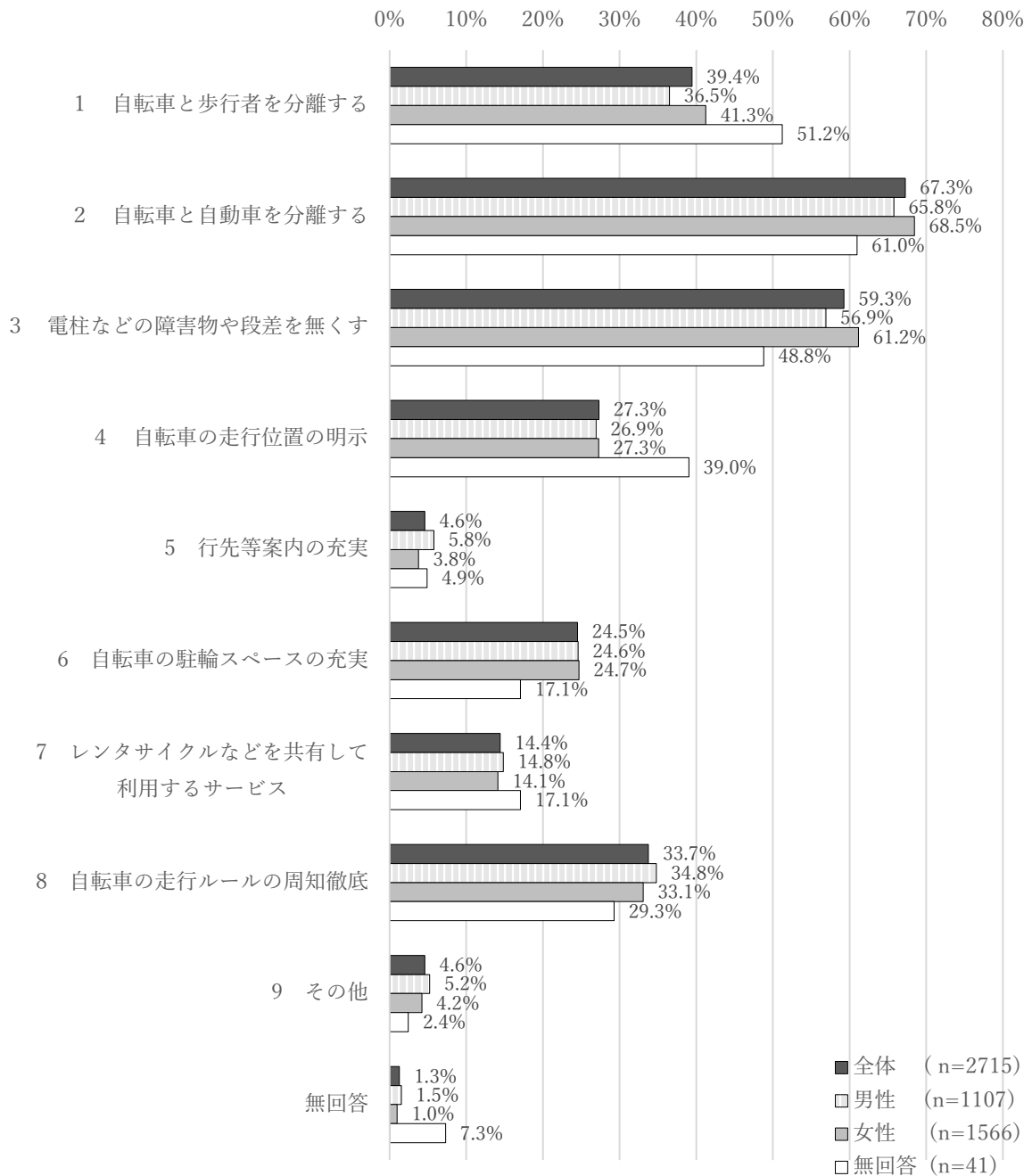
※地区別においても、前橋市内の公共交通機関について、「3 どちらかといえば不便」

「4 不便」であると約 80%近くが回答した。

※「4 不便」であると回答した地区は、「本庁管内 (旧市内)」が 35.9%、「東地区・元総社地区・総社地区・清里地区」が 39.0%であるのに対し、「上川淵地区・下川淵地区」は 45.6%、「芳賀地区・南橋地区」は 45.5%、「大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区」は 45.1%であった。

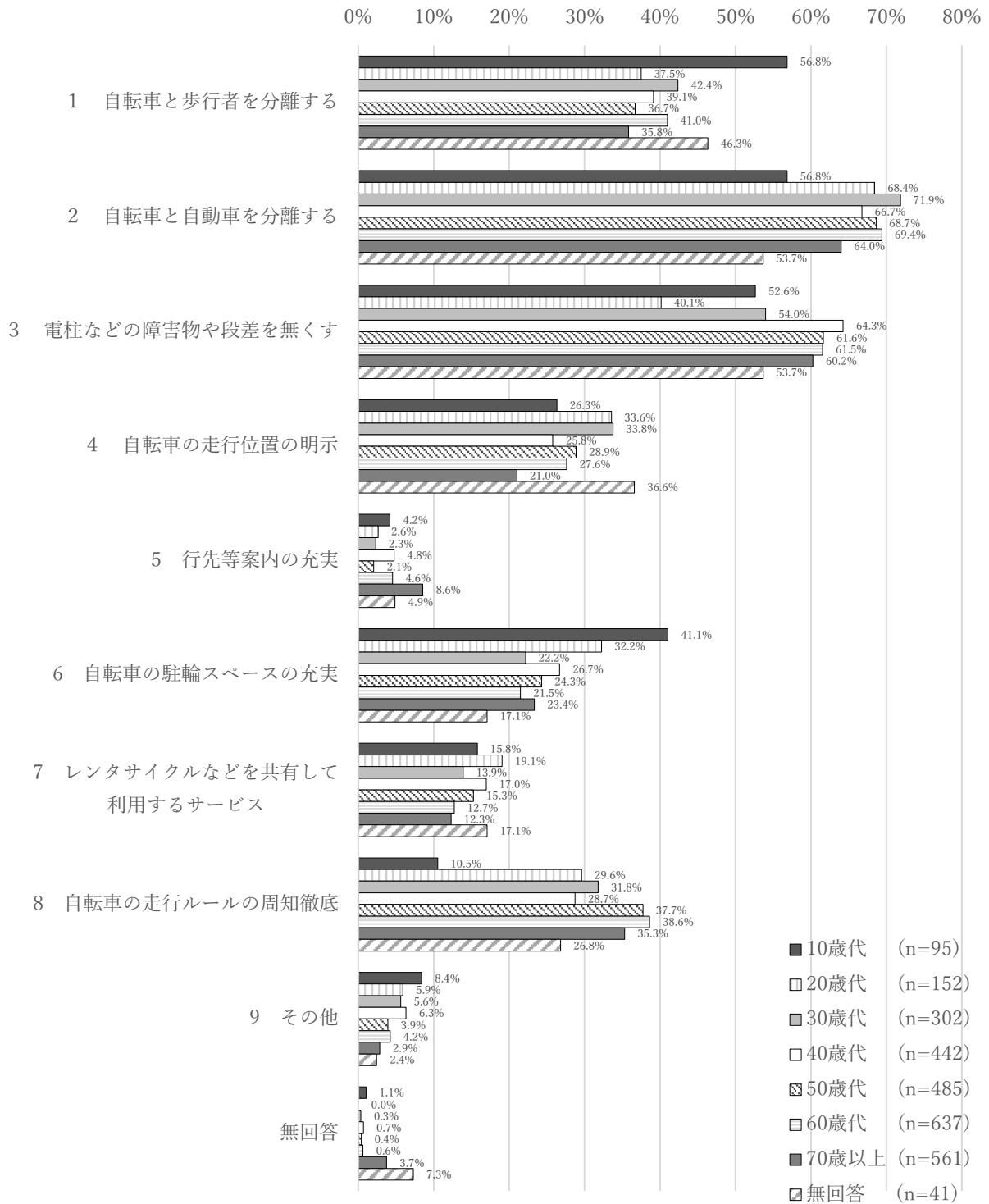
【問8】自転車を快適に利用するために重要だと思うものは何ですか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

【性別】



※自転車を快適に利用するために重要だと思うものの回答は、全体で「2 自転車と自動車を分離する」が67.3%、「3 電柱などの障害物を無くす」が59.3%、「1 自転車と歩行者を分離する」が39.4%である。

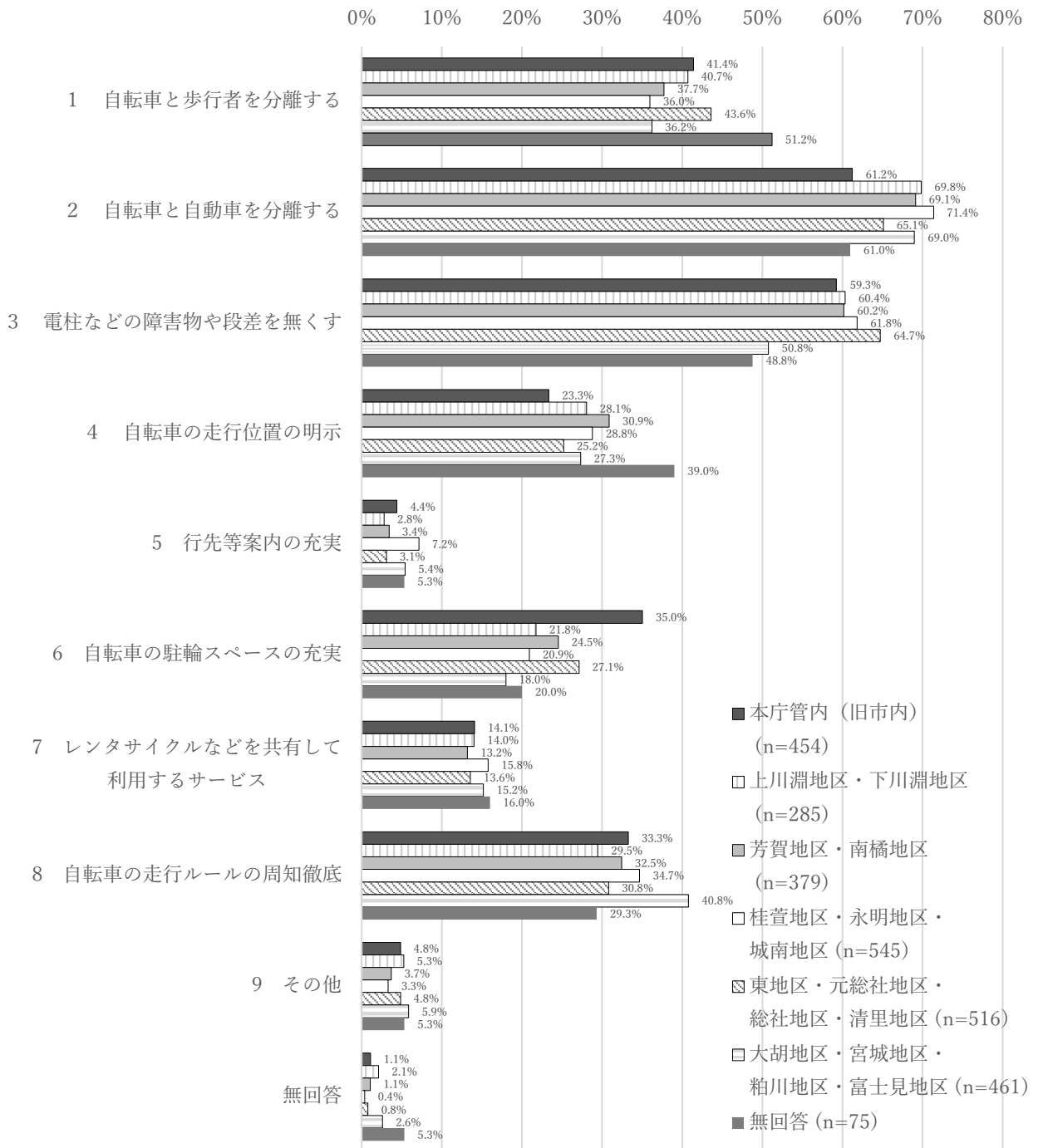
【年代別】



※年代別で自転車を快適に利用するために重要だと思うものの回答は、「2 自転車と自動車を分離する」が30歳代で71.9%、60歳代で69.4%である。

※他年代と比べると、10歳代で「1 自転車と歩行者を分離する」が56.8%、「6 自転車の駐輪スペースの充実」が41.1%と高くなっている。

【地区別】



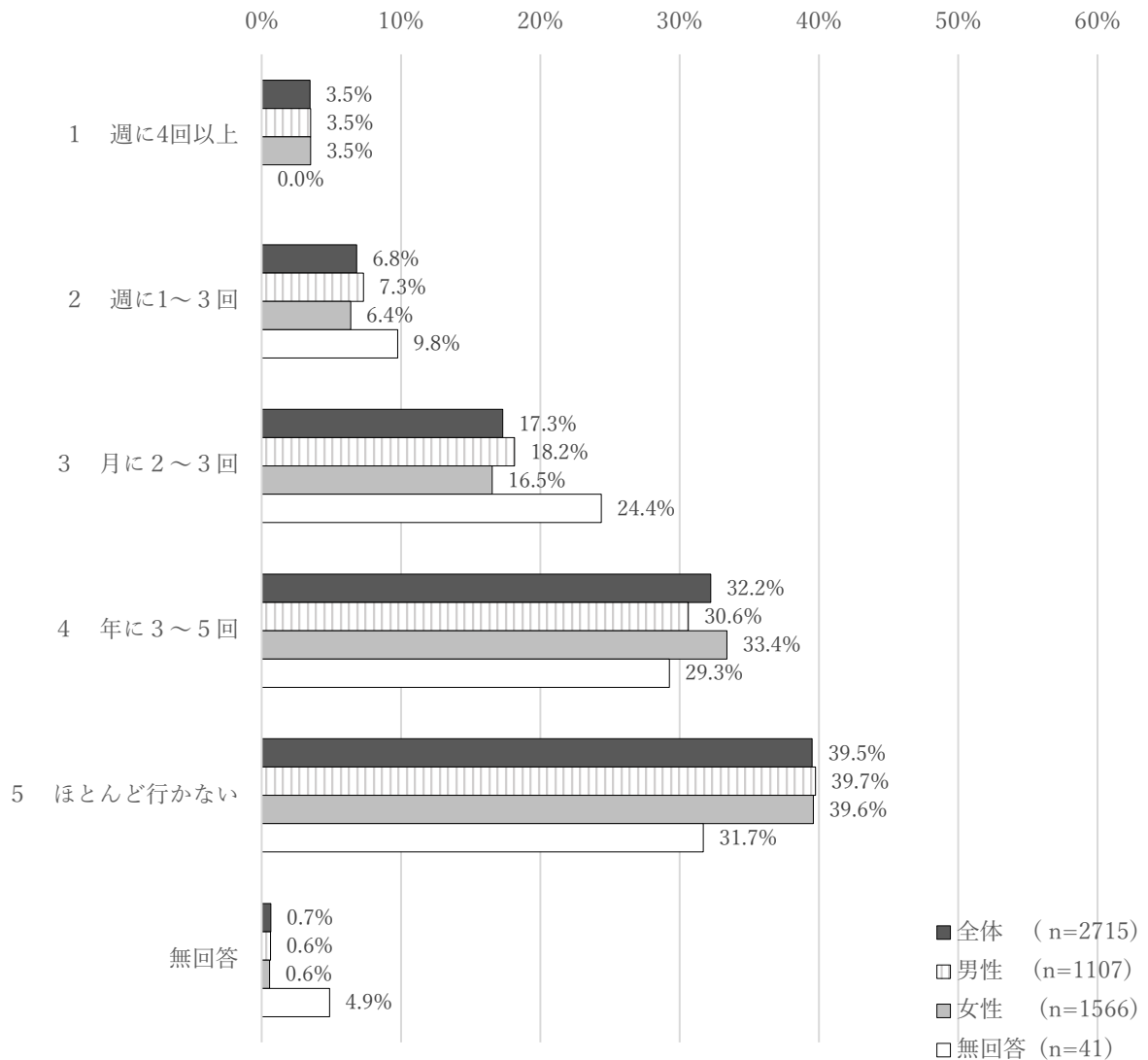
※地区別で自転車を快適に利用するために重要だと思うものの回答は、「2 自転車と自動車を分離する」が多く、性別や年代別と同様の傾向が見られる。

※「6 自転車の駐輪スペースの充実」は、他地区と比べると「本庁管内 (旧市内)」が 35.0% 高く、「8 自転車の走行ルールの周知徹底」は、他地区と比べると「大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区」が 40.8% と高い。

■ 産業振興について

【問9】 中心市街地（まちなか）には、どのくらいの頻度で行きますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

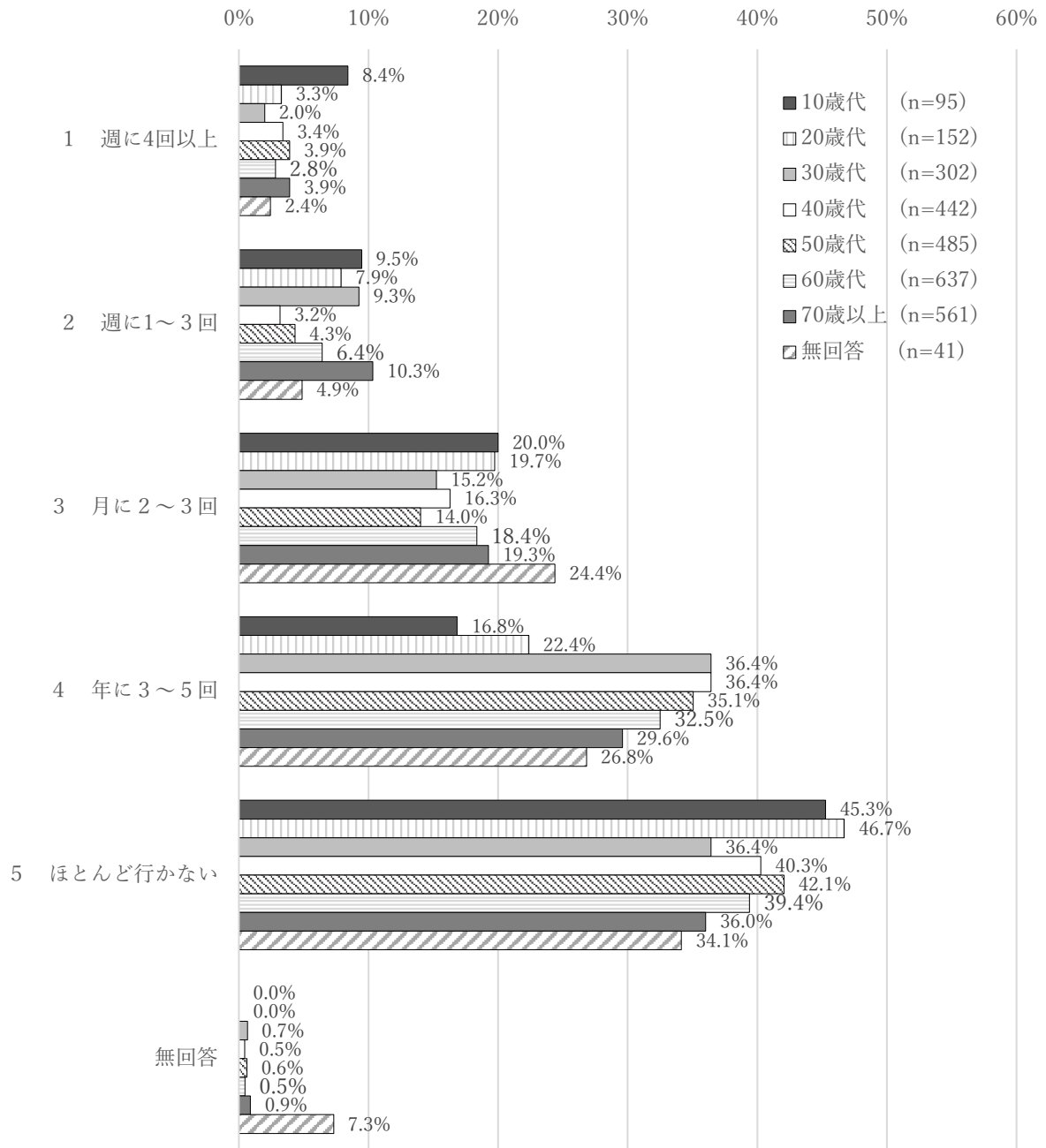
【性別】



※中心市街地（まちなか）にどのくらいの頻度で行きますかの回答は、「5 ほとんど行かない」が、全体で 39.5%、男性で 39.7%、女性 39.6%である。

※性別による回答傾向の違いは、見られない。

【年代別】

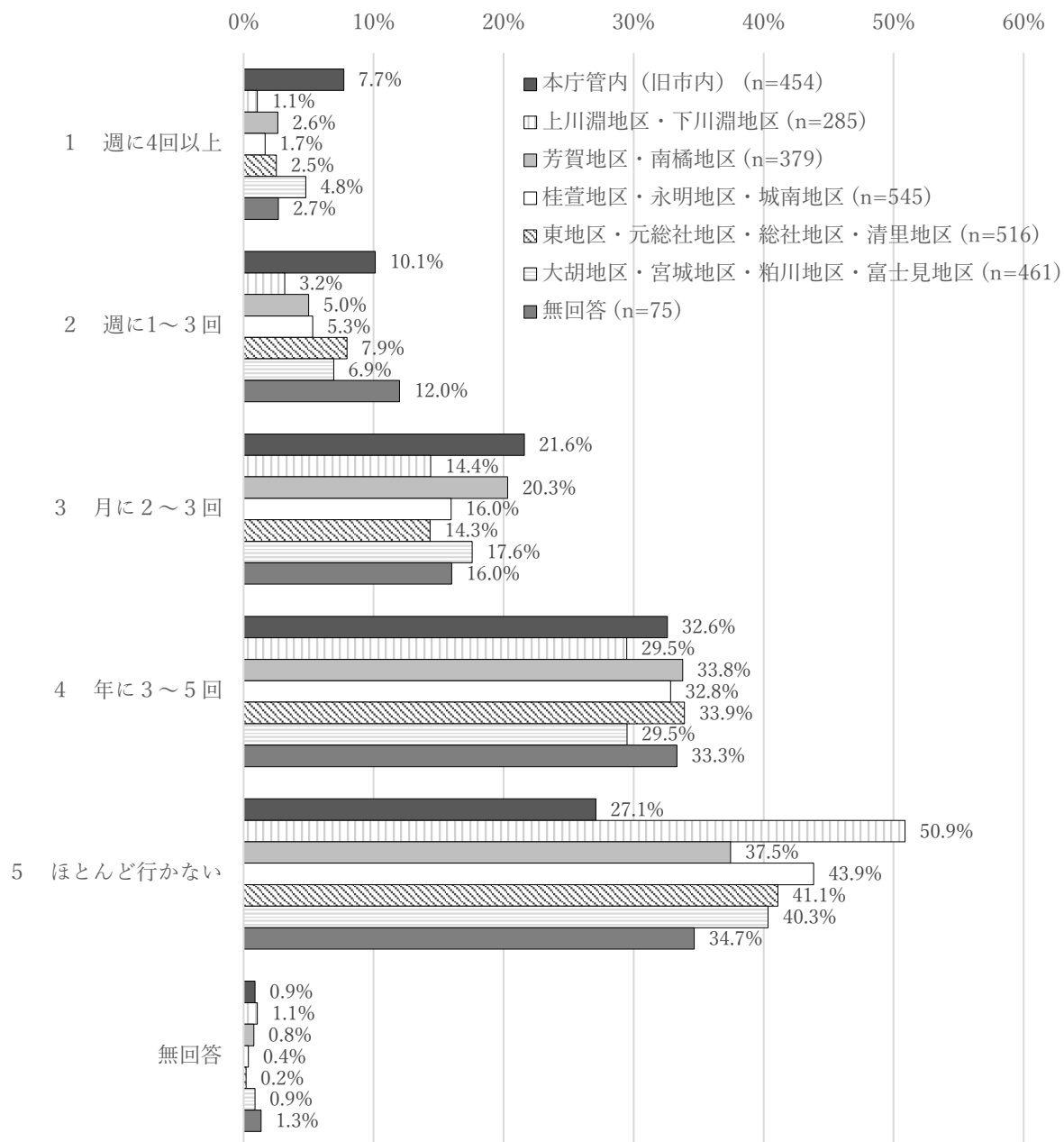


※中心市街地（まちなか）にどのくらいの頻度で行きますかの回答については、

「5 ほとんど行かない」が、10歳代で45.3%、20歳代で46.7%である。

※「4 年に3~5回」は、30歳代・40歳代ともに36.4%で、「1 週4回以上」は、どの年代においても10%以下である。

【地区別】



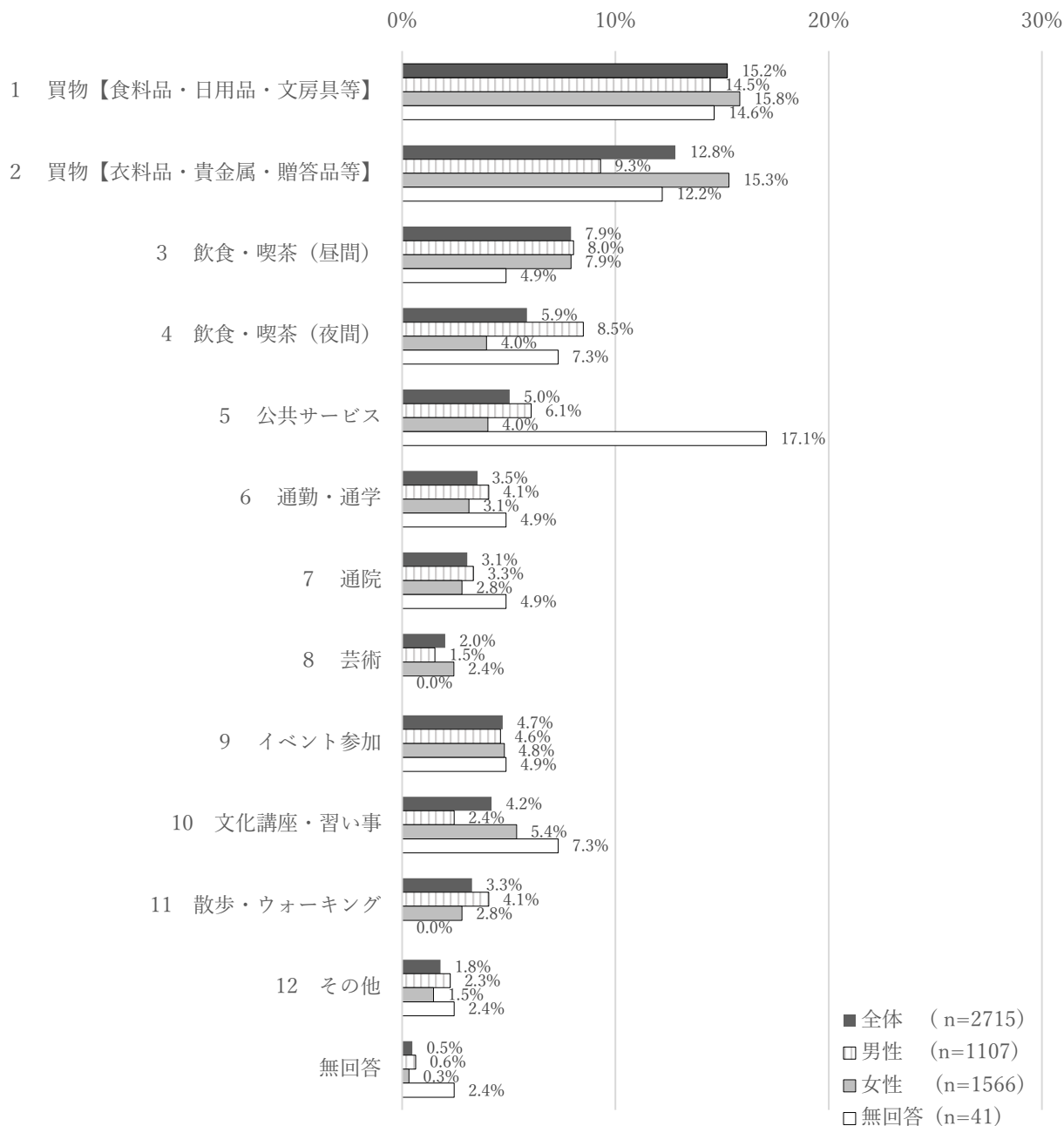
※中心市街地（まちなか）にどのくらいの頻度で行きますかの回答は、「5 ほとんど行かない」が、上川淵地区・下川淵地区 50.9%、桂萱地区・永明地区・城南地区 43.9%、東地区・元総社地区・総社地区・清里地区 41.1%、大胡地区・宮城地区・粕川地区・富士見地区 40.3%である。

※「1 週4回以上」行くと回答したのは、本庁管内（旧市内） 7.7%で他と比べるとやや高い割合となっている。

【問10】（問9）で1～3と回答された方にお伺いします。

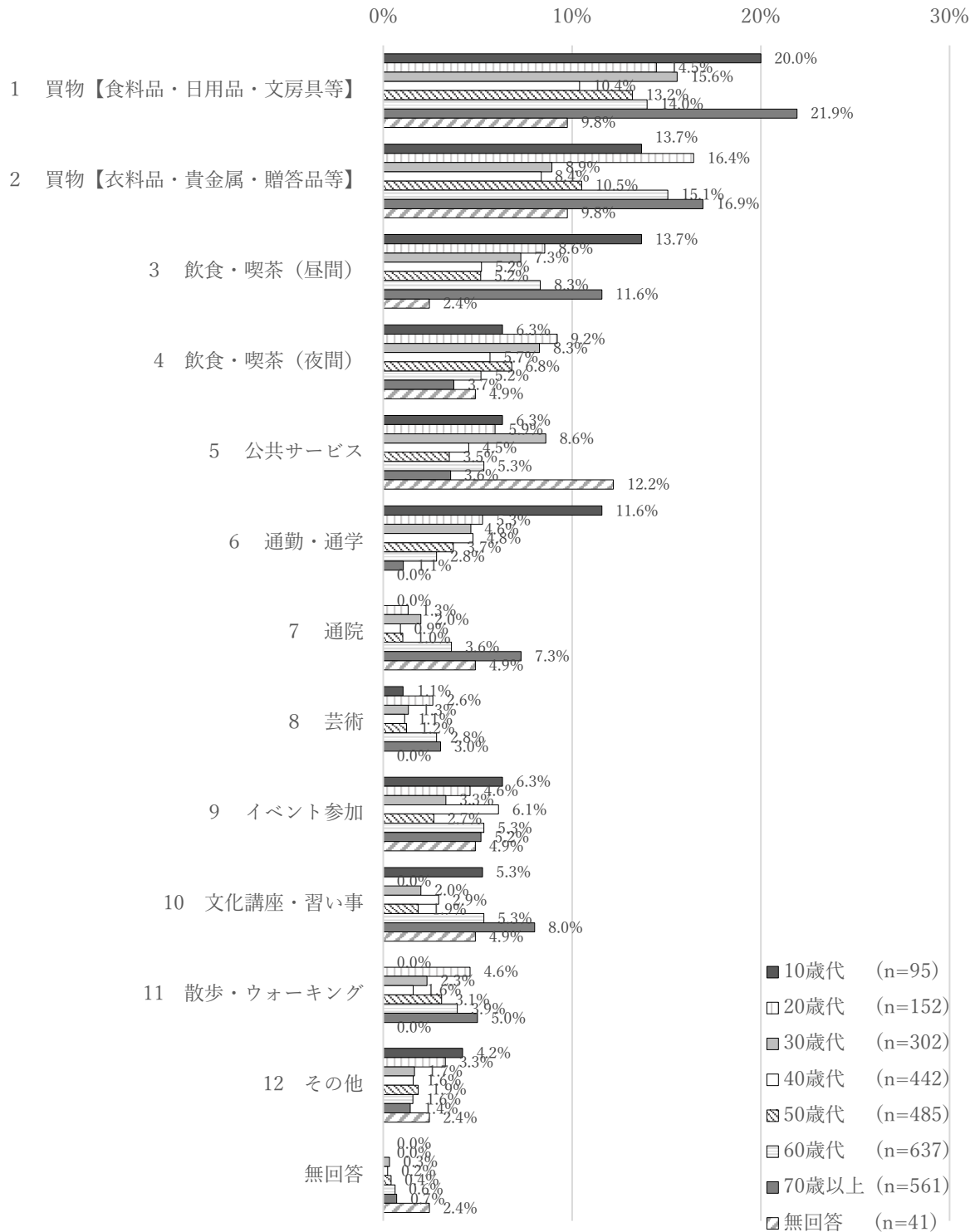
中心市街地（まちなか）へ行く目的として、どのようなものがありますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【性別】



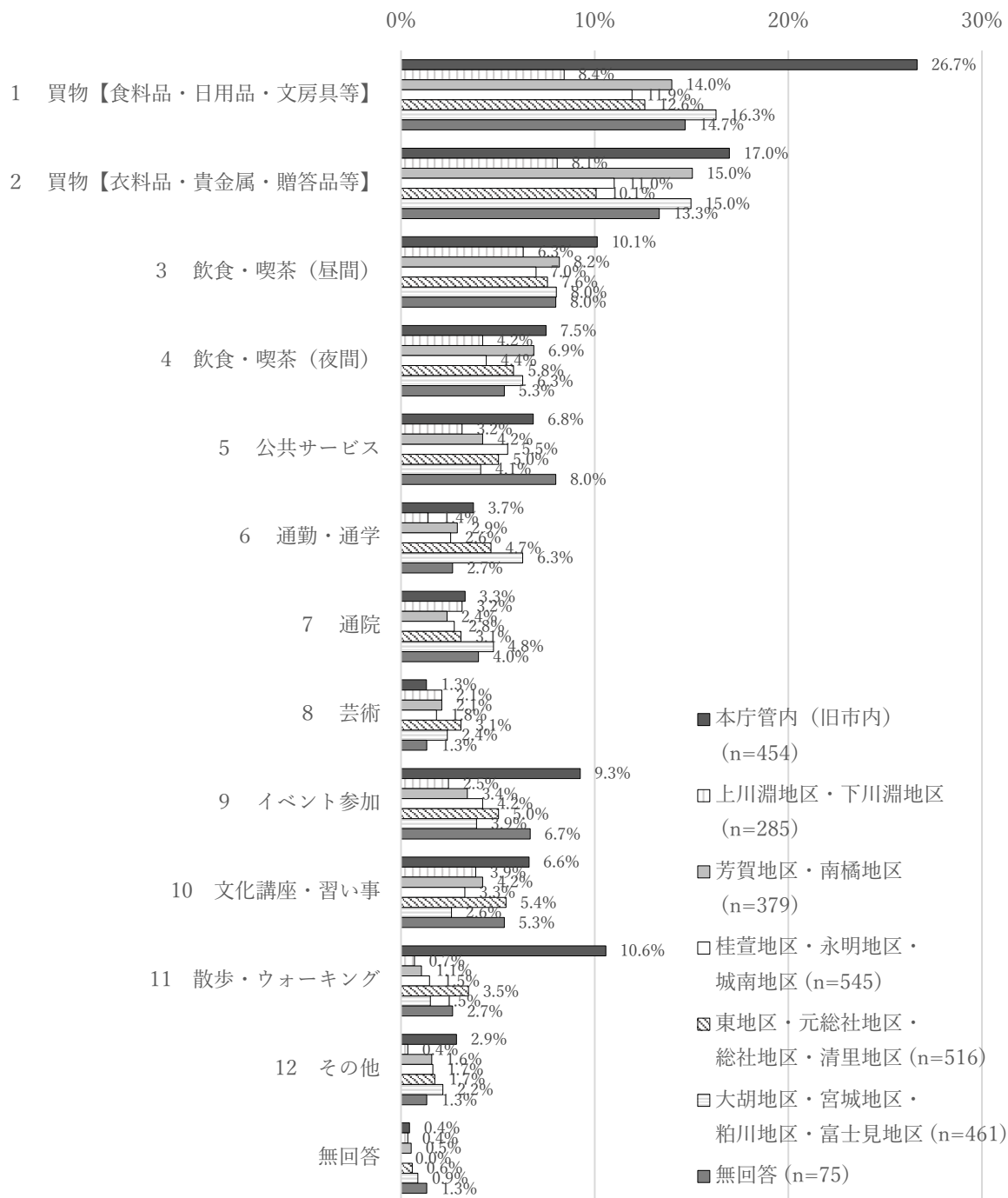
※中心市街地（まちなか）に行く目的は、全体で「1 買物【食料品・日用品・文具等】」が15.2%、「2 買物【衣料品・貴金属・贈答品等】」が12.8%である。

【年代別】



※中心市街地（まちなか）に行く目的は、年代別で10歳代が「1 買物【食料品・日用品・文具等】」20.0%、また、70歳代が「1 買物【食料品・日用品・文具等】」21.9%であり、他年代と比べると10歳代と70歳代の割合が高い。

【地区別】

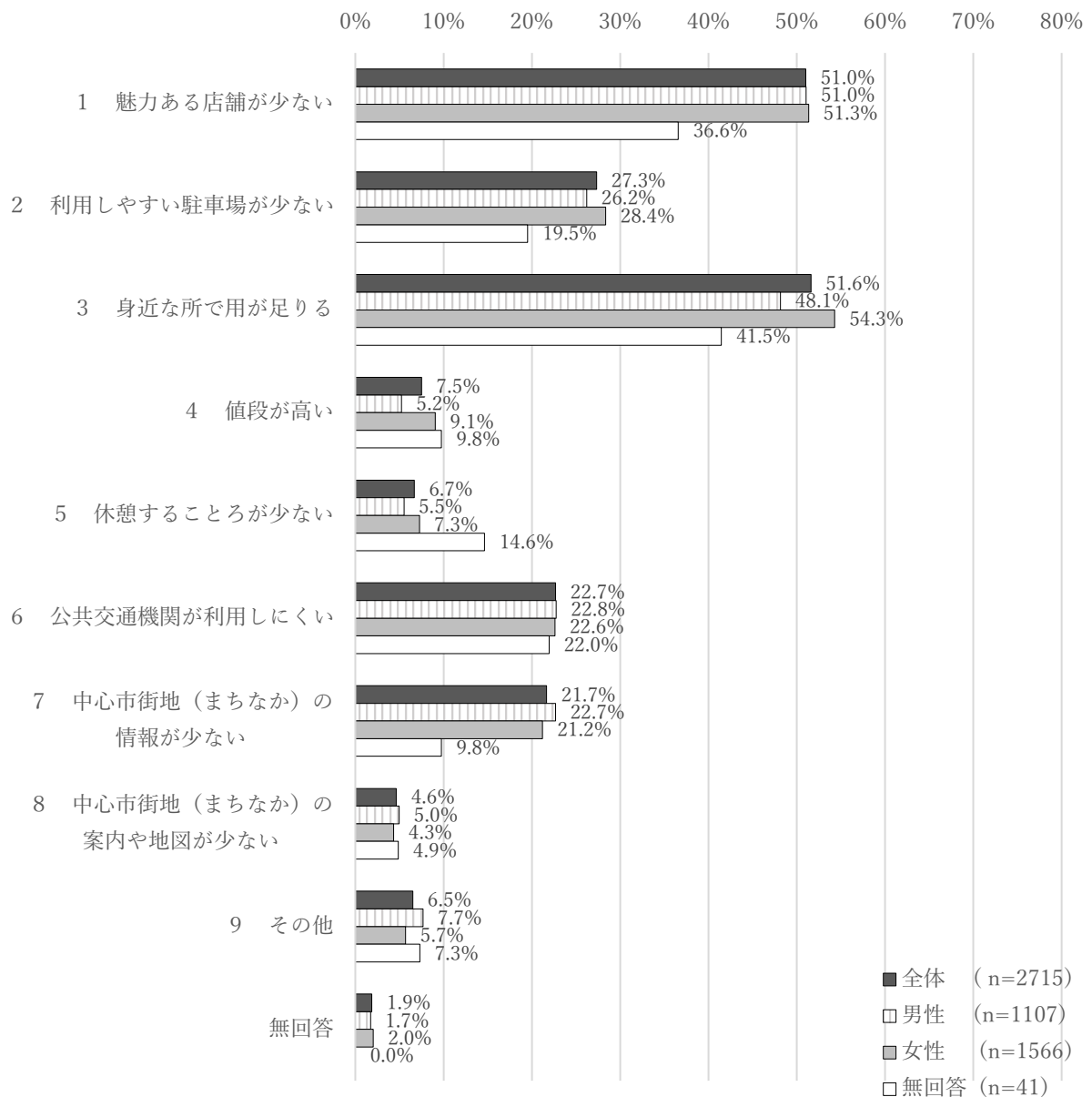


※中心市街地（まちなか）に行く目的は、地区別で、本庁管内（旧市内）の人の割合が高く、「1 買物【食料品・日用品・文具等】」26.7%、「2 買物【衣料品・貴金属・贈答品等】」17.0%、「11 散歩・ウォーキング」10.6%、「3 飲食・喫茶（昼間）」9.3%であり、中心市街地（まちなか）の近くに住んでいる人の利用が多い。

【問11】（問9）で4、5と回答された方にお伺いします。

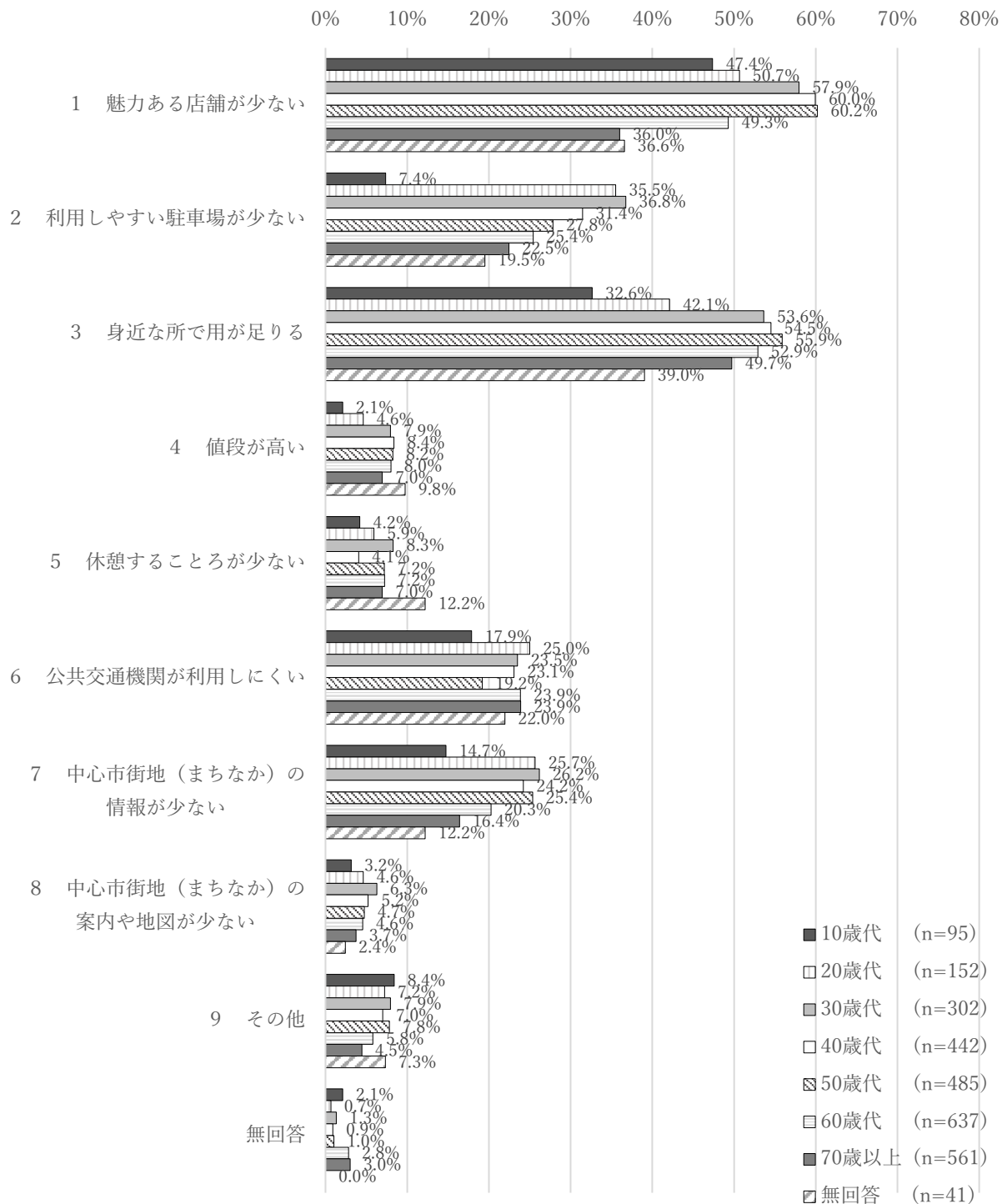
中心市街地（まちなか）に行かない理由として、どのようなものがありますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【性別】



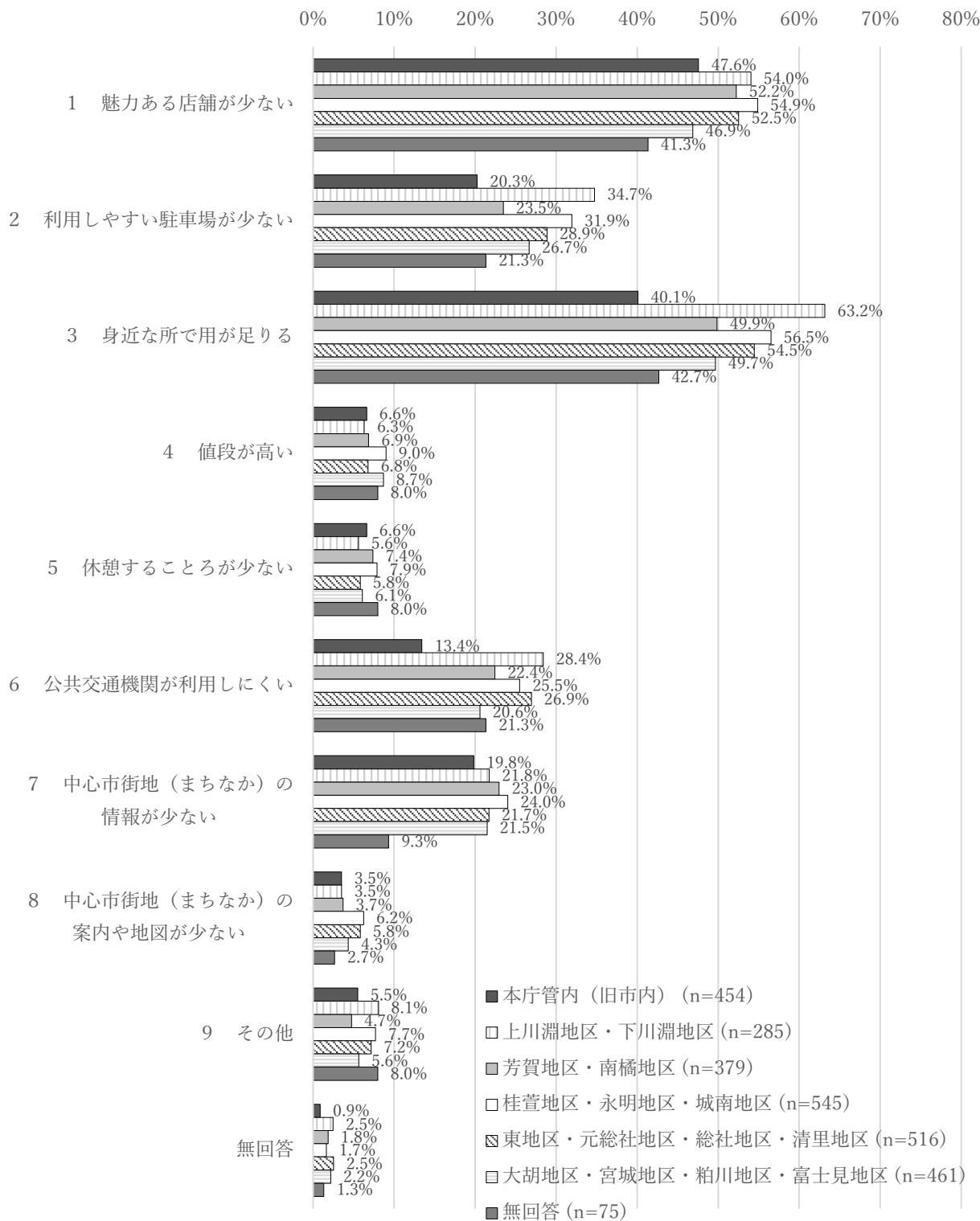
※中心市街地（まちなか）に行かない理由の多くは、「1 魅力ある店舗が少ない」と「3 身近な所で用が足りる」で、全体・男性・女性ともに約 50%を占めている。性別による回答の違いは、あまり見られない。

【年齢別】



※中心市街地（まちなか）に行かない理由の多くは、「1 魅力ある店舗が少ない」と「3 身近な所で用が足りる」であり、年齢別では40歳代、50歳代、60歳代の回答が約55～60%占めている。

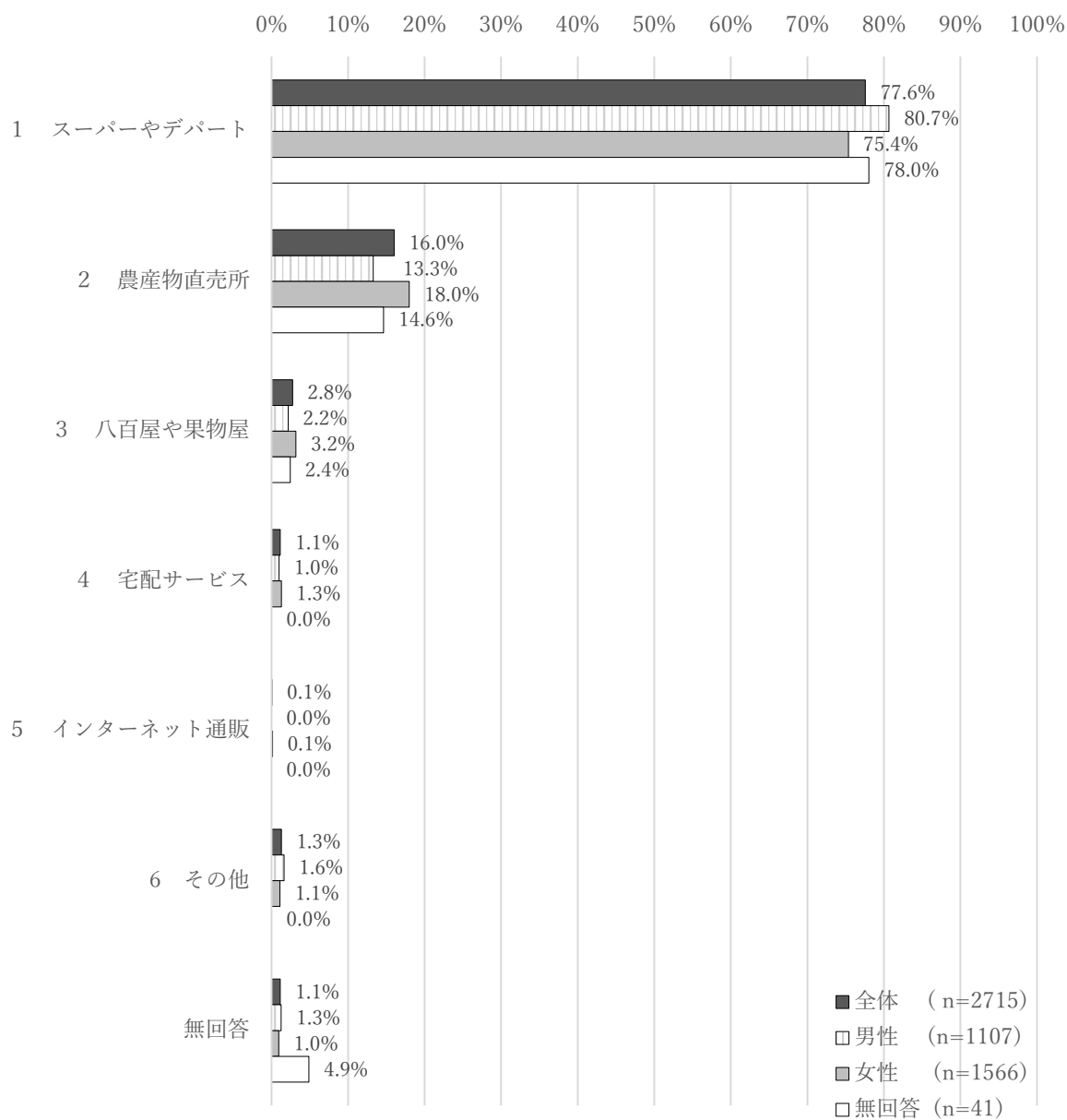
【地区別】



※中心市街地（まちなか）に行かない理由の多くは、「1 魅力ある店舗が少ない」と「3 身近な所で用が足りる」であり、年齢別では40歳代、50歳代、60歳代の回答が約55～60%占めている。

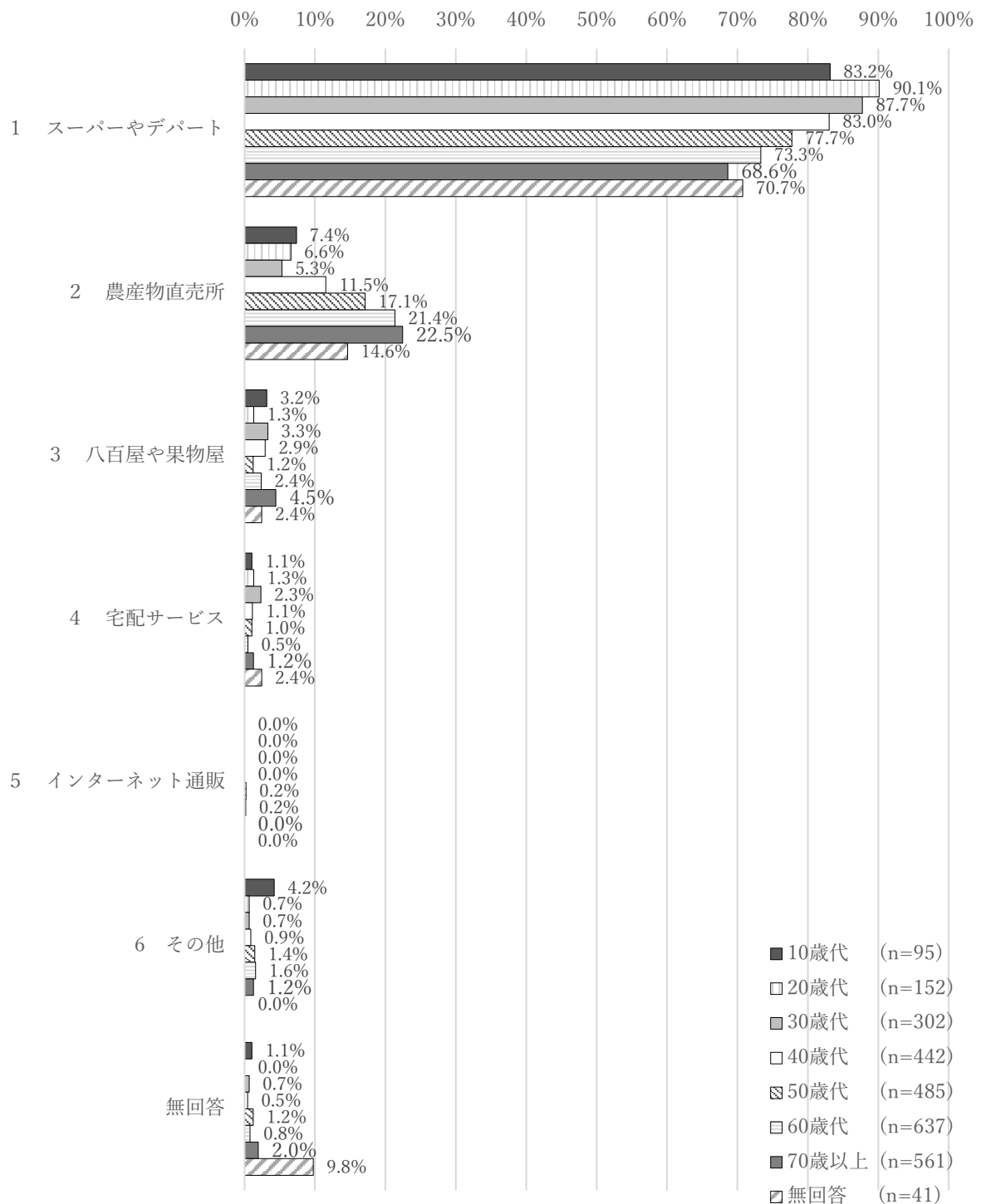
【問12】農産物は、主にどこで購入していますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

【性別】



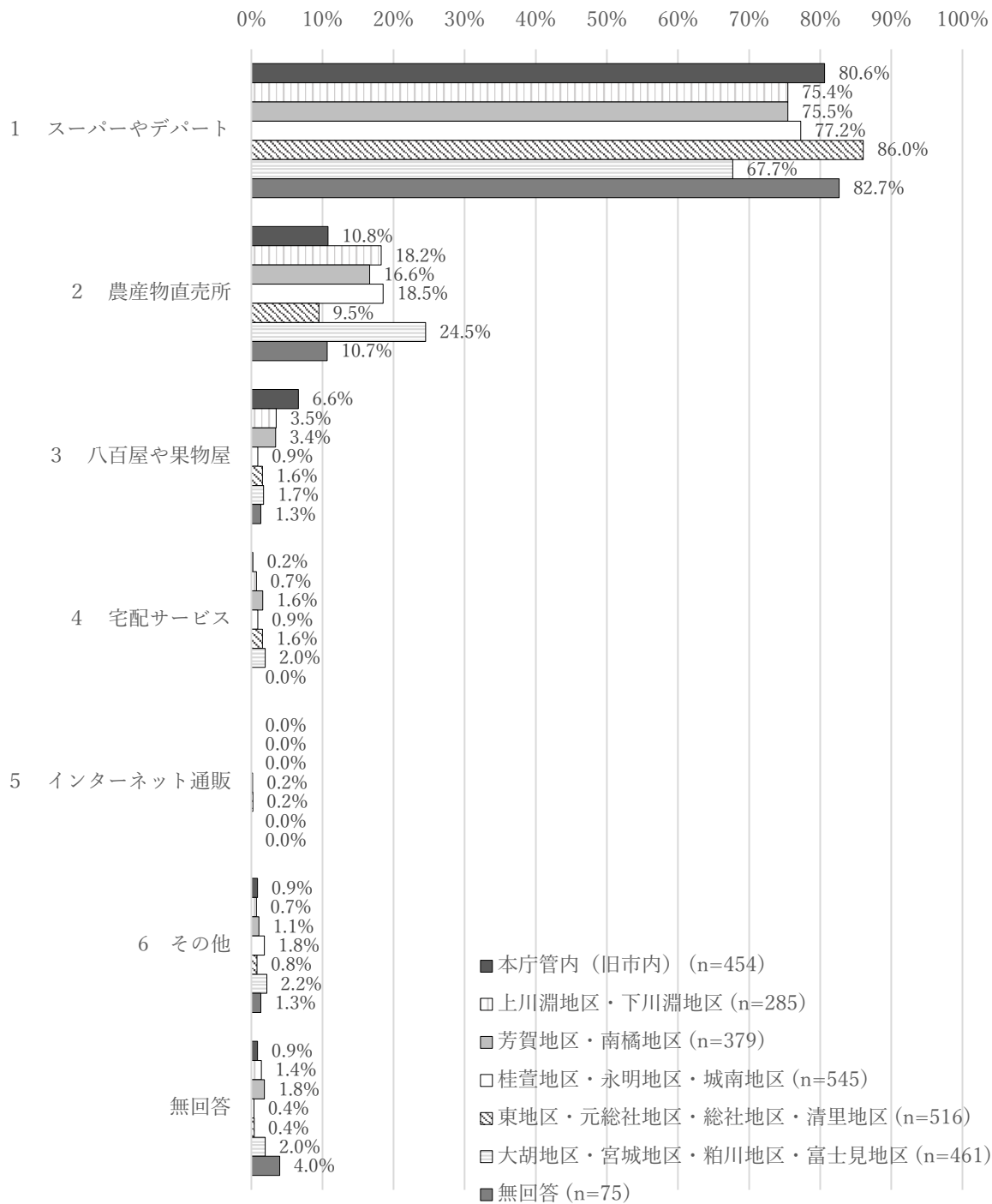
※農産物の購入先は、「1 スーパーやデパート」が全体で77.6%、「2 農産物直売所」が全体で16.0%である。性別による違いは、あまり見られない。

【年代別】



※農産物の購入先は、どの年代も「1 スーパーやデパート」と回答した人が約70%~90%を占めている。「1 スーパーやデパート」は年代が下がるに連れて購入先として選んでおり、反対に「2 農産物直売所」は年代が高くなると購入先の割合が高くなっている。

【地区別】

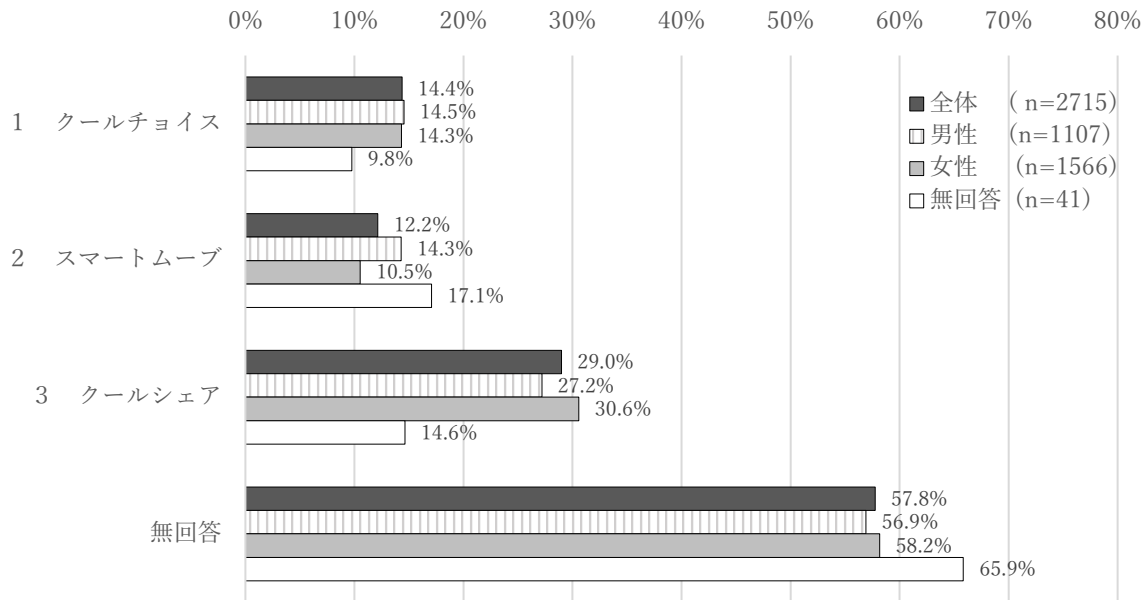


※農産物の購入先は、どの年代も「1 スーパーやデパート」と回答した人が約70%~90%を占めている。「1 スーパーやデパート」は年代が下がる購入先として選んでおり、反対に「2 農産物直売所」は年代が高くなると購入先の割合が高くなっている。

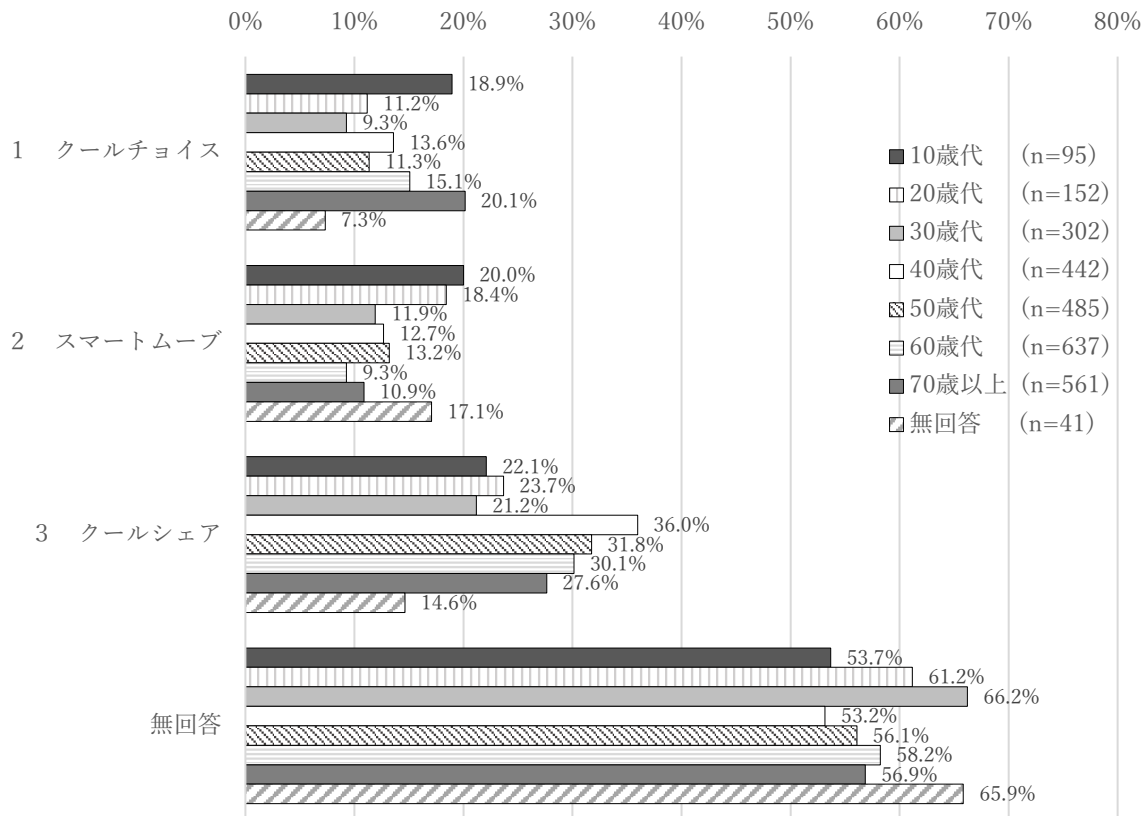
■環境との共生について

【問13】環境に関する言葉で知っているものすべてを選び、番号に○をつけてください。

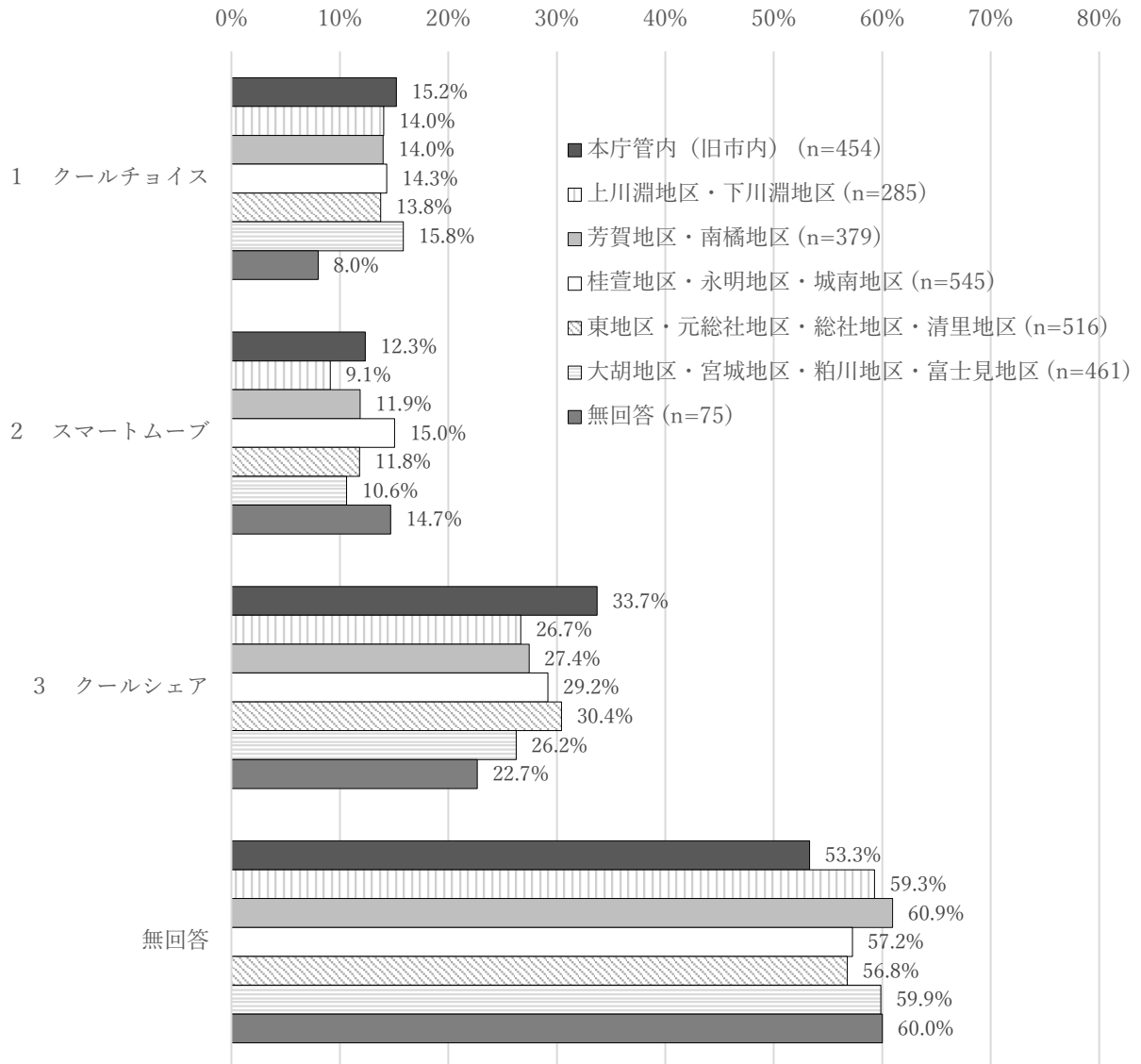
【性別】



【年代別】



【地区別】

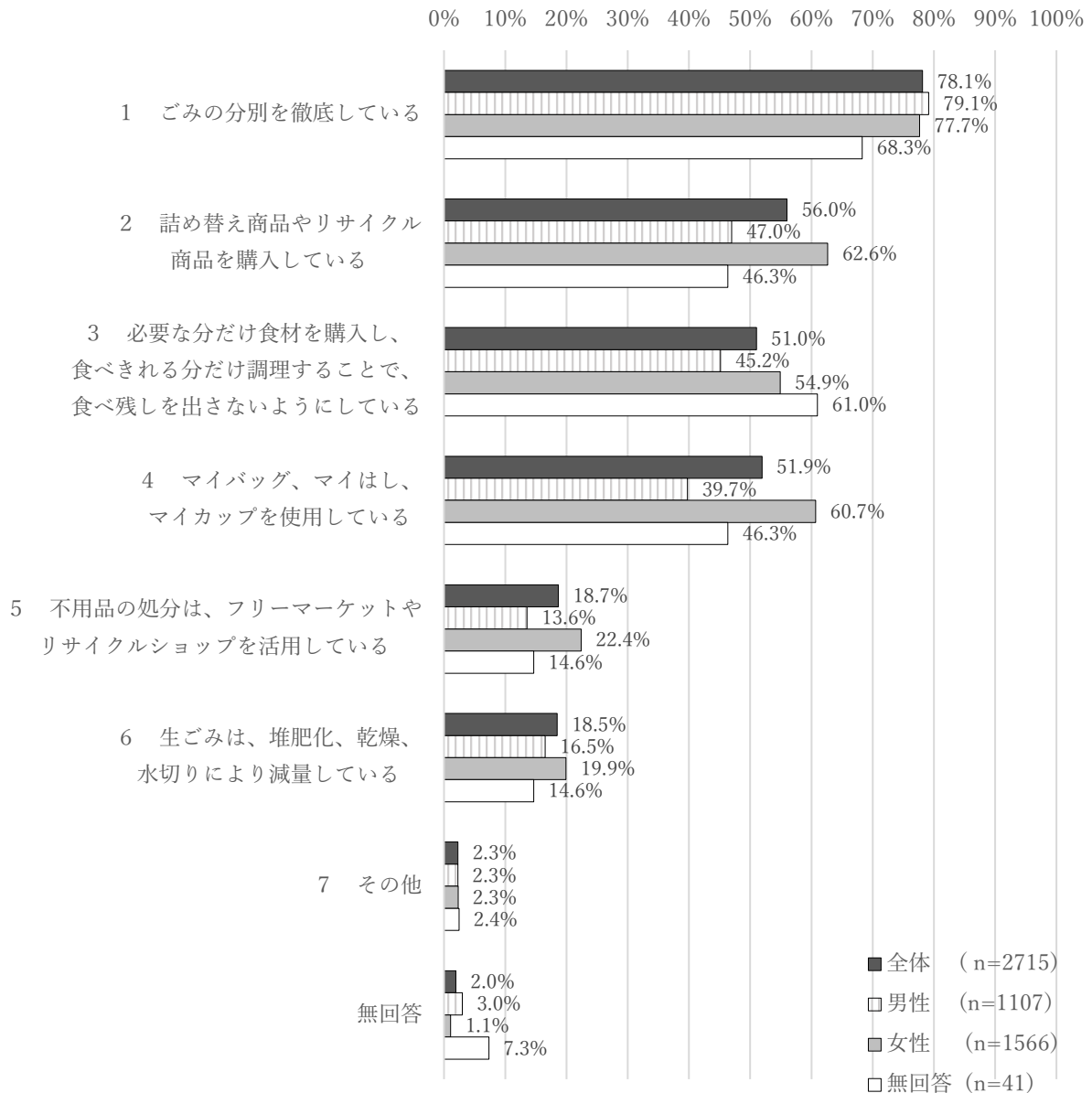


※環境に関する言葉で知っているものは「3 クールシェア」が最も多く、性別の全体では29.0%、年代別では40歳代36.0%、地区別では本庁管内（旧市内）33.7%である。

※性別・年代別・地区別ともに無回答が約50%～60%である。

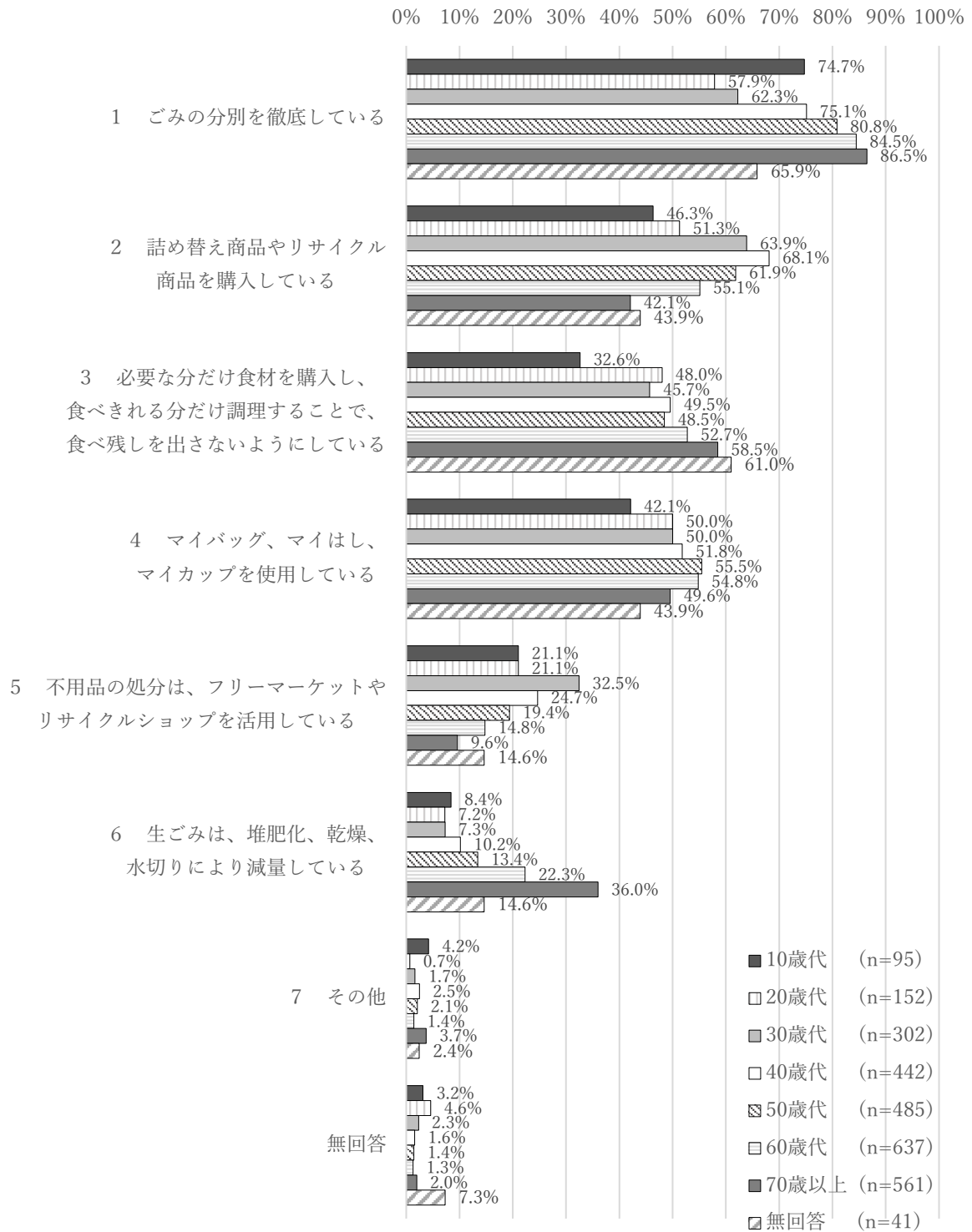
【問14】日ごろからごみを減らすために、どのような取り組みをしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【性別】



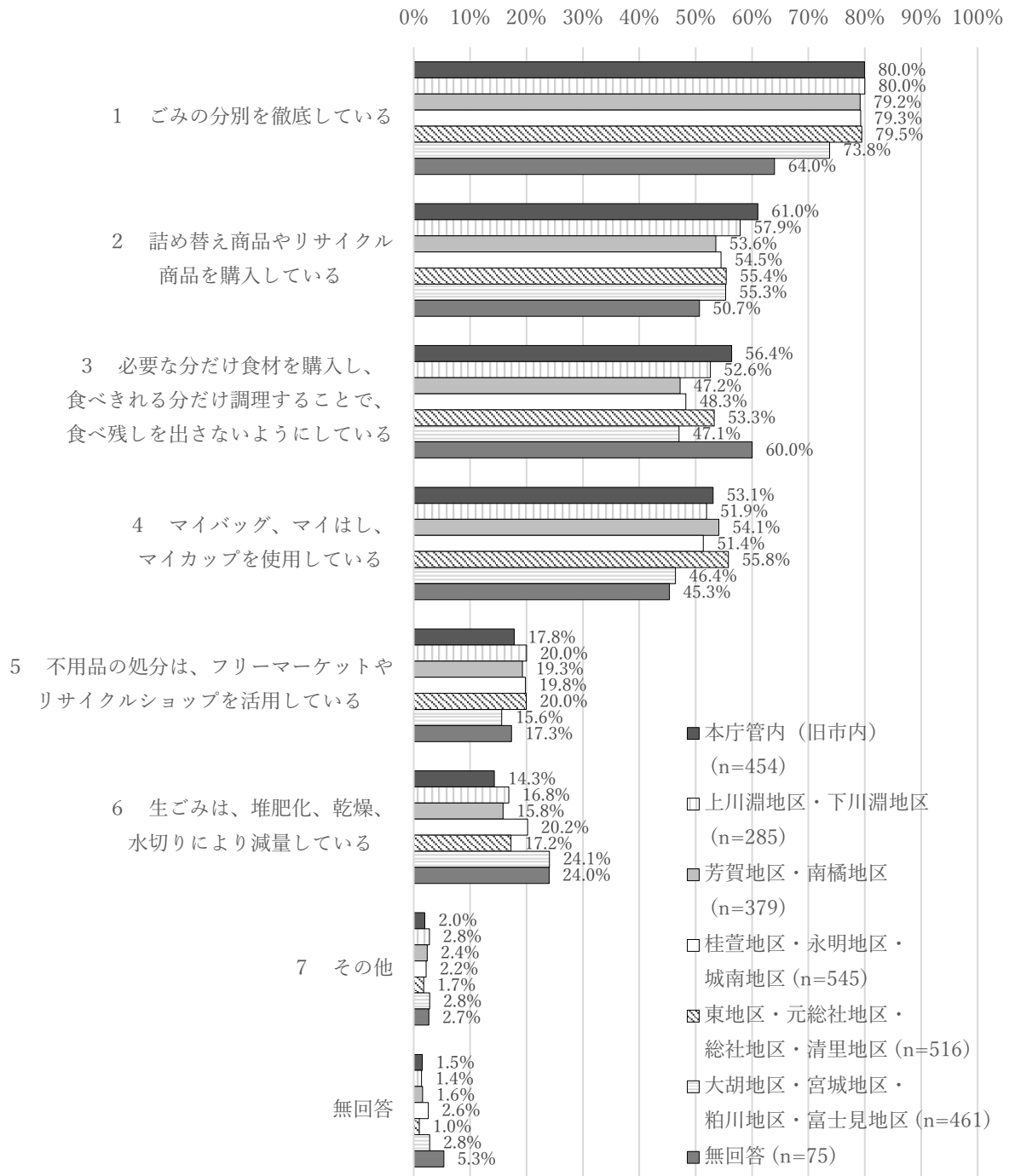
※日頃からごみを減らすための取り組みでは、「1 ごみの分別を徹底している」が全体78.1%、男性79.1%、女性77.7%と高い。

【年代別】



※日頃からごみを減らすための取り組みでは、「1 ごみの分別を徹底している」が10歳代と40歳代以上は70%~80%を占めているが、20歳代は57.9%、30歳代は62.3%で他の年代と比較すると取り組みが下回る。

【地区別】

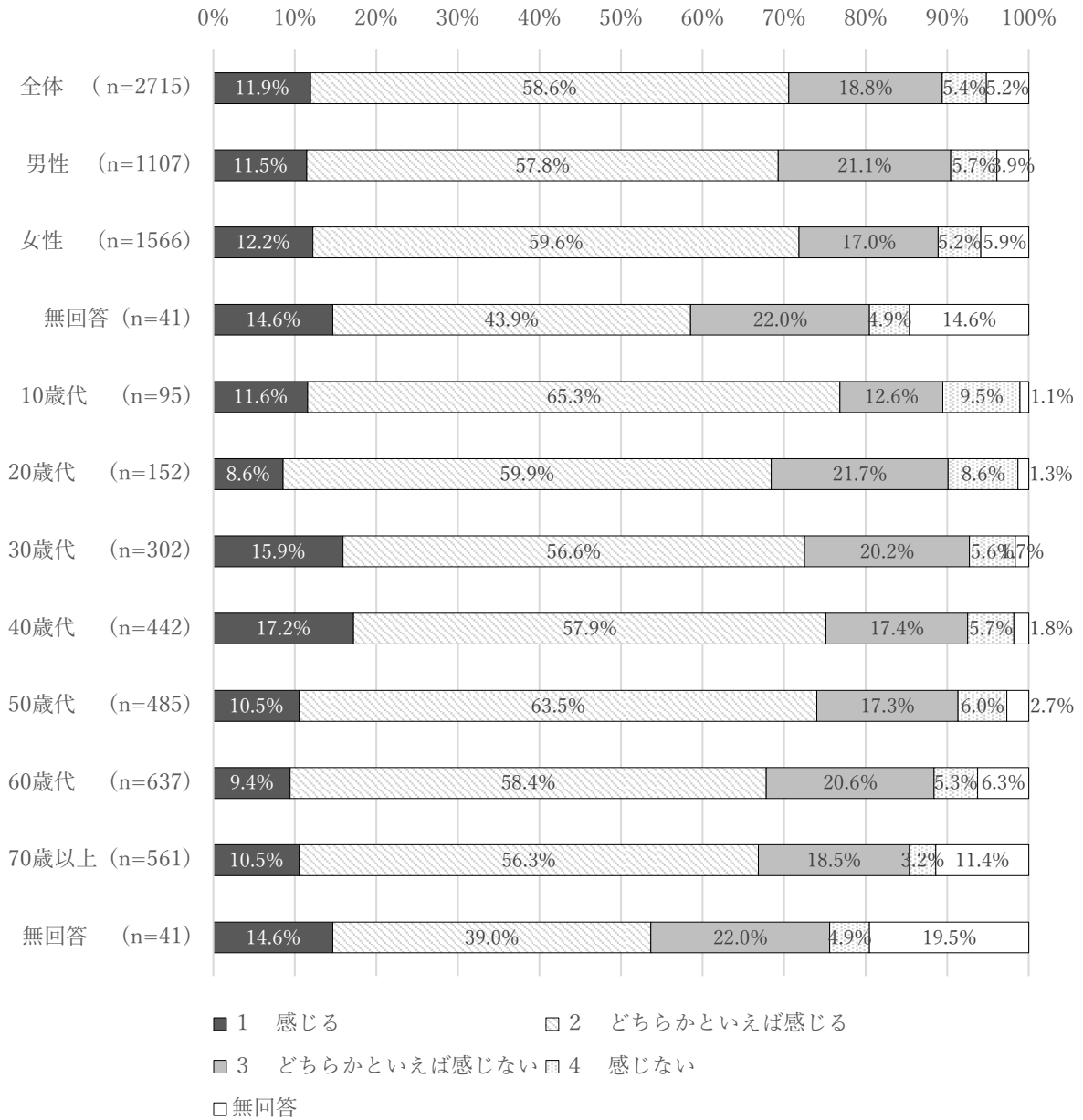


※日頃からごみを減らすための取り組みでは、「1 ごみの分別を徹底している」がどの地区も 70%以上である。

■ 健康・福祉について

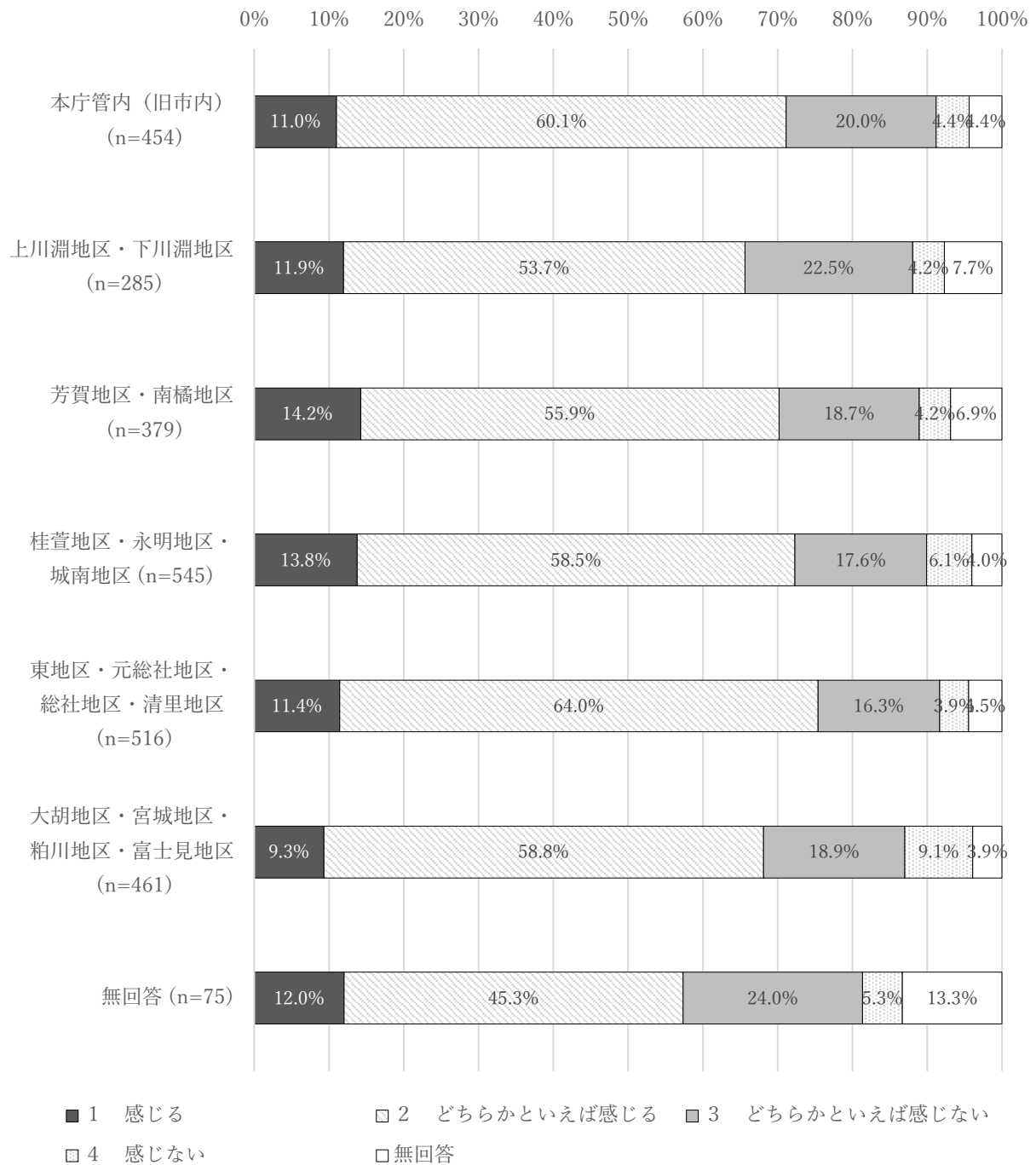
【問15】市民が安心して子どもを産み、育てられる環境が整っていると感じますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

【性別・年代別】



※安心して子どもを産み、育てられる環境が整っているかどうかについて、性別では大きな違いは見られないが、年代別で「1 感じる」と回答した人は30歳代で15.9%、40歳代で17.2%と、他の年代と比較すると子育て世代である30歳代、40歳代の数値が高い。

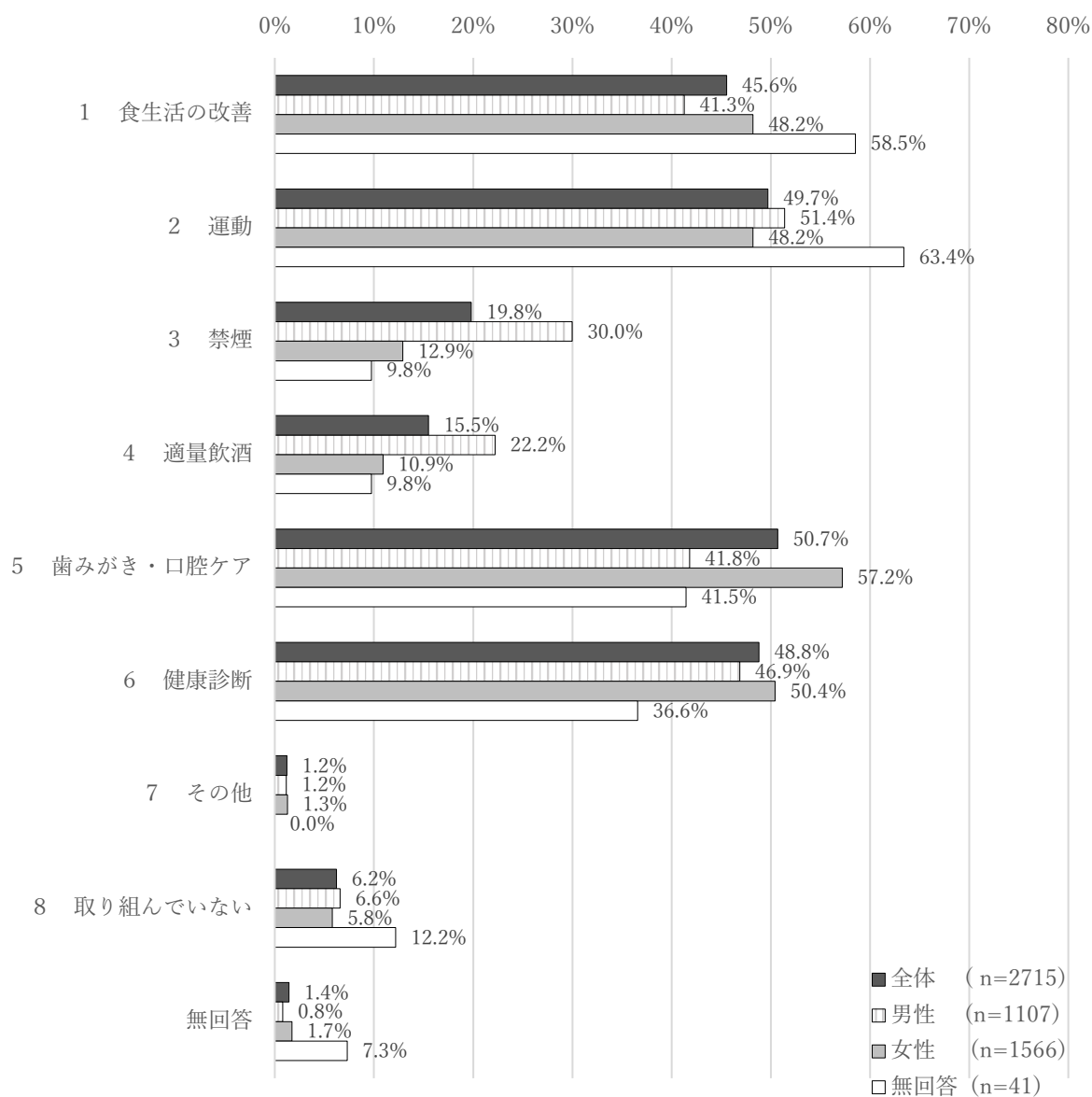
【地区別】



※安心して子どもを産み、育てられる環境が整っているかどうかについて、地区別では大きな違いは見られない。

【問 16】健康づくりのために取り組んでいることがありますか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

【性別】

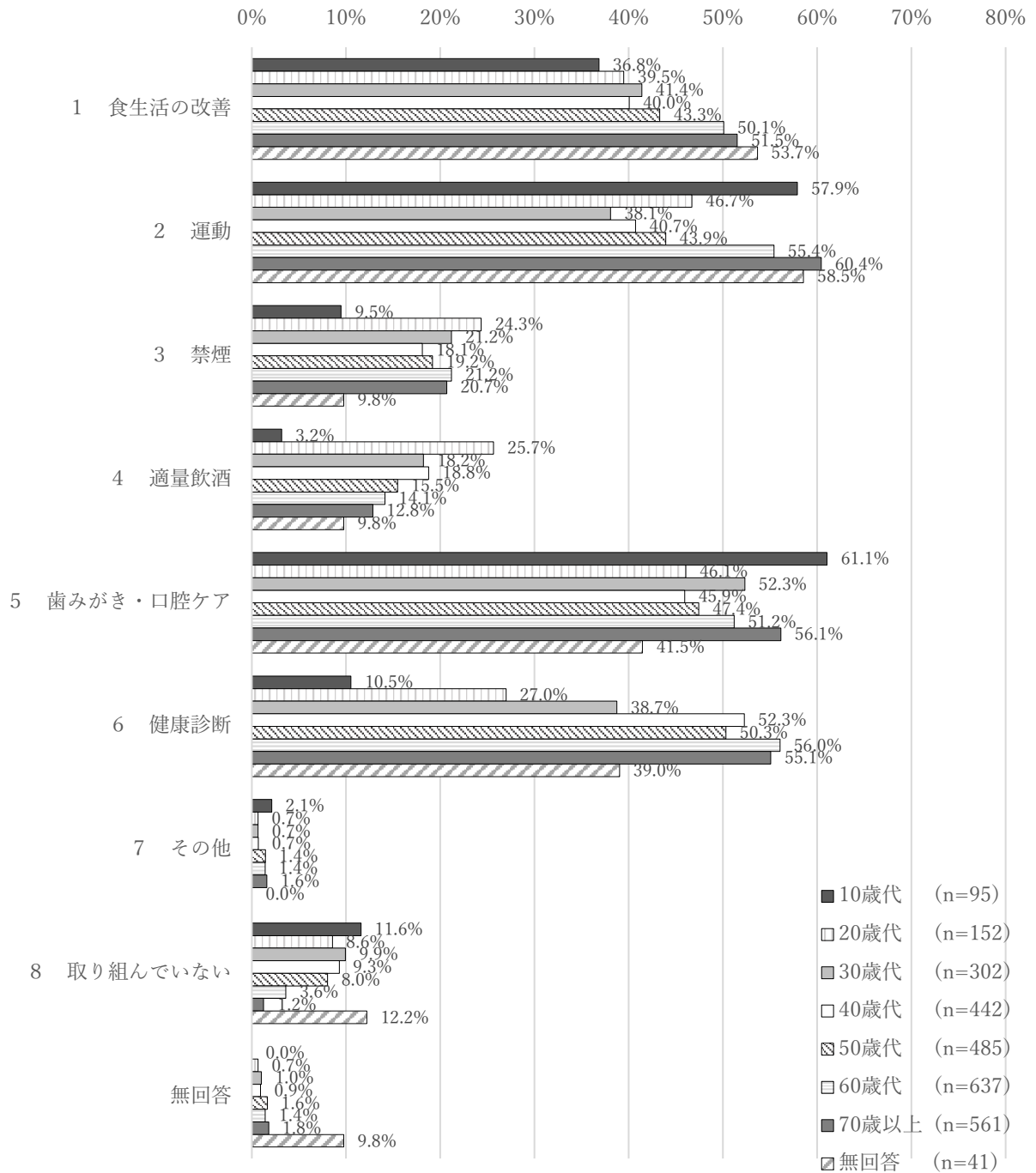


※健康づくりのために取り組んでいることは、「1 食生活の改善」「2 運動」「5 歯みがき・口腔ケア」「6 健康診断」が約 40%～50%である。

※「1 食生活の改善」「5 歯みがき・口腔ケア」「6 健康診断」は、他と比較すると男性の割合が低い。

※「2 運動」「3 禁煙」「4 適量飲酒」は、他と比較すると男性の割合が高い。

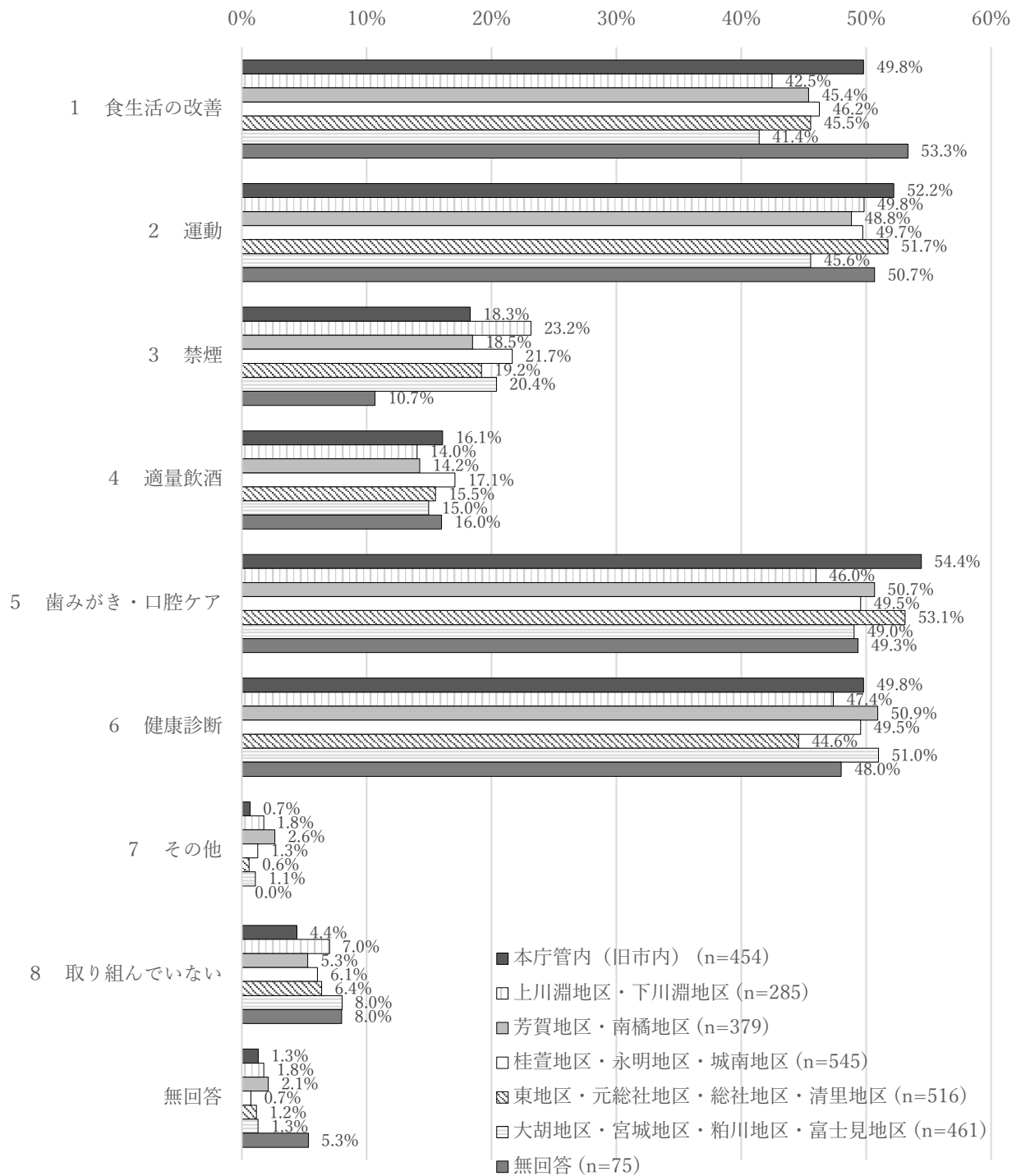
【年代別】



※「1 食生活の改善」「6 健康診断」は、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向である。

※「2 運動」は、30歳代、40歳代、50歳代の割合が低い。

【地区別】

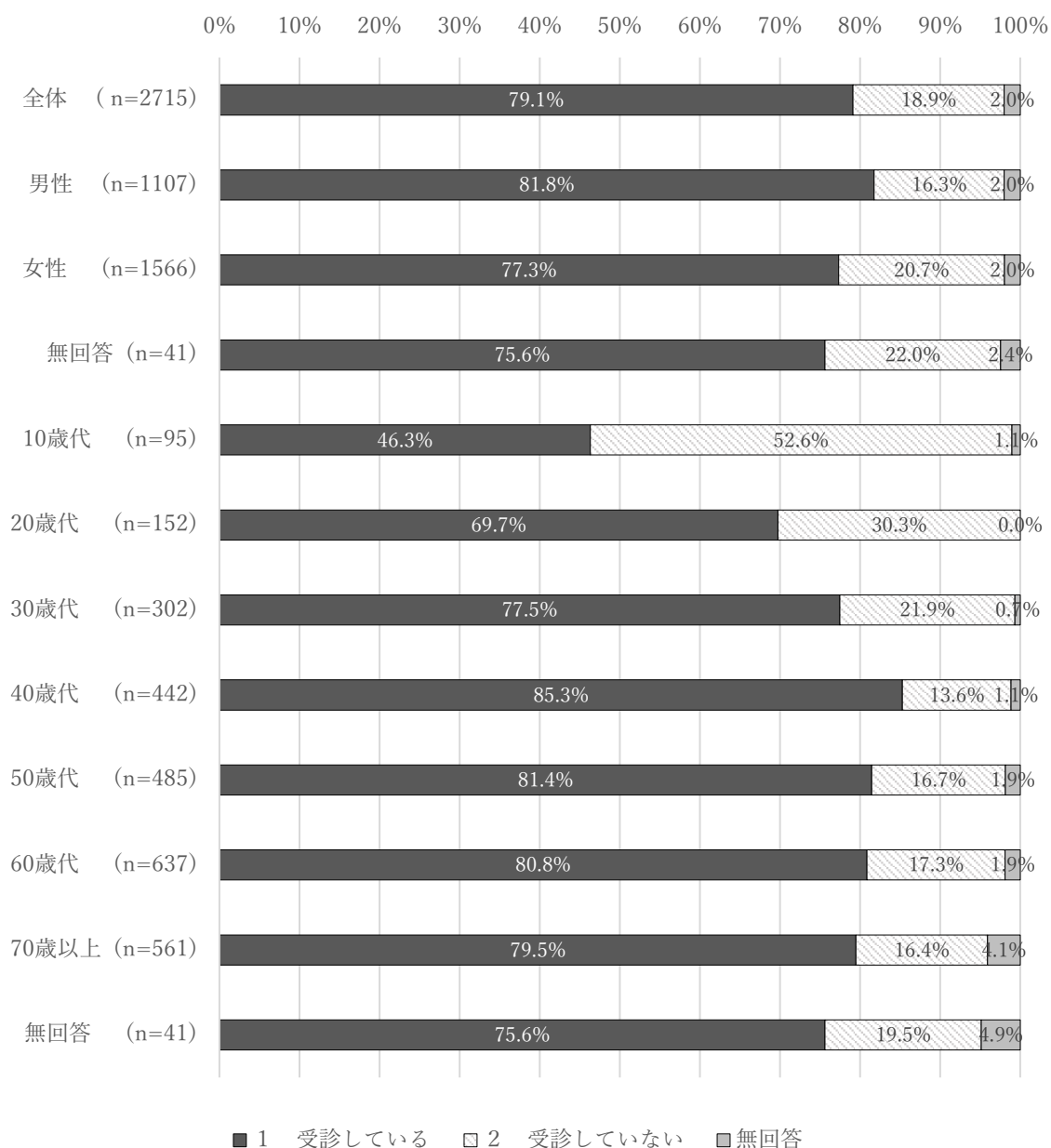


※地区別では、性別・年代別と同様に、「1 食生活の改善」「2 運動」「5 歯みがき・口腔ケア」「6 健康診断」が約40%~50%である。

【問17】あなたが健診（検診）を「受けている」もしくは「受けていない」理由について、
あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

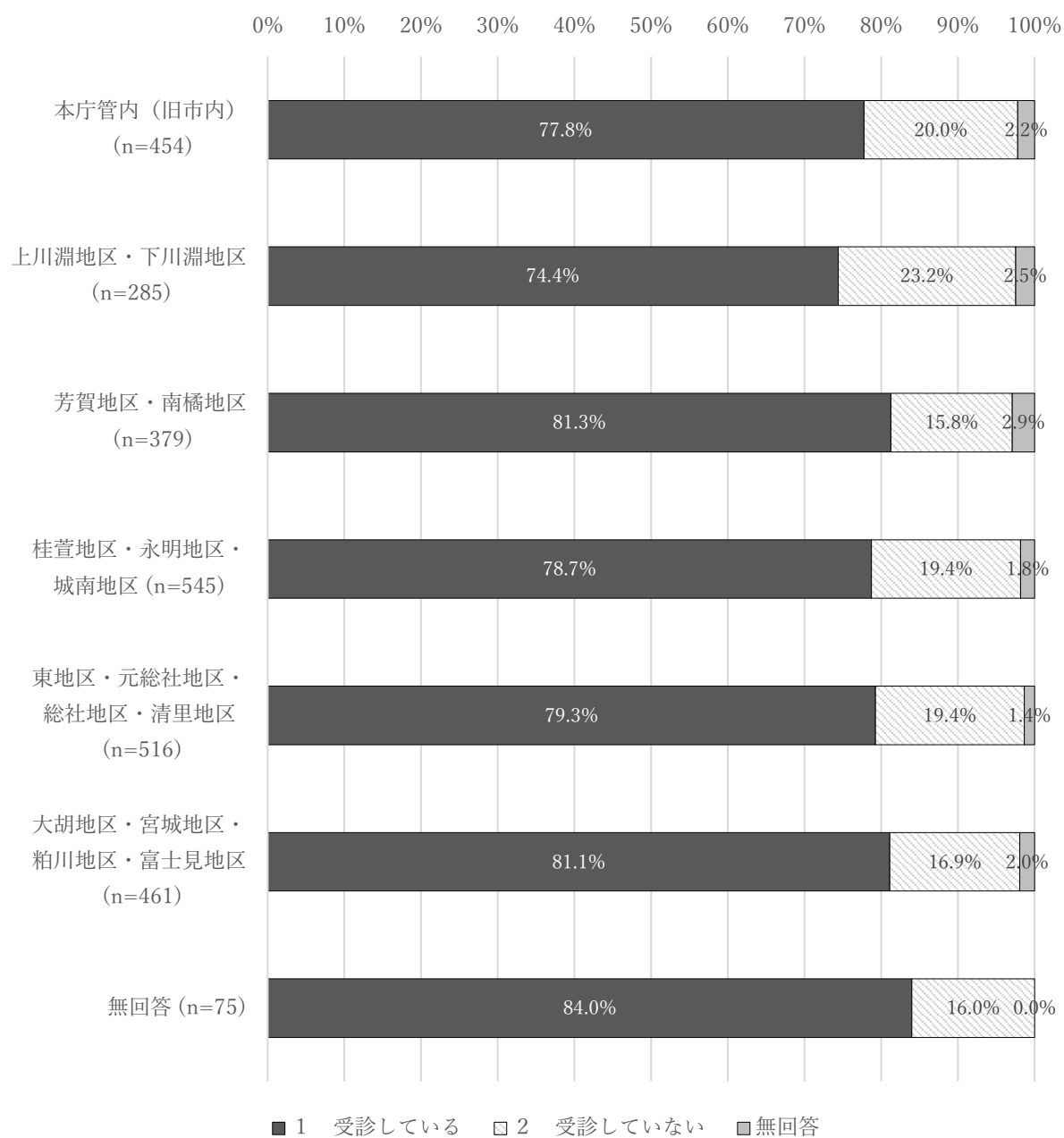
「受診の有無」

【性別・年代別】



※性別・年代別においてそれぞれ健診（検診）を「1 受診している」傾向が見られるが、
10歳代は健診（検診）を「1 受診している」が46.3%、「2 受診していない」が52.6%
あり、健診（検診）を受診している人が少ない。

【地区別】

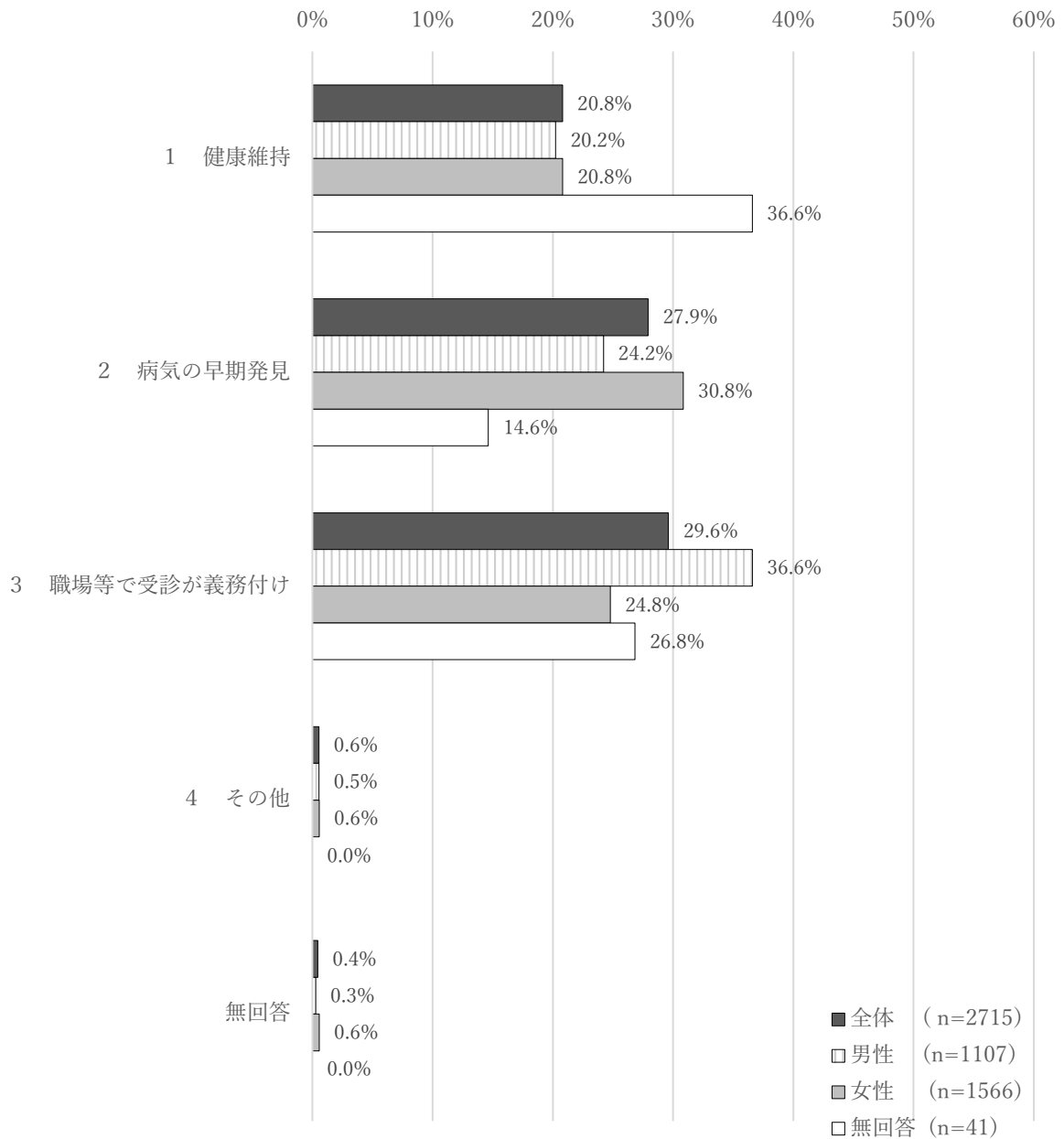


※地区別では、どの地区においても約80%が「1 受診している」と回答した。

(続き) 【問17】「受けている」人は、あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

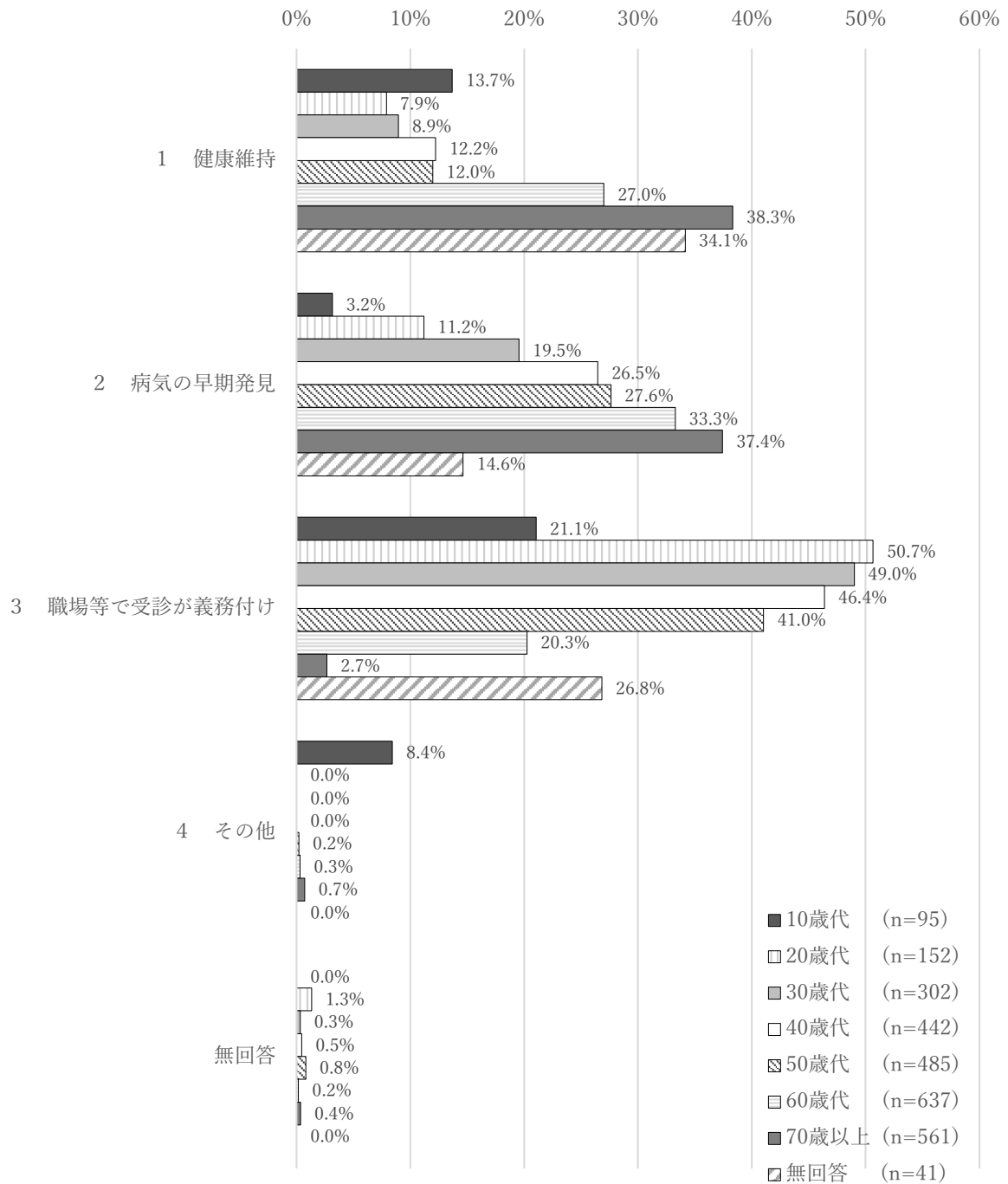
「受診の理由」

【性別】



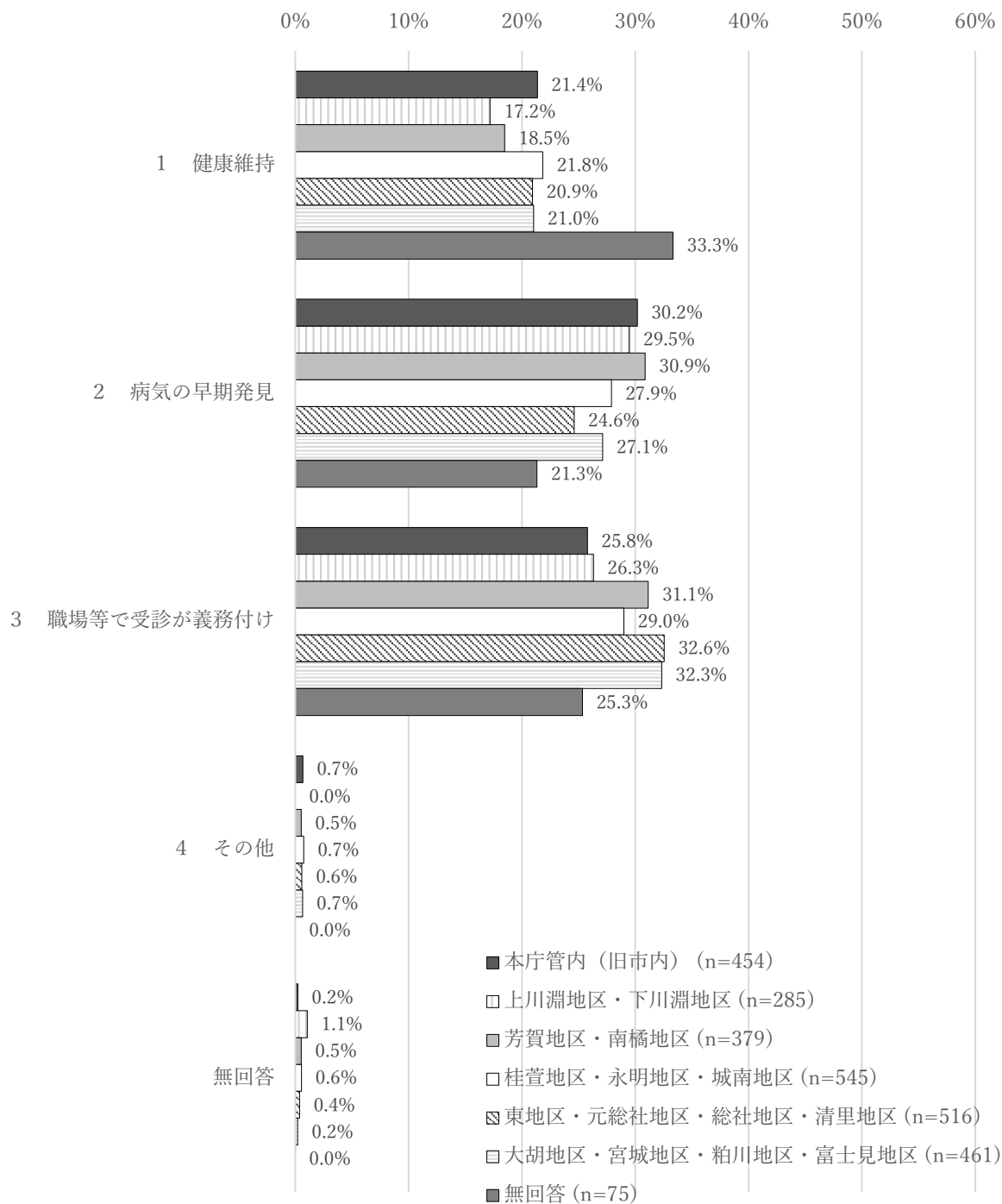
※受診の理由について、女性は30.8%が「2 病気の早期発見」を理由としているが、男性は36.6%が「3 職場等での受診が義務付け」を理由としている。

【年代別】



※受診の理由について、「1 健康維持」、「2 病気の早期発見」は70歳代が最も高く、「3 職場等で受診が義務付け」は20歳代が最も高い割合となっている。

【地区別】

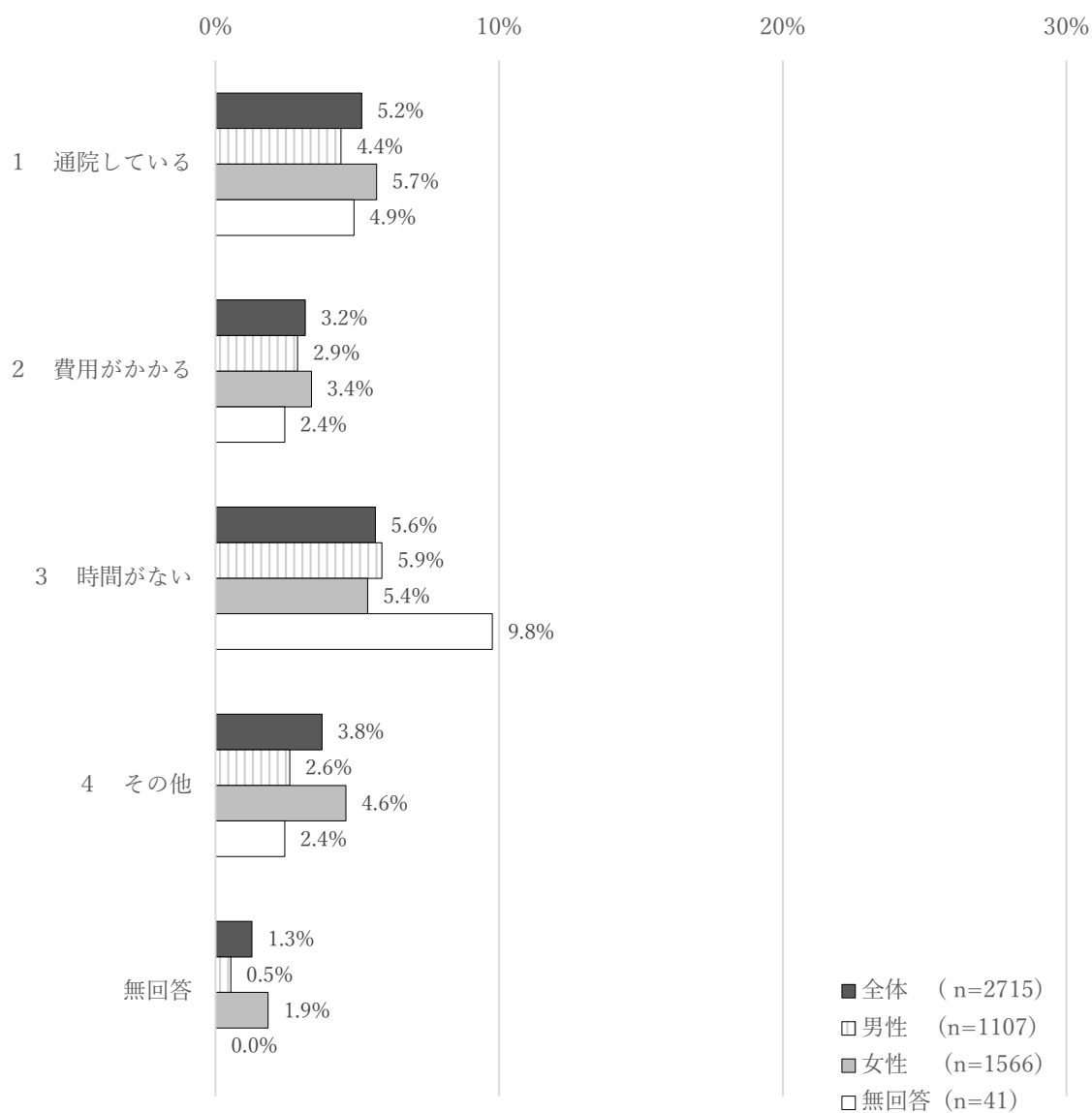


※受診の理由について、地区による差は見られない。「2 病気の早期発見」、「3 職場等での受診が義務付け」を理由としている人が、20%~30%を占めている。

(続き) 【問17】 「受けていない」人は、あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

「受けていない理由」

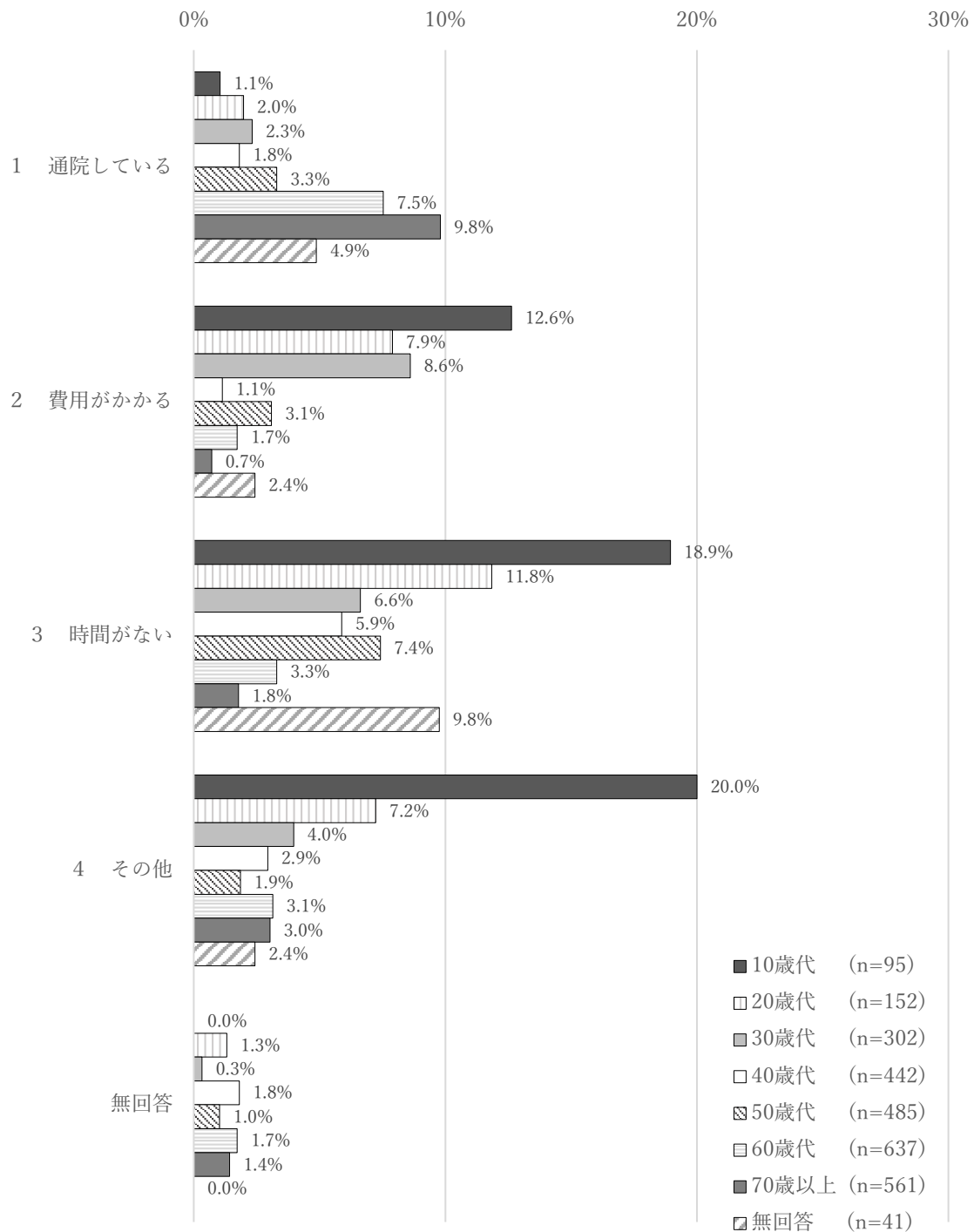
【性別】



※健診（検診）を受けていない理由について、性別による大きな差は見られない。

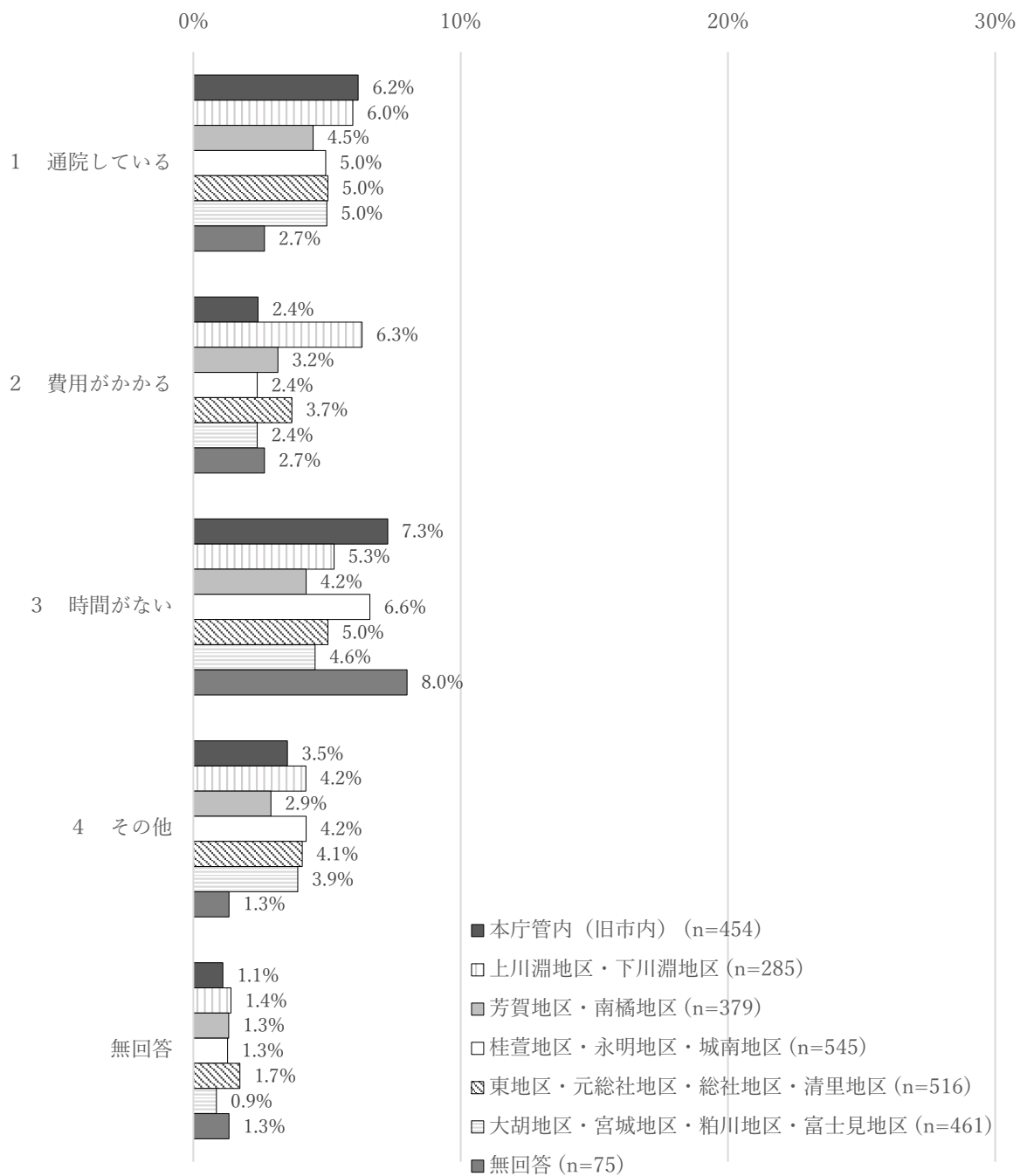
「1 通院している」が全体で 5.2%、「3 時間がない」が全体で 5.6%である。

【年代別】



※年代別では、「1 通院している」と回答したのは、60歳代と70歳代で割合が高く、「2 費用がかかる」と回答したのは、10歳代、20歳代、30歳代で割合が高い。「3 時間がない」と回答したのは、10歳代、20歳代で割合が高くみられた。

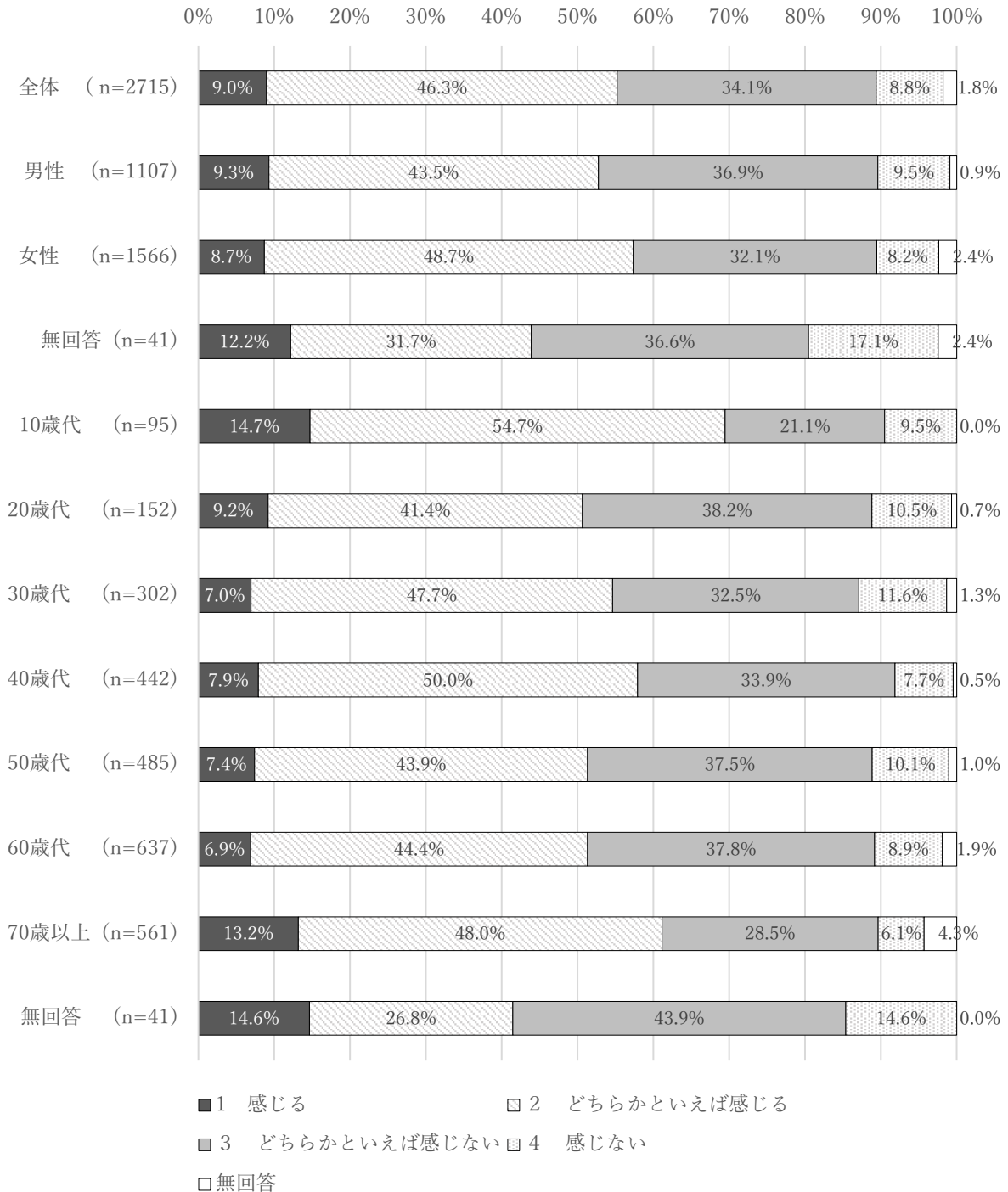
【地区別】



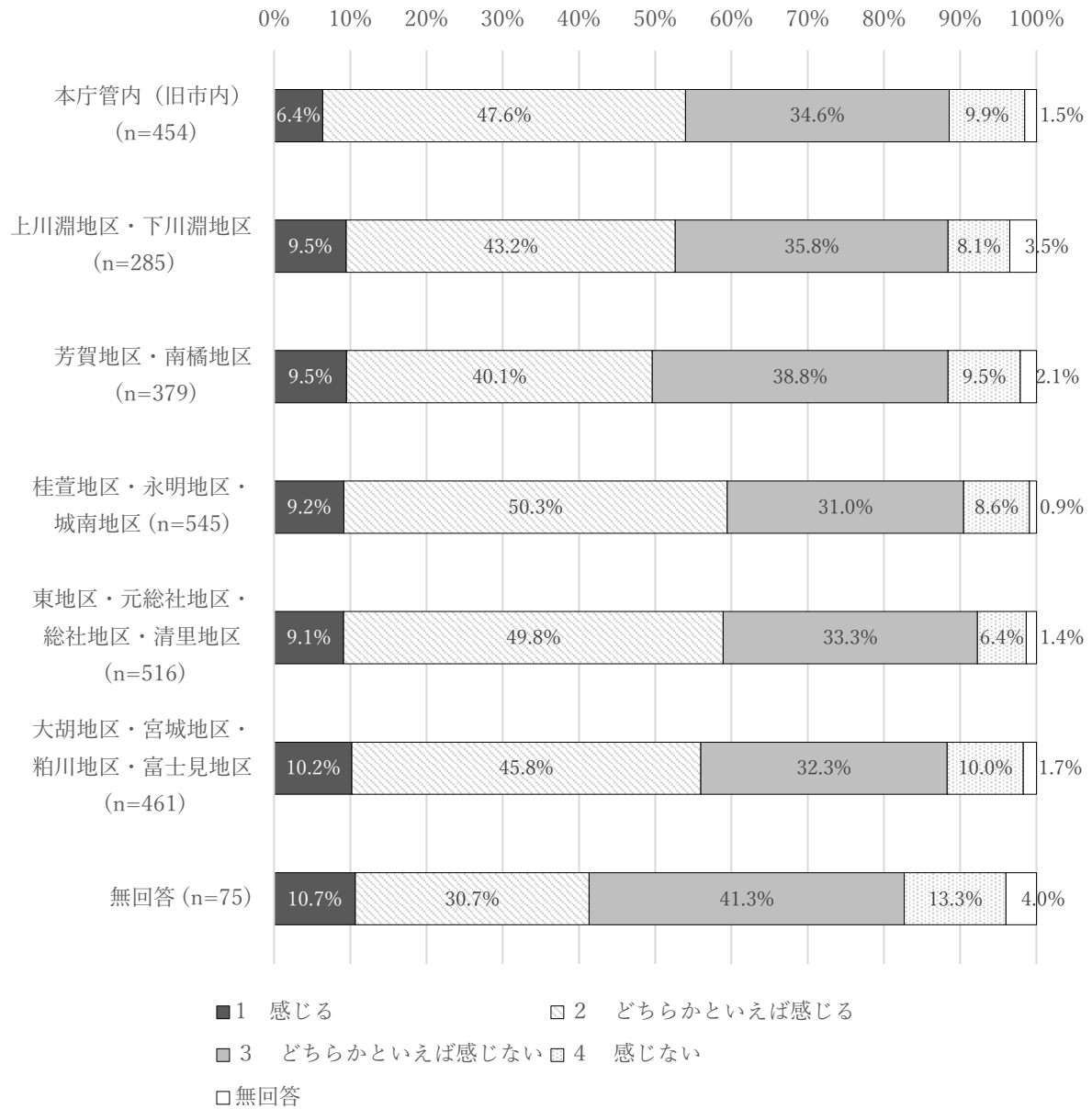
※地区別では、「2 費用がかかる」と回答した人が、上川淵地区・下川淵地区 6.3%で、他地区と比べると割合が少し高い。また、「3 時間がない」と回答した人が、本庁管内 (旧市内) 7.3%、桂萱地区・永明地区・城南地区 6.6%で、他地区と比べると割合が少し高い。

【問18】高齢者が、社会の一員として生きがいを持って元気に活躍していると感じますか。
 あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

【性別・年代別】



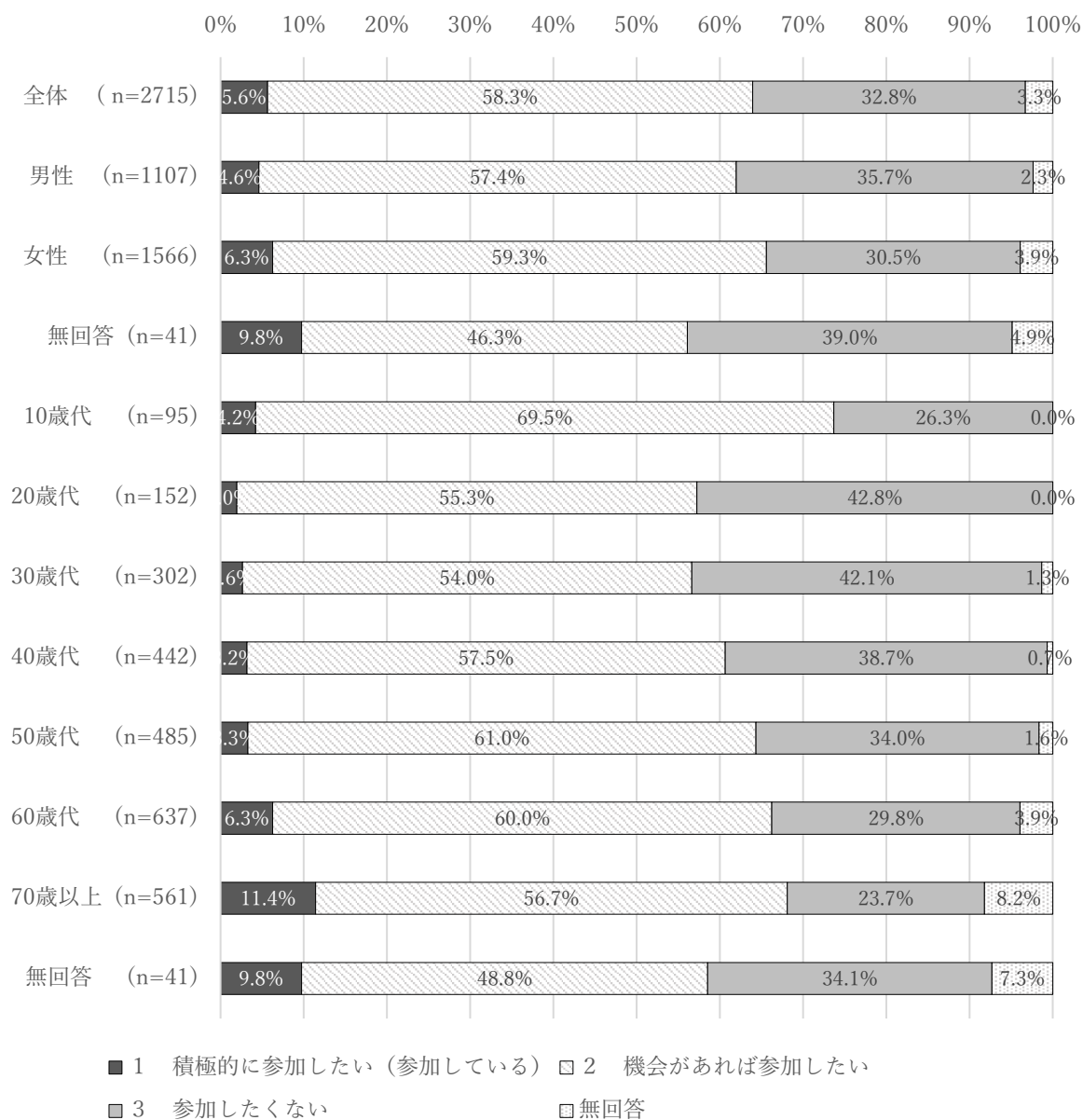
【地区別】



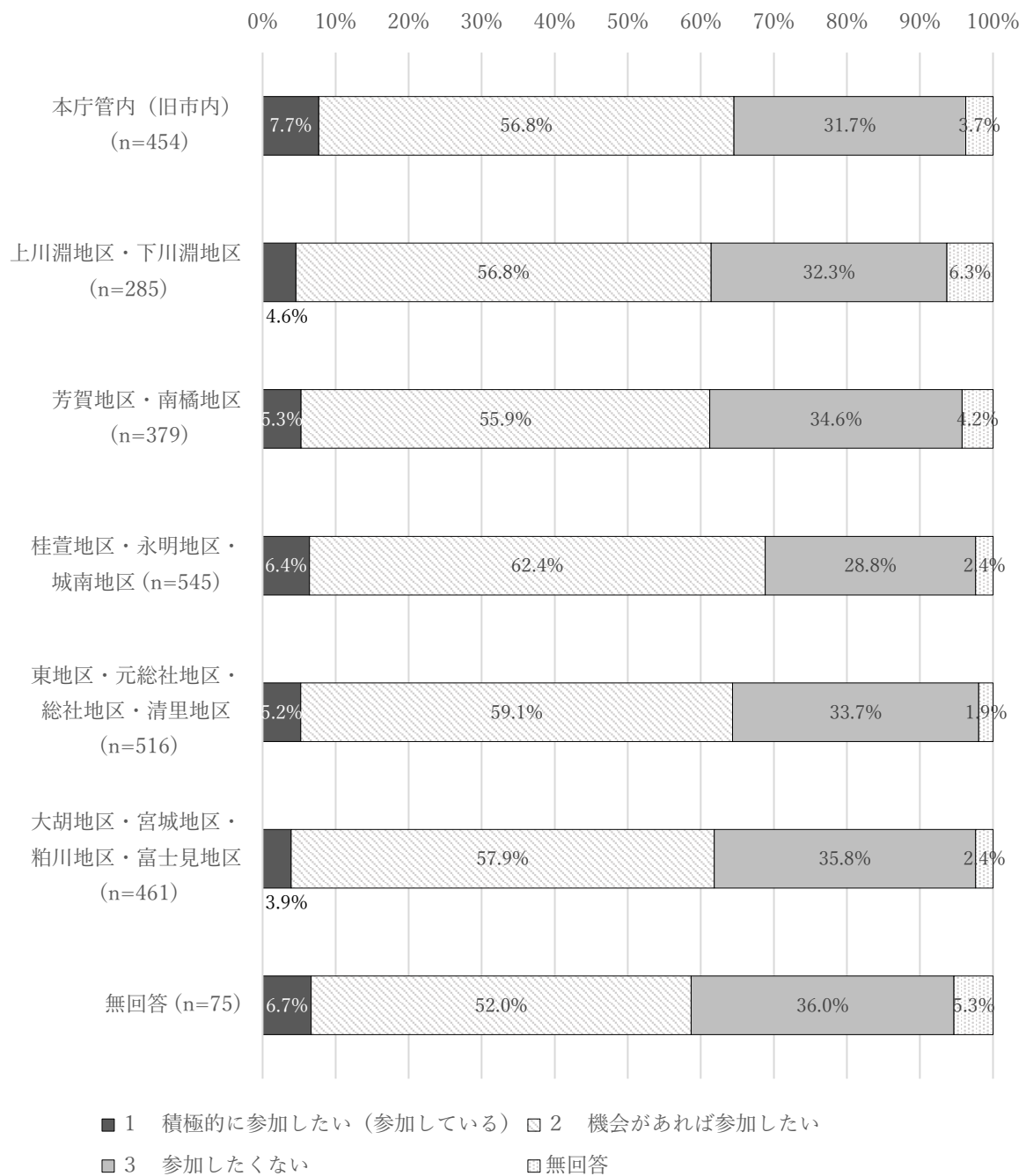
※性別、地区別による違いは見られないが、年代別で、10歳代では「1 感じる」、
「2 どちらかといえば感じる」が他の年代と比べると割合が高い。

【問19】地域の高齢者を支援するためのボランティア活動等に参加したいと思いますか。
 あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

【性別・年代別】



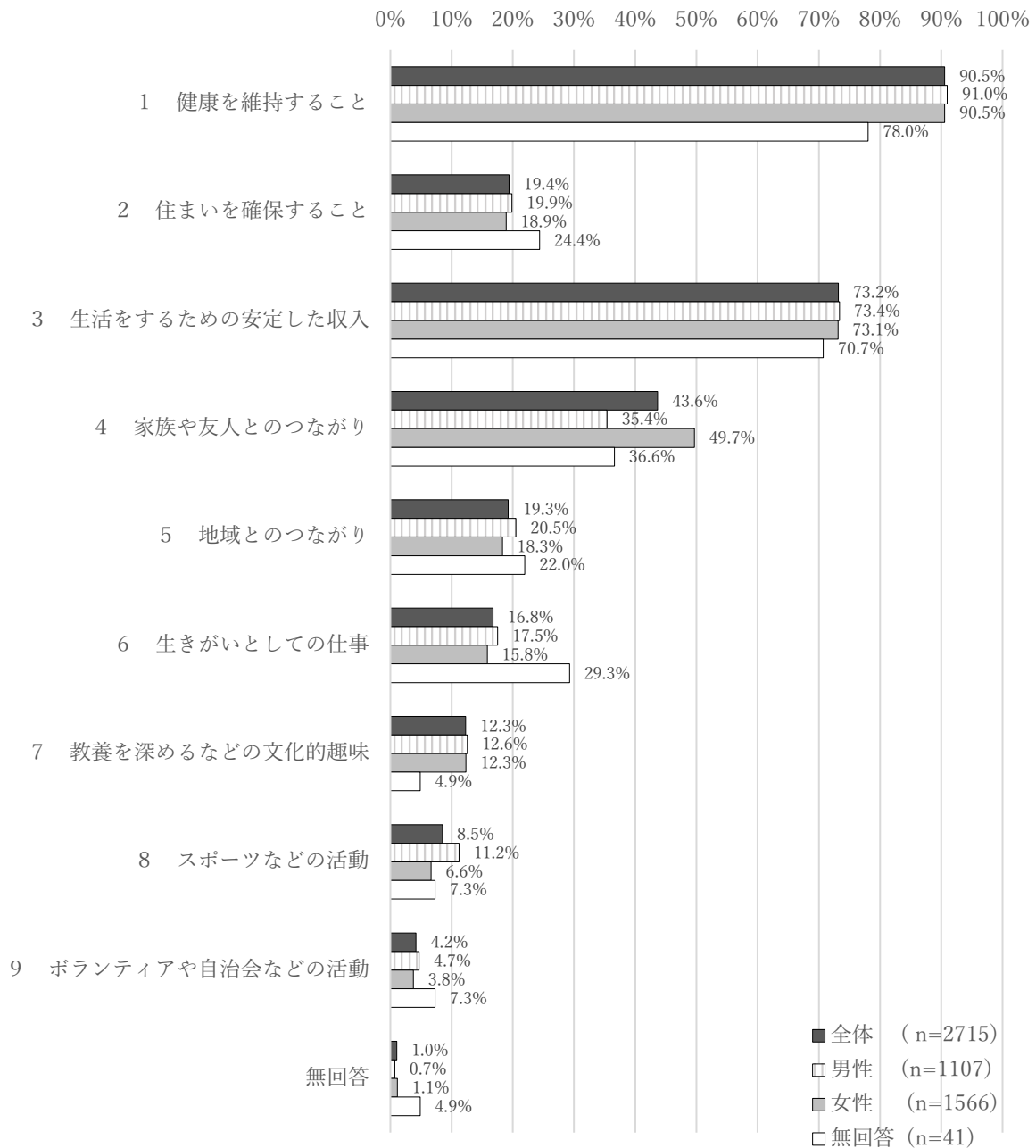
【地区別】



※性別、地区別よる違いは見られないが、年代別で、10歳代では「2 機会があれば参加したい」が他の年代と比べると割合が高い。

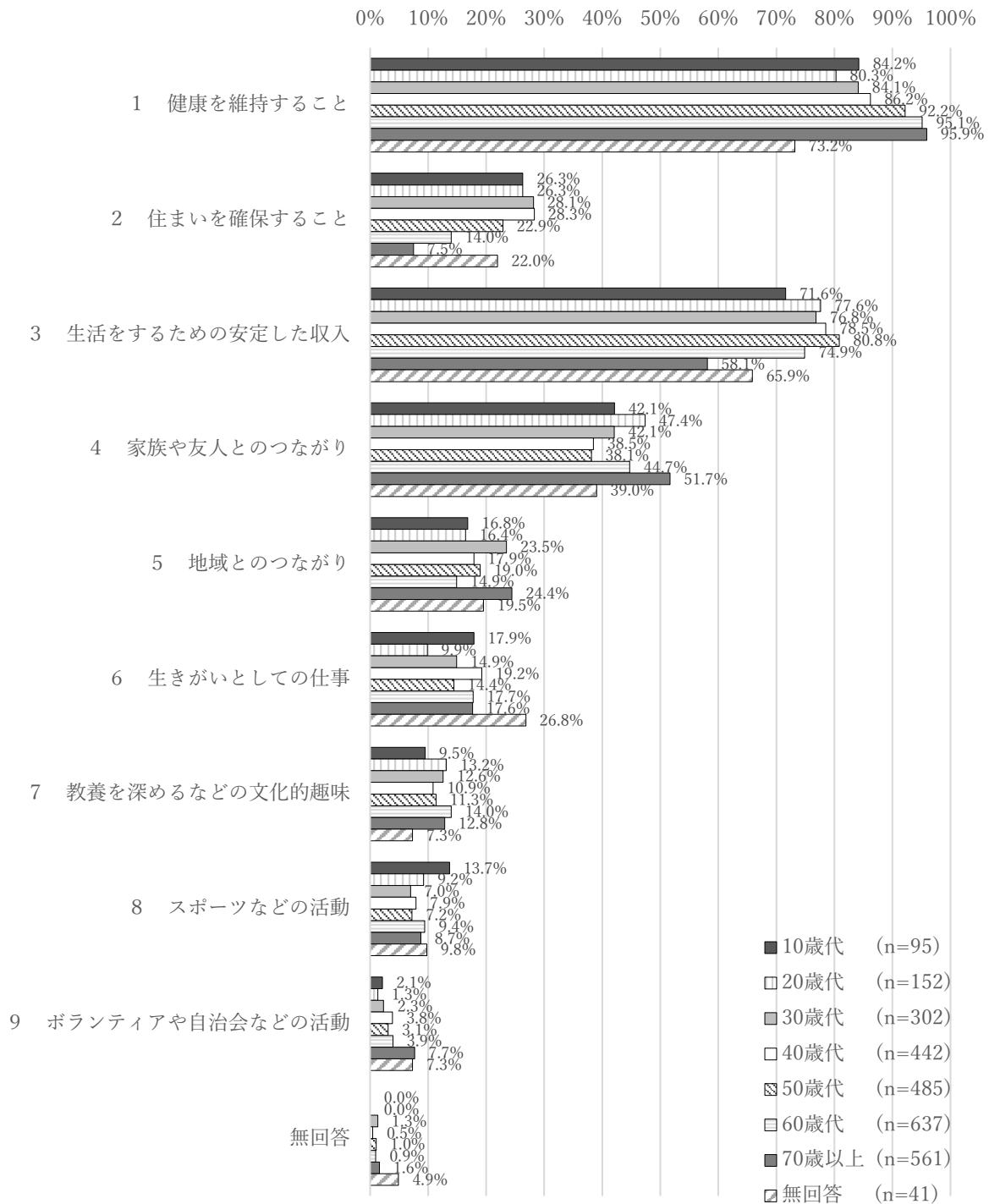
【問20】充実した老後を送るために必要だと思うことは何ですか。あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

【性別】



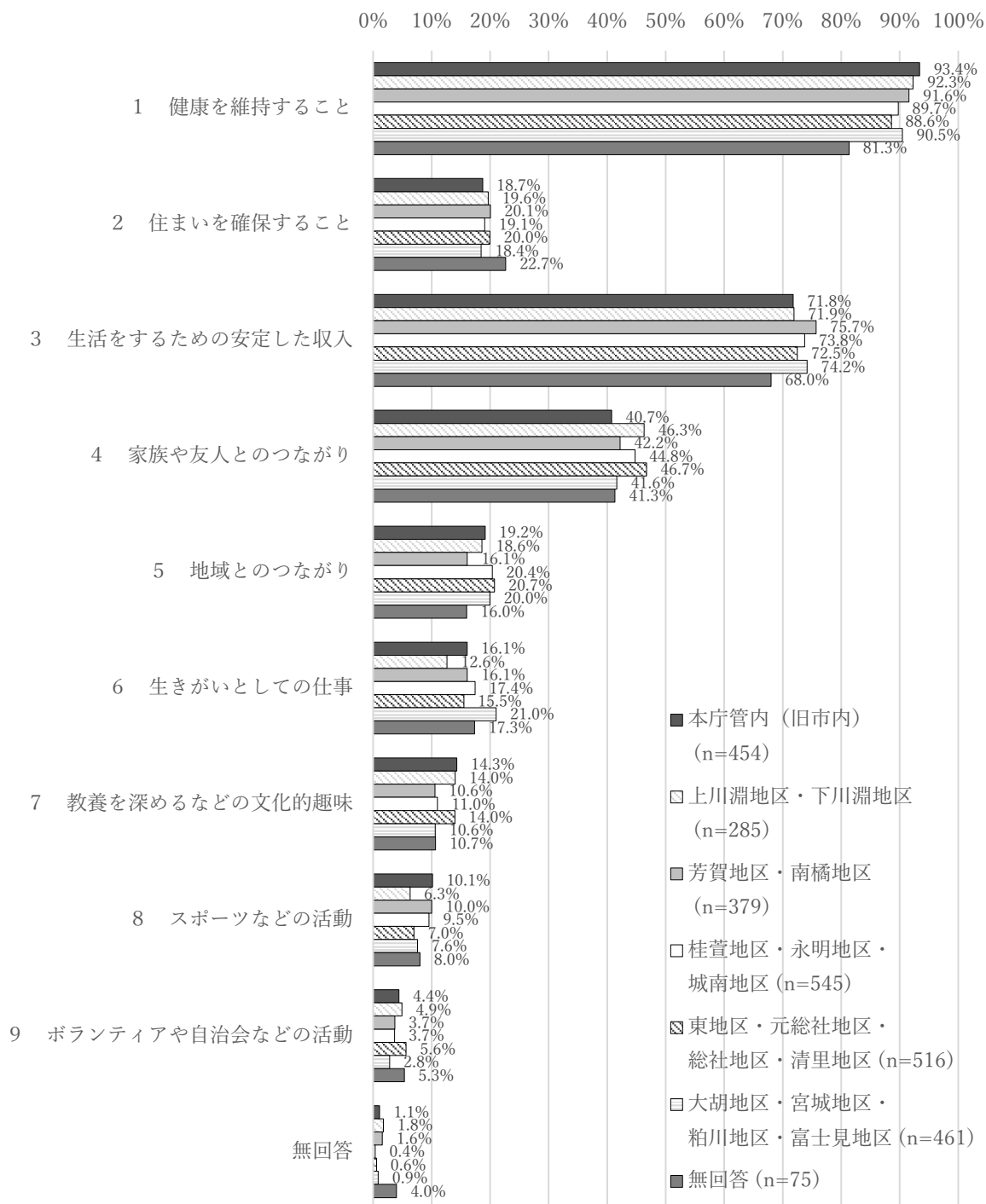
※性別では、「1 健康を維持すること」、「3 生活をするための安定した収入」の割合が高くなっている。「4 家族や友人とのつながり」において、女性の割合が高く 49.7%となっている。

【年代別】



※年代別においても性別と同様で、「1 健康を維持すること」、「3 生活をするための安定した収入」の割合が高くなっている。「2 住まいを確保すること」、「3 生活をするための安定した収入」において、他の年代と比べると70歳以上が低くなっている。

【地区別】

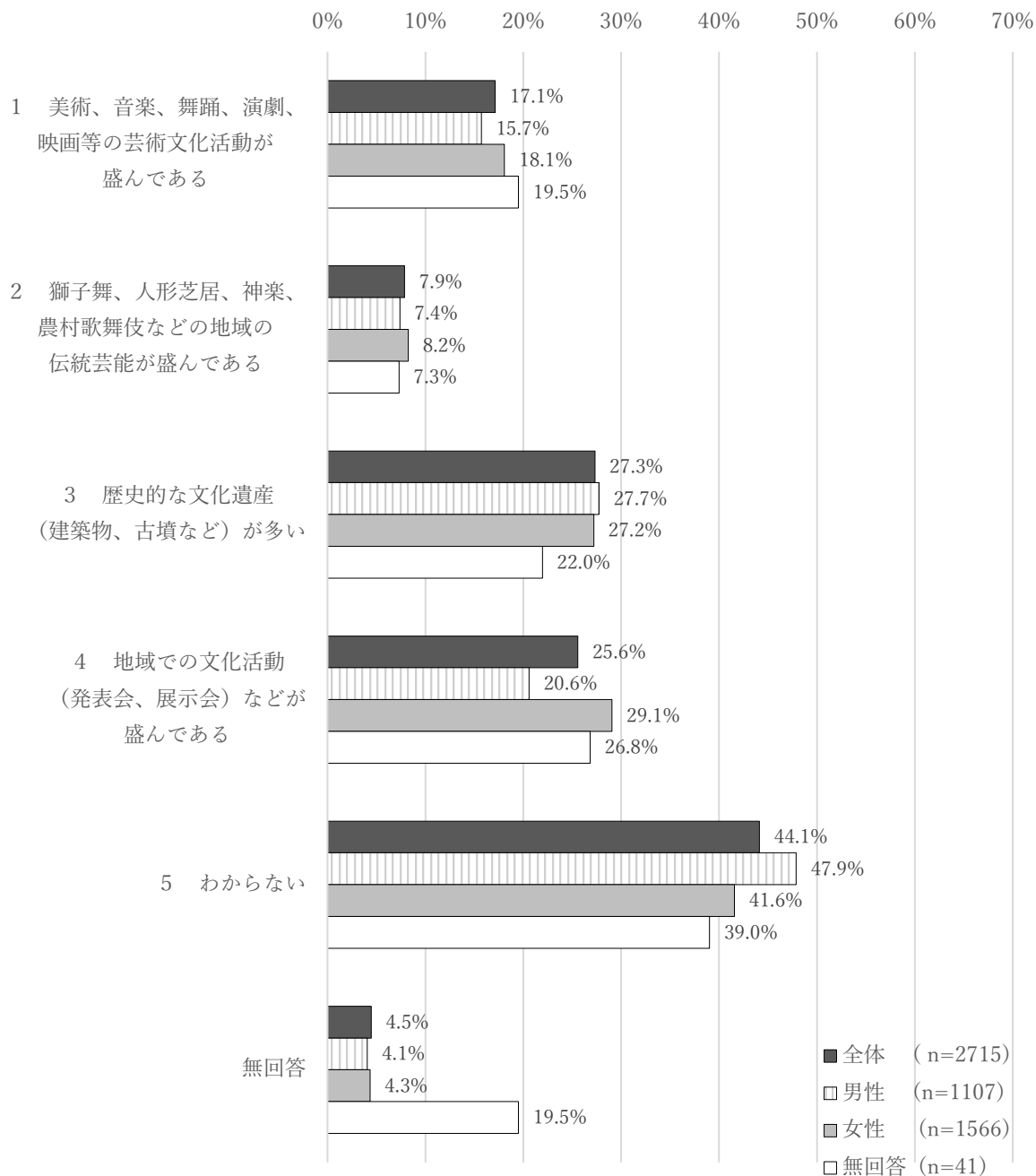


※地区別においても性別・年代別と同様で、「1 健康を維持すること」、「3 生活をするための安定した収入」の割合が高くなっている。地区ごとにおける差異は大きく見られない。

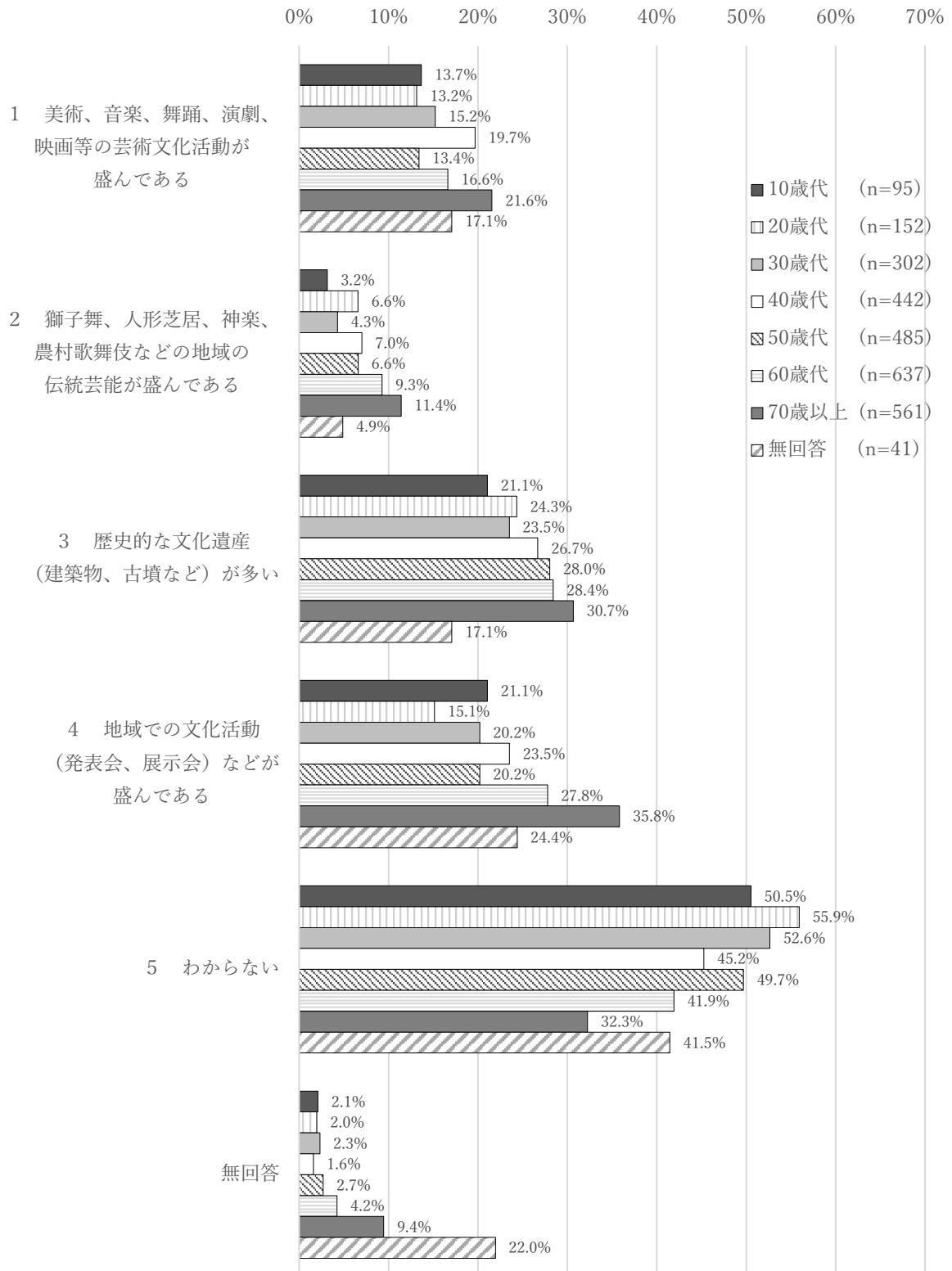
■ 教育・文化について

【問21】前橋市の文化にどのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

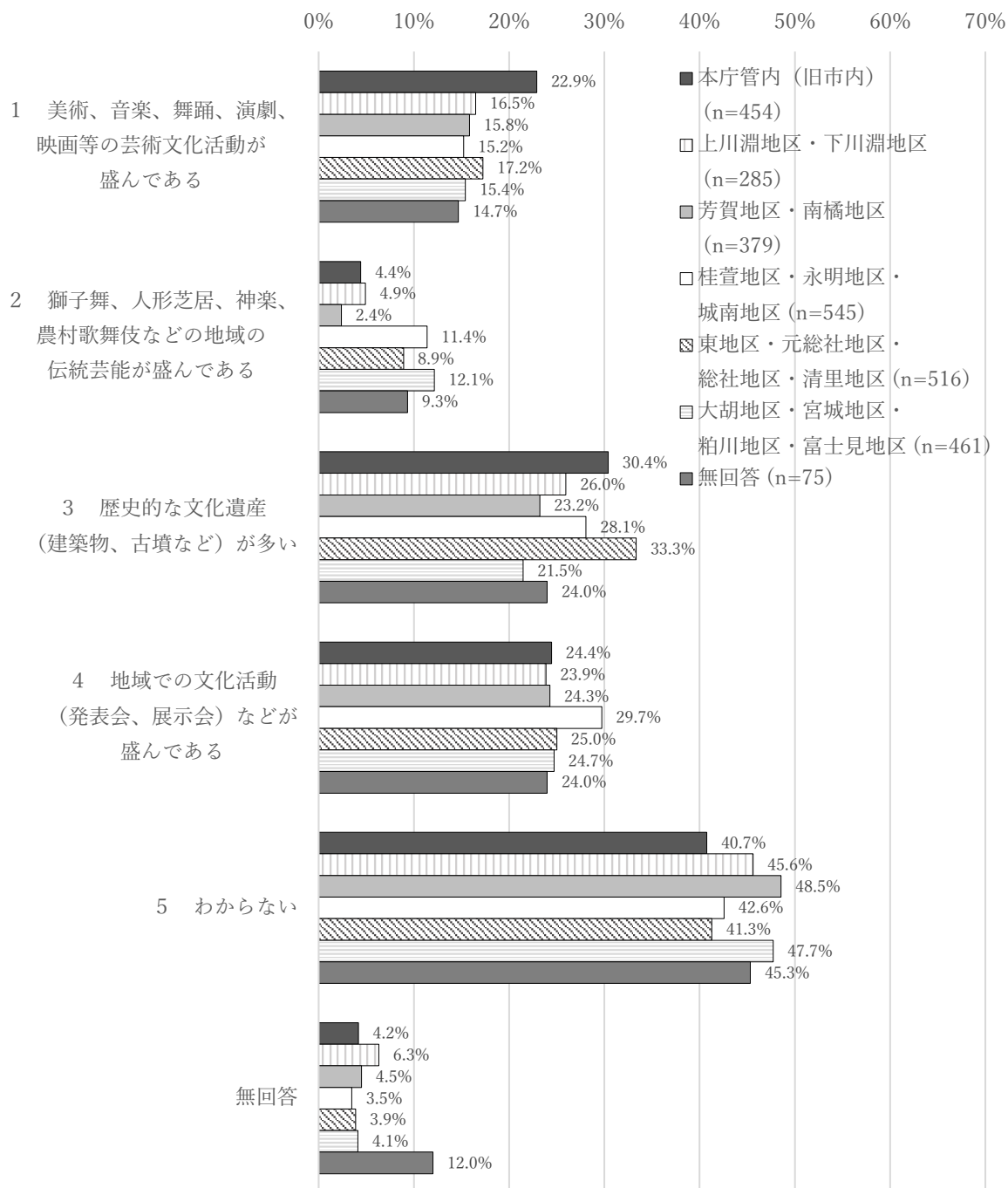
【性別】



【年代別】



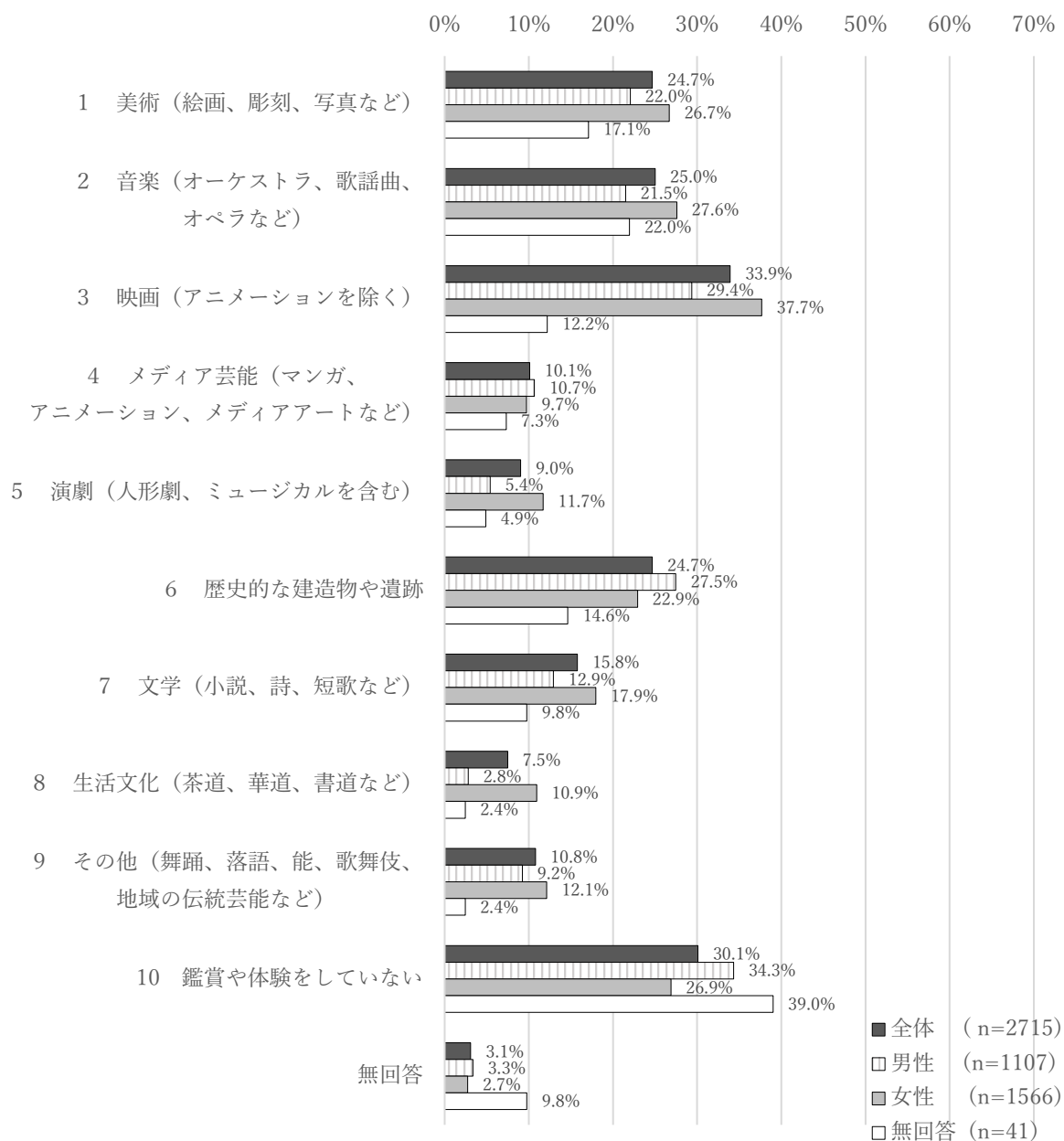
【地区別】



※40%～50%の市民が、前橋市の文化についてのイメージがわからないと回答。
 ※本庁地区（旧市内）と「東・元総社・総社・清里地区」の人は、それぞれ約30%が「3 歴史的な遺産（建築物、古墳など）が多い」というイメージを持っている。

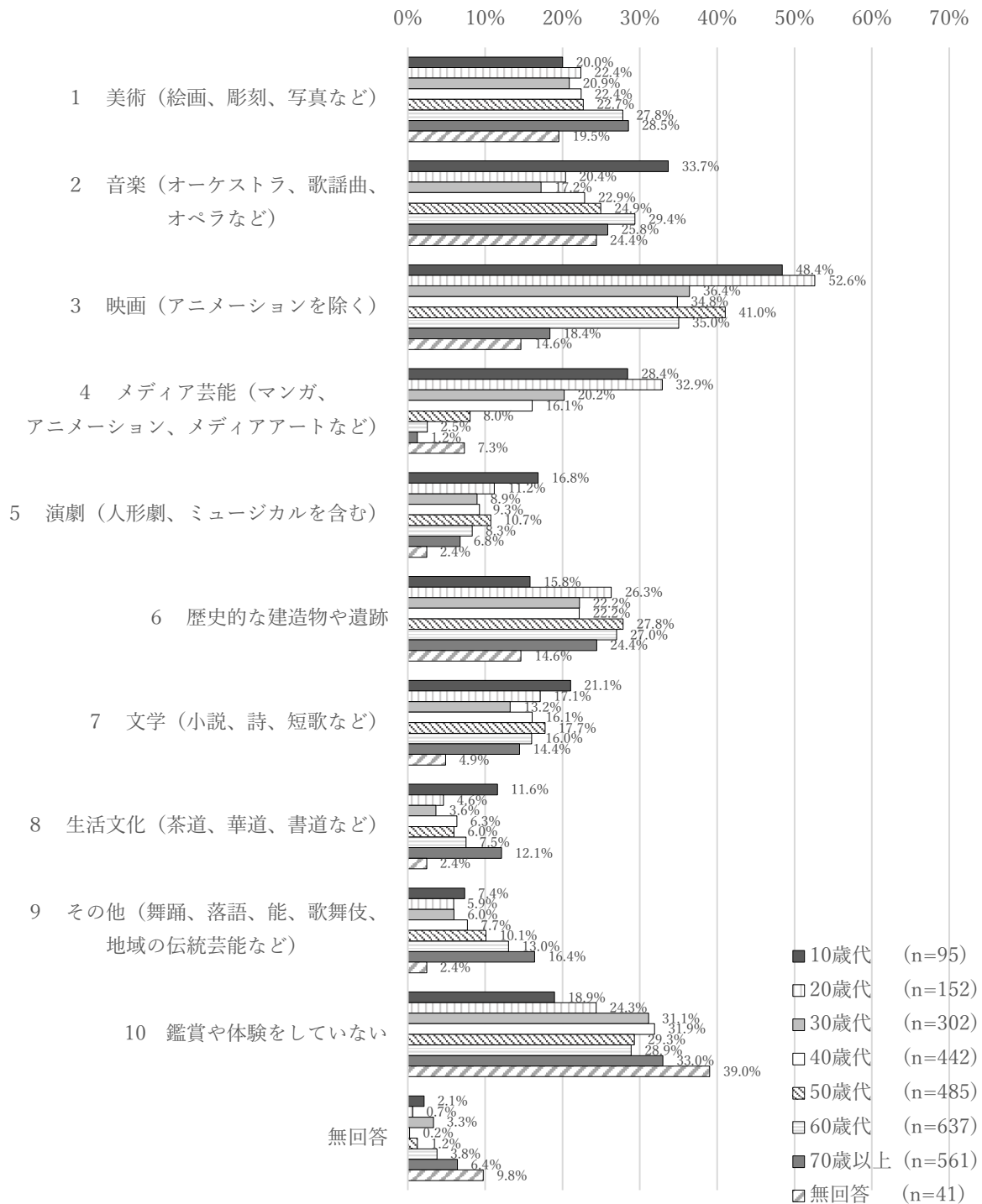
【問22】過去1年間にどのような文化芸術の鑑賞や体験をしましたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

【性別】



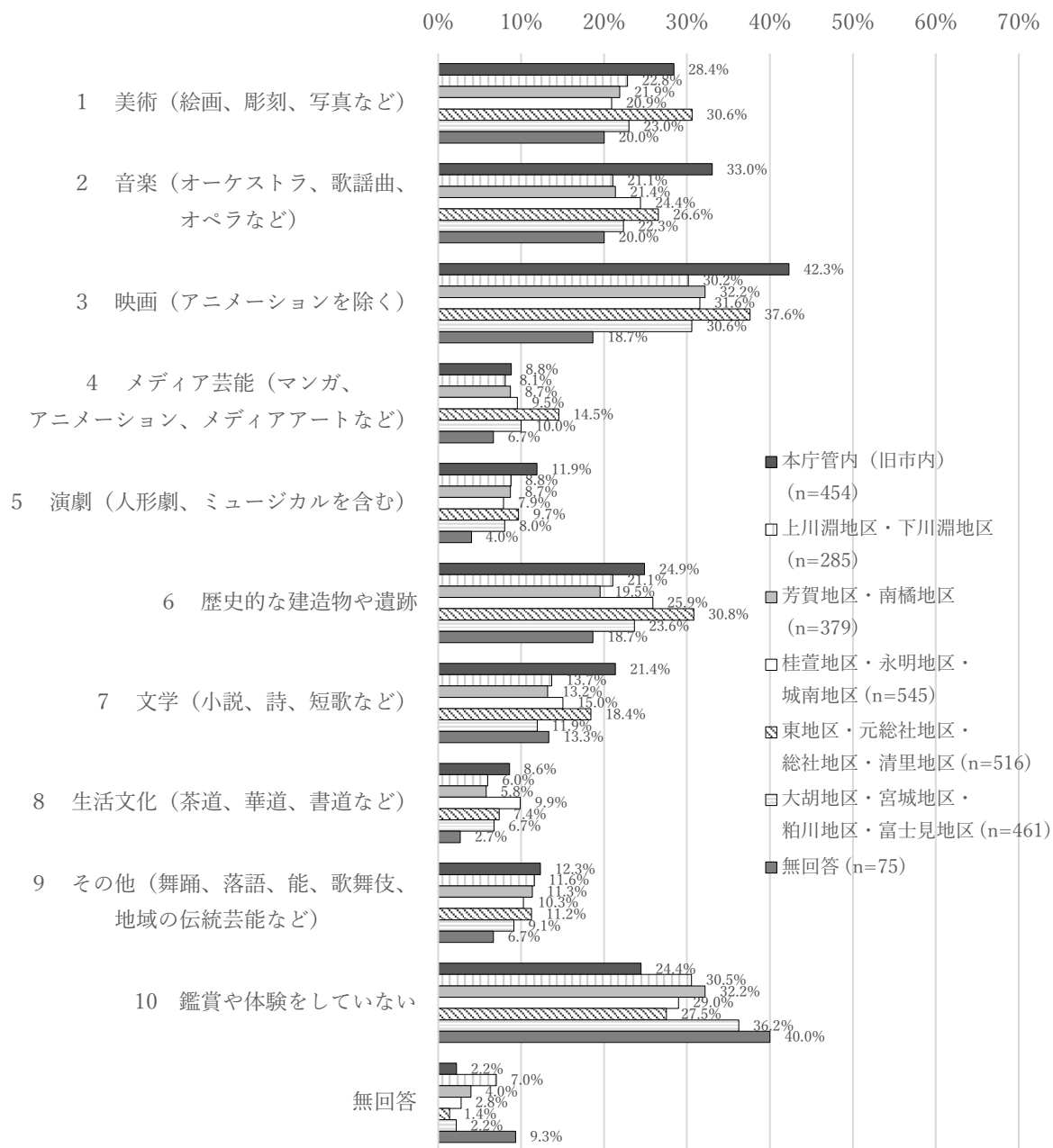
※性別においては、比較的女性の方が文化芸術に対して、鑑賞や体験をしている傾向にある。「6 歴史的な建造物や遺跡」については、男性の割合が高くなっている。

【年代別】



※年代別において、「3 映画」、「4 メディア芸能」について10歳代と20歳代の回答が高い。「10 鑑賞や体験をしていない」について、70歳以上の回答が高くなっている。

【地区別】

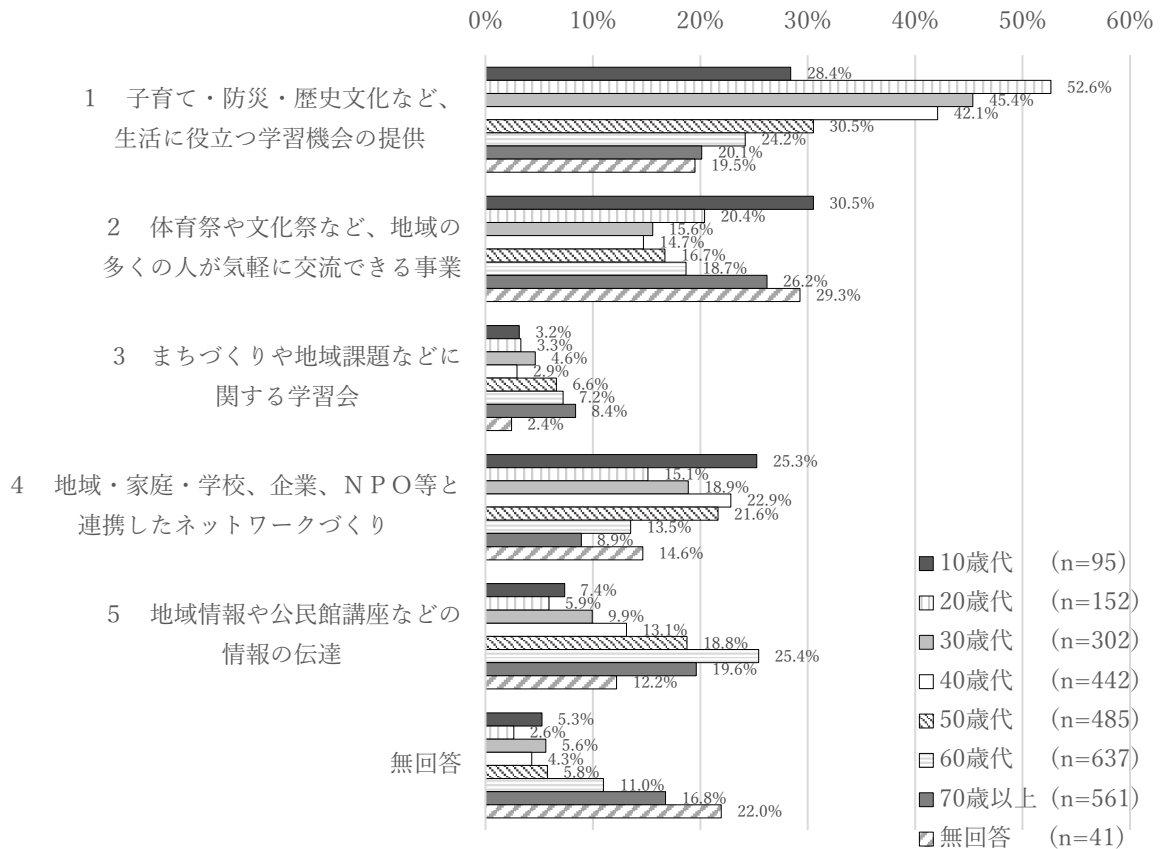
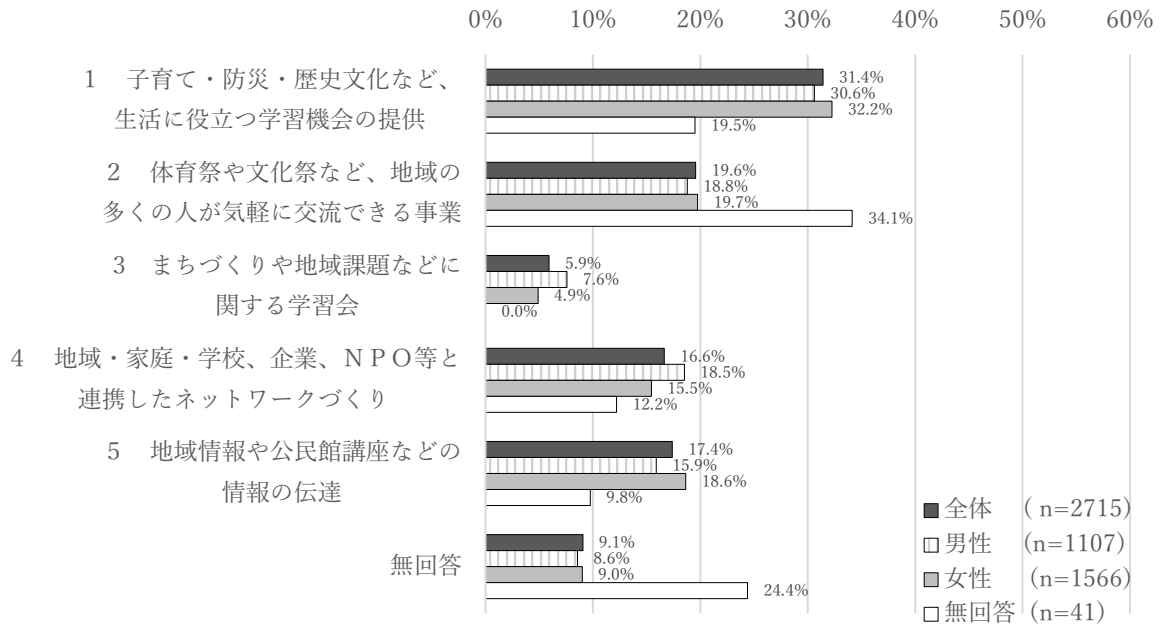


※「本庁管内 (旧市内)」に住んでいる市民は、「1 美術」「2 音楽」「3 映画」「6 歴史的な建造物や遺跡」の回答が多く、文化芸術の鑑賞や体験をしている。アーツ前橋や県民会館や市民文化会館などの文化施設、映画館、歴史的建造物があり、芸術に触れる機会も多く、鑑賞や体験をしている方が多い。

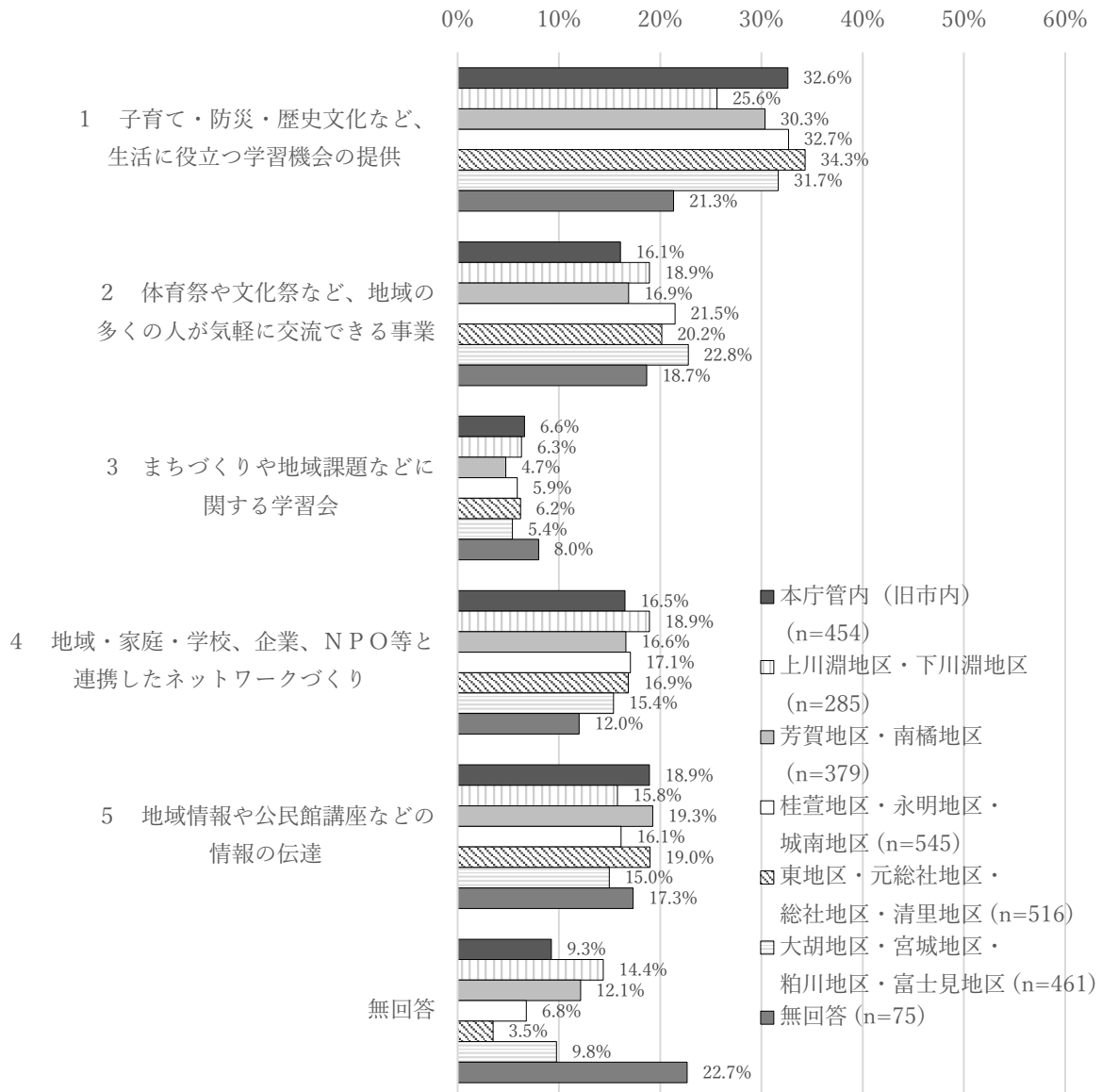
※「大胡・宮城・粕川・富士見地区」に住んでいる市民は、「10 鑑賞や体験をしていない」の回答が多く、文化芸術の鑑賞や体験をしていない人が多い。

【問23】公民館やコミュニティセンターに期待する取り組みはどれですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

【性別・年代別】



【地区別】



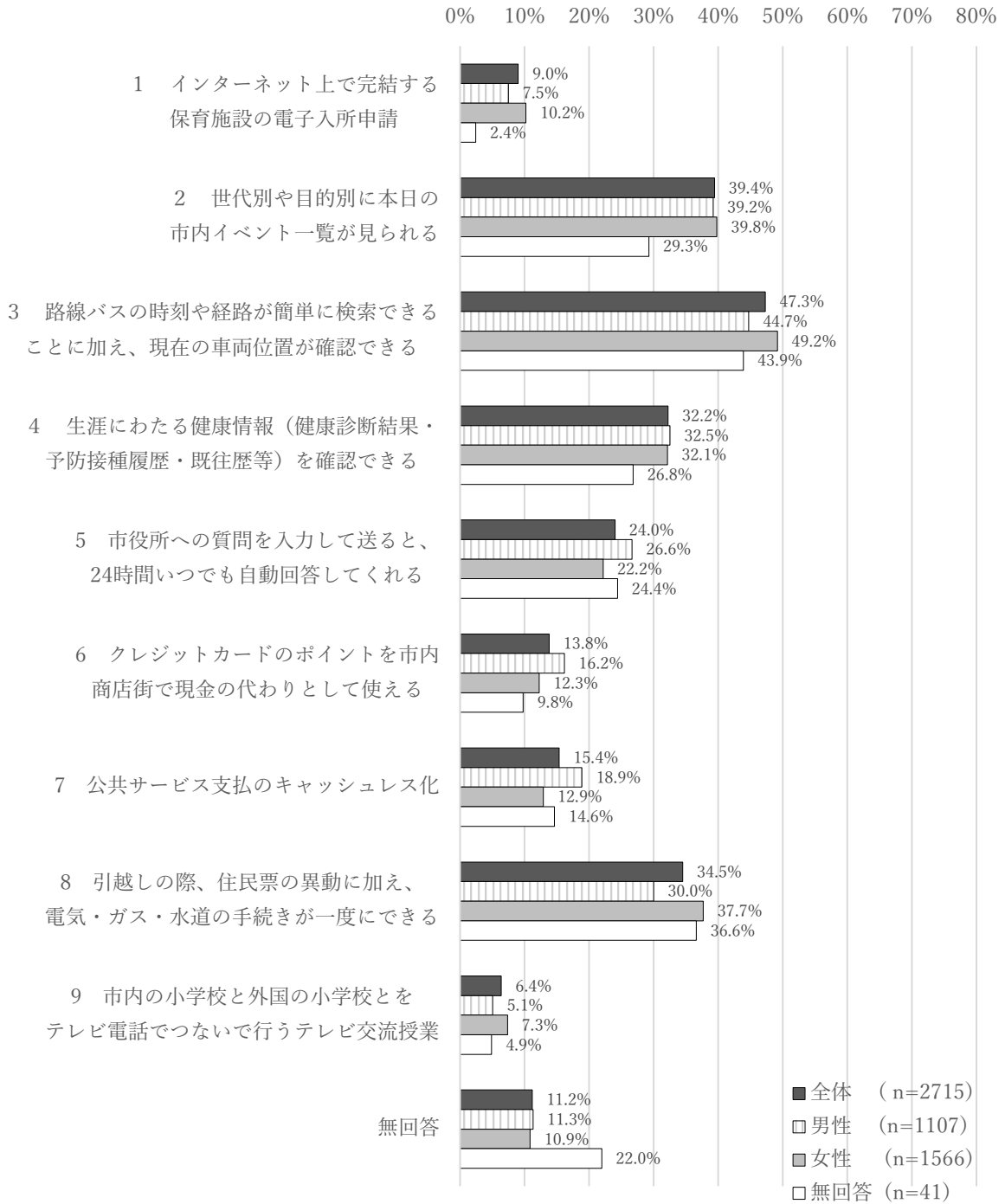
※市民は、「1 子育て・防災・歴史文化など、生活に役立つ学習機会の提供」を公民館やコミュニティセンターに期待している。「1 子育て・防災・歴史文化など、生活に役立つ学習機会の提供」と回答した方は、「上川淵・下川淵地区」は、25.5%と少ないが、他の地区では、30%を超えている。

※「2 体育祭や文化祭など、地域の多くの人気軽交流できる事業」はどの地区も約16～23%で、地域交流の取り組みを期待する声は比較的少ない。

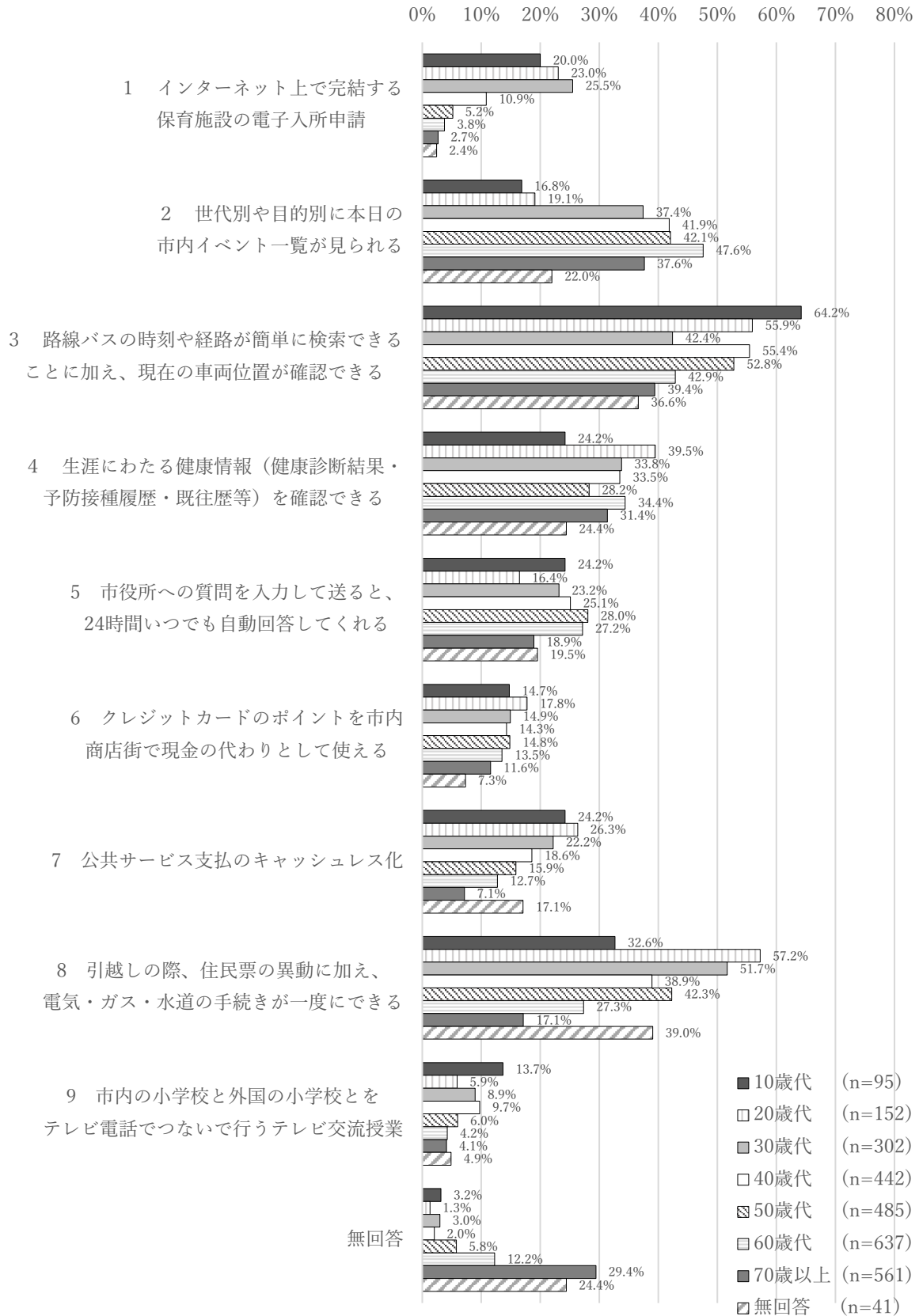
■ 情報政策について

【問24】スマートフォン等を活用したサービスについて、あるといいなと思うものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

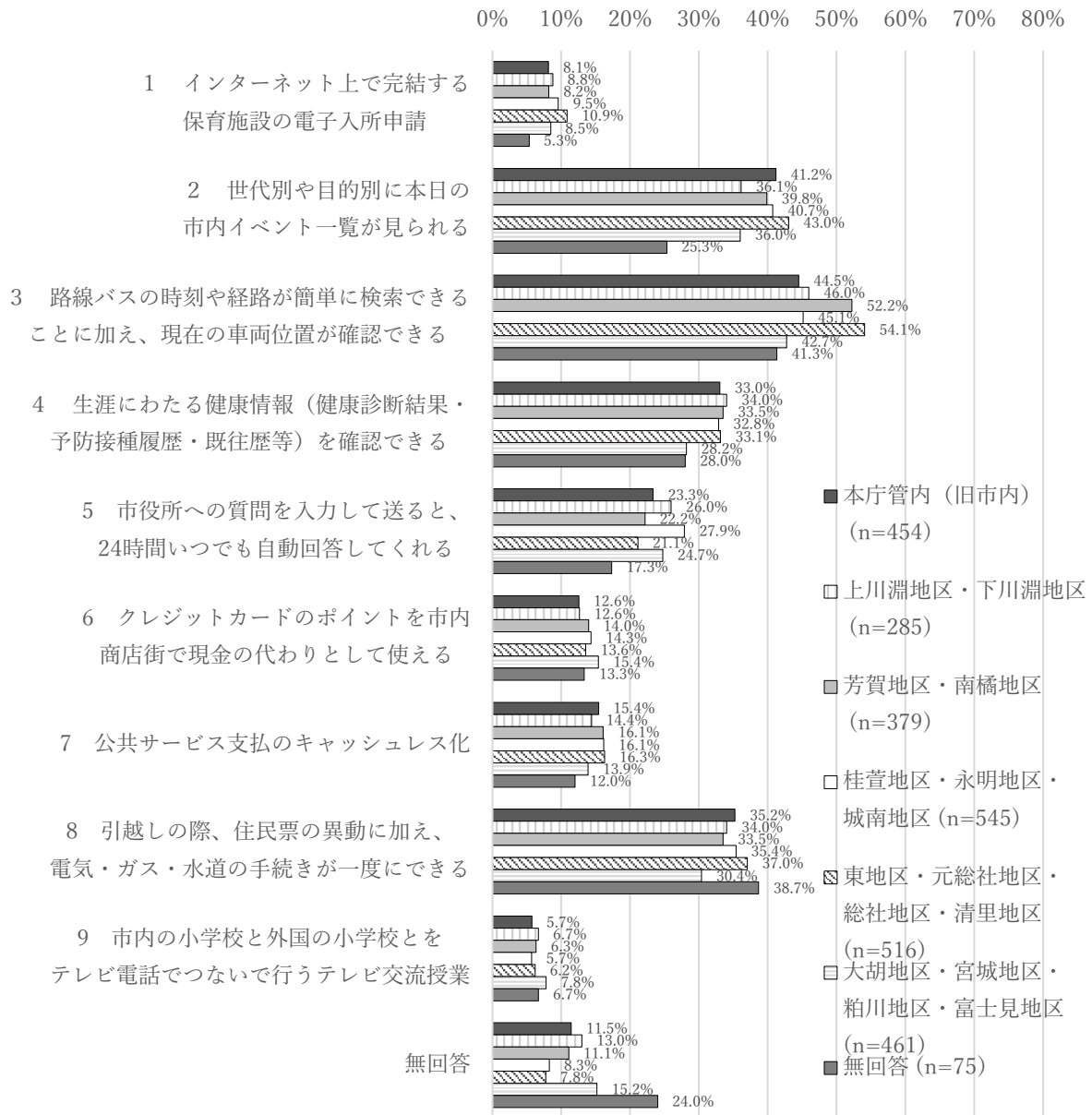
【性別】



【年代別】



【地区別】



※若年層の回答率が少ないため、保育・学校教育・公共サービス支払のキャッシュレス化に関する項目の回答は少ない。路線バス時刻の情報や健康情報、引っ越しの手続きなど生活に役立つ情報のサービスを求めている。

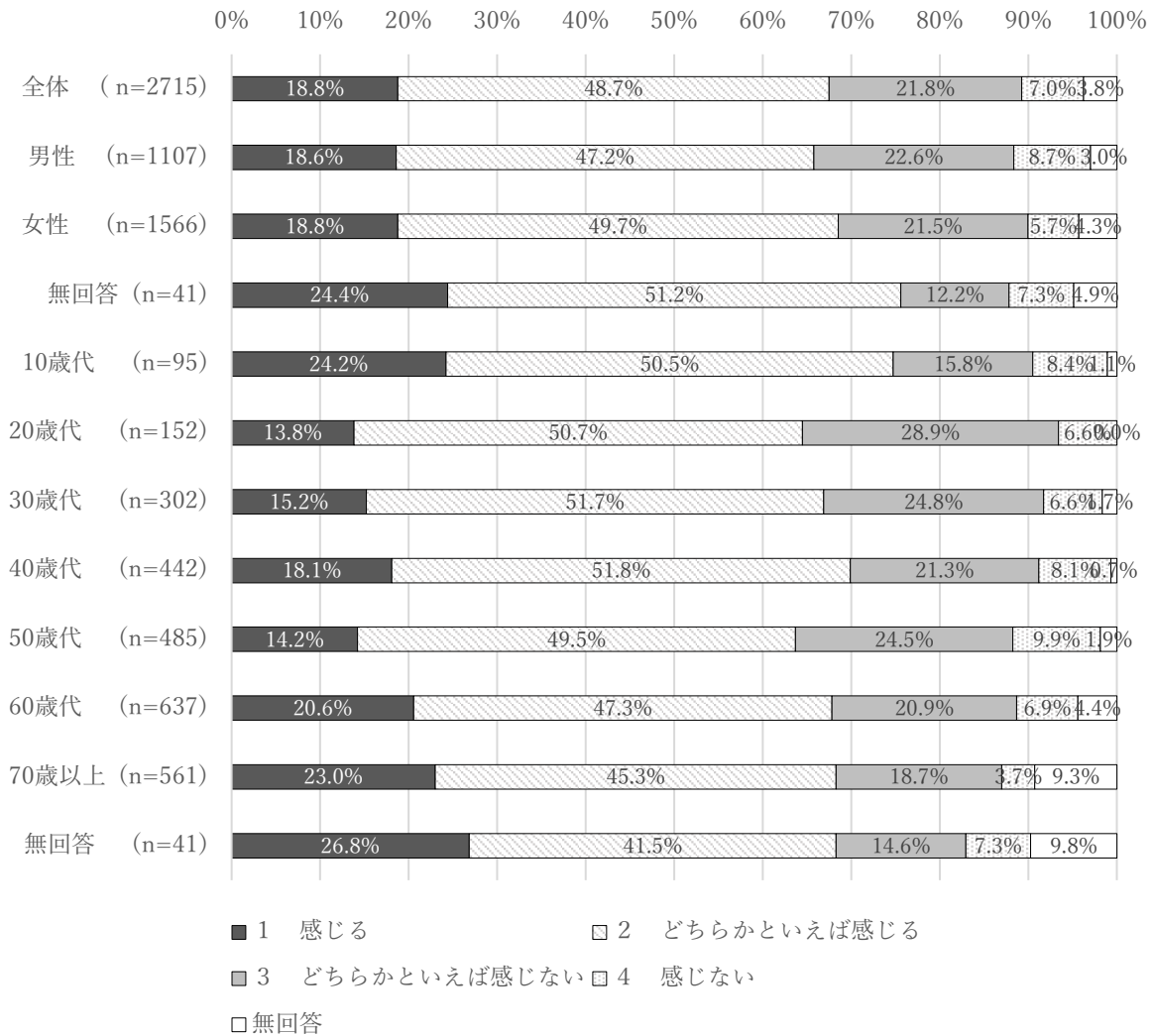
※路線バス時刻情報を特に求めているのは、本庁地区（旧市内）から離れている「芳賀・南橋地区」「東・元総社・総社・清里地区」の人で、50%を超えている。「大胡・宮城・粕川・富士見地区」の方は、本庁地区（旧市内）から離れていても50%を超えていない。

■ 緑に関することについて

【問25】 緑に関することについてどのように感じていますか。あてはまるものを1つだけ
 選び、番号に○をつけてください。

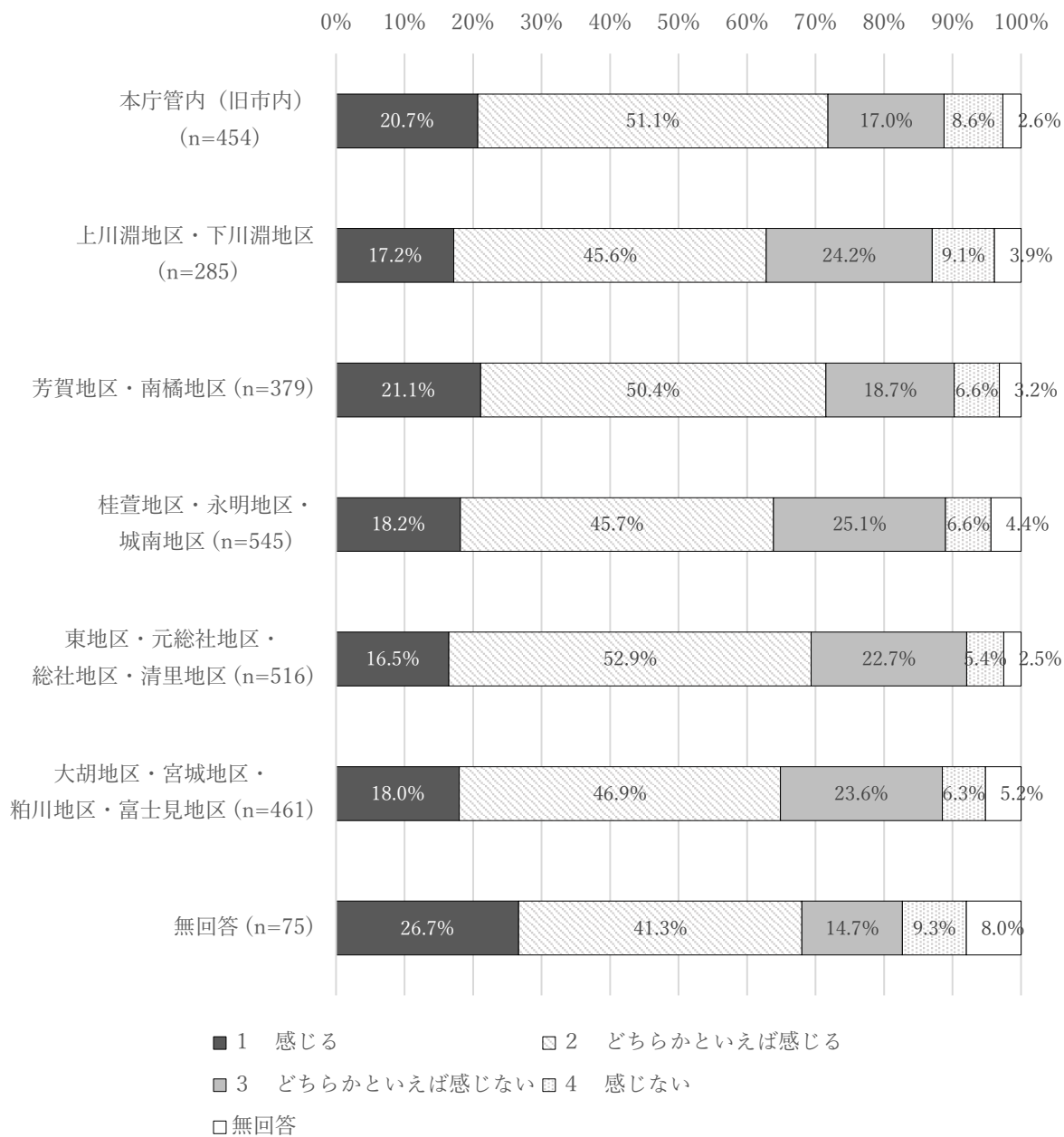
(1) 前橋の緑の景観に風格を感じますか。

【性別・年代別】



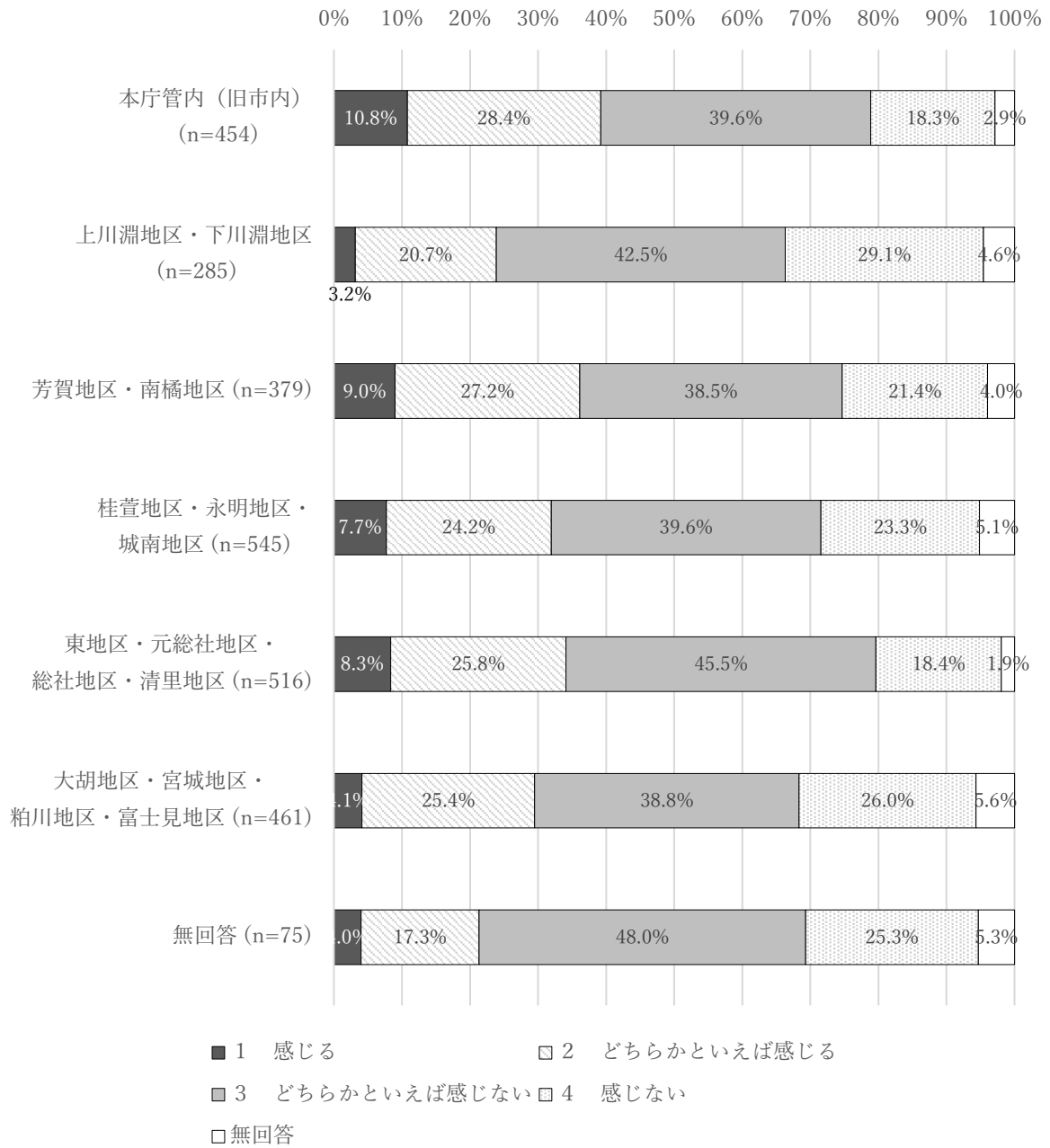
※性別による大きな違いは見られないが、年代別においては、10歳代で「1 感じる」と回答した割合が高く、「2 どちらかといえば感じる」と合わせると、約75%と高い割合であった。

【地区別】



※「1 感じる」と回答した方が、「本庁地区（旧市内）」と「芳賀地区・南橘地区」が50%を超えている。「本庁地区（旧市内）」には、前橋公園・敷島公園が、「芳賀地区」には嶺公園がある。南橘地区からは敷島公園や嶺公園にアクセスしやすいからではないか。

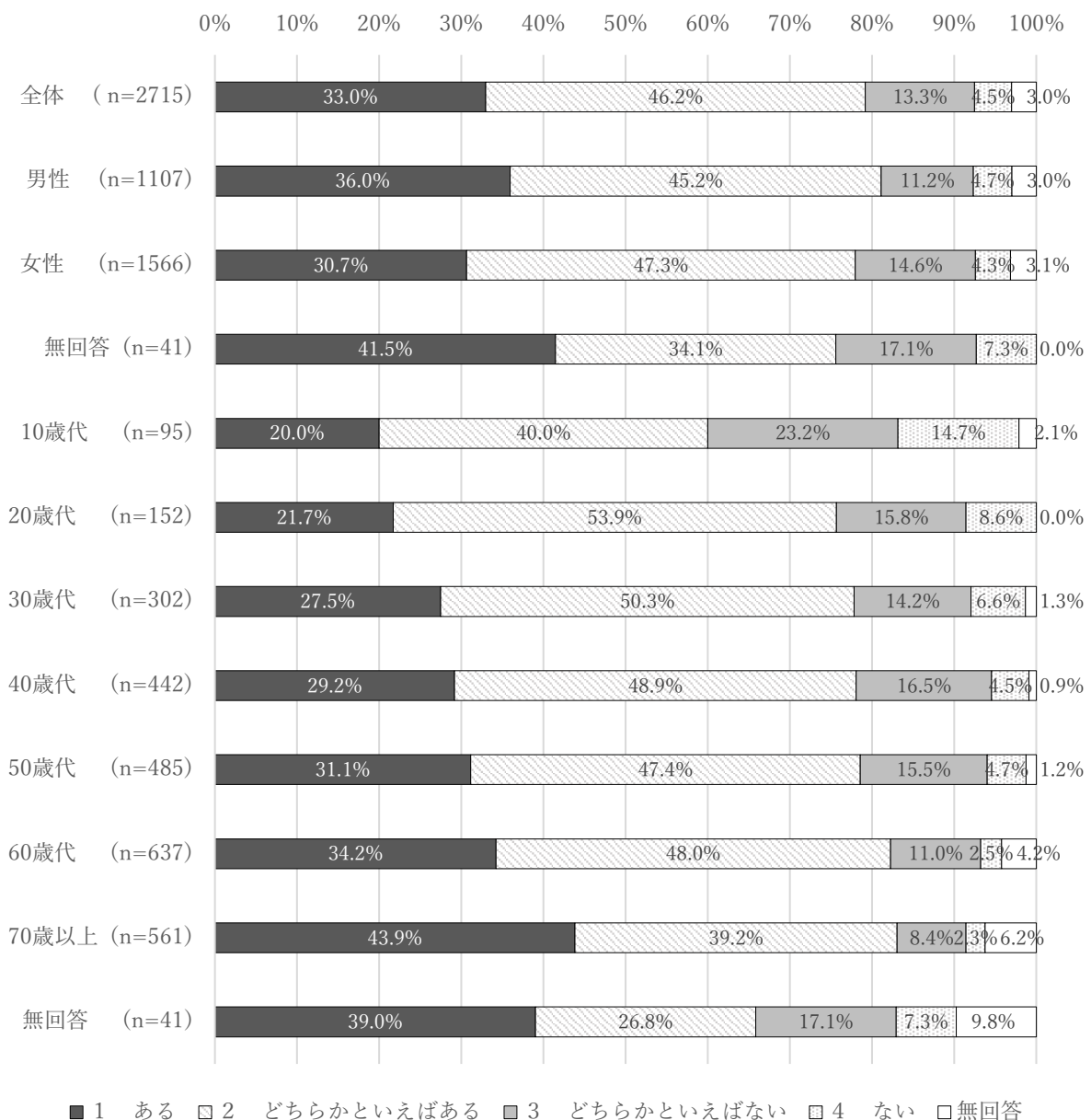
【地区別】



※ 「3 どちらかといえば感じない」と回答した方が、どの地区も約40%いる。

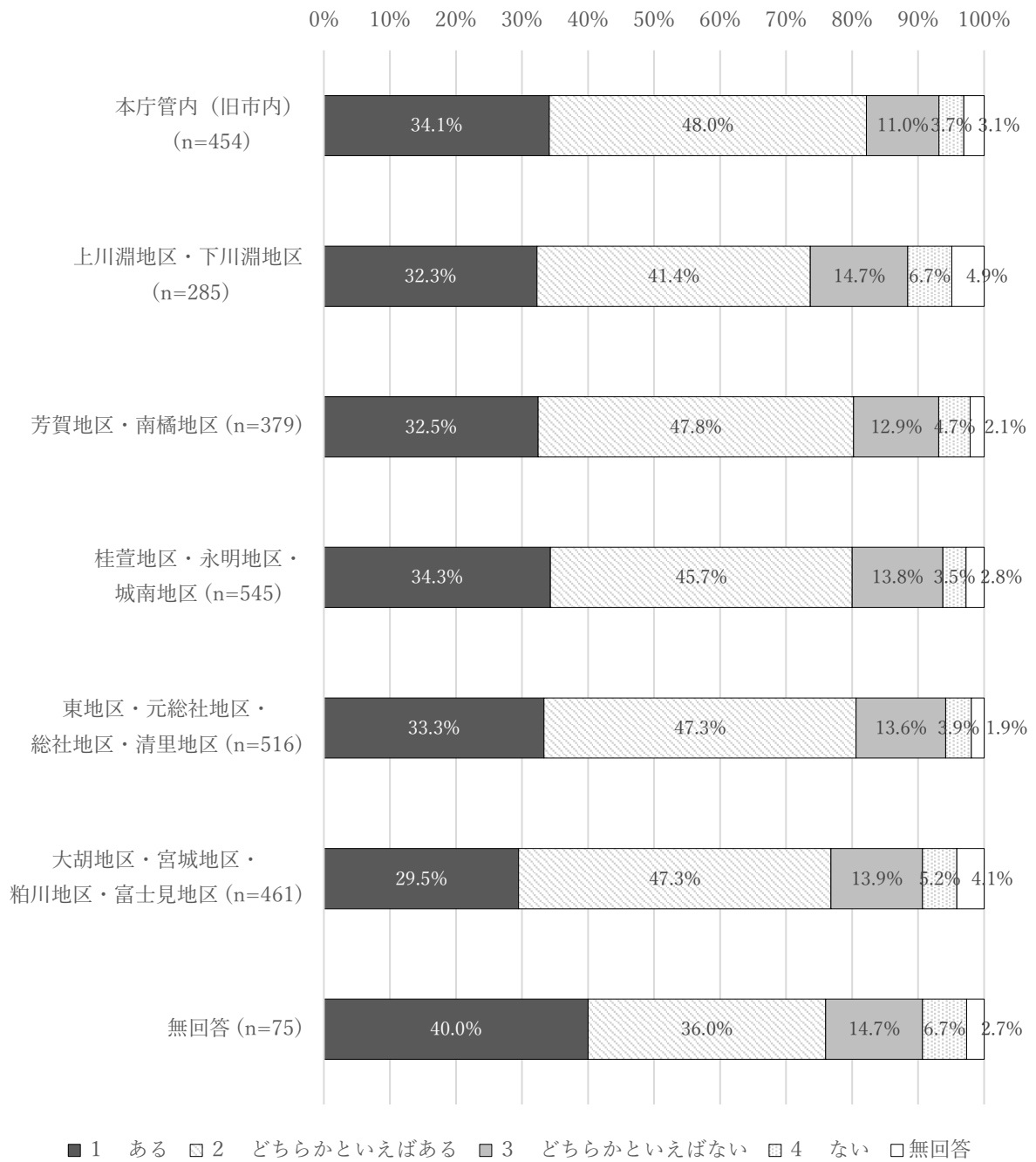
(3) あなたは「水と緑」に関心がありますか。

【性別・年代別】



※10歳代において、他の年代と比べて、「1 ある」、「2 どちらかといえばある」と回答した割合が少なく、年代が上がるにつれて関心への割合が高くなっている。

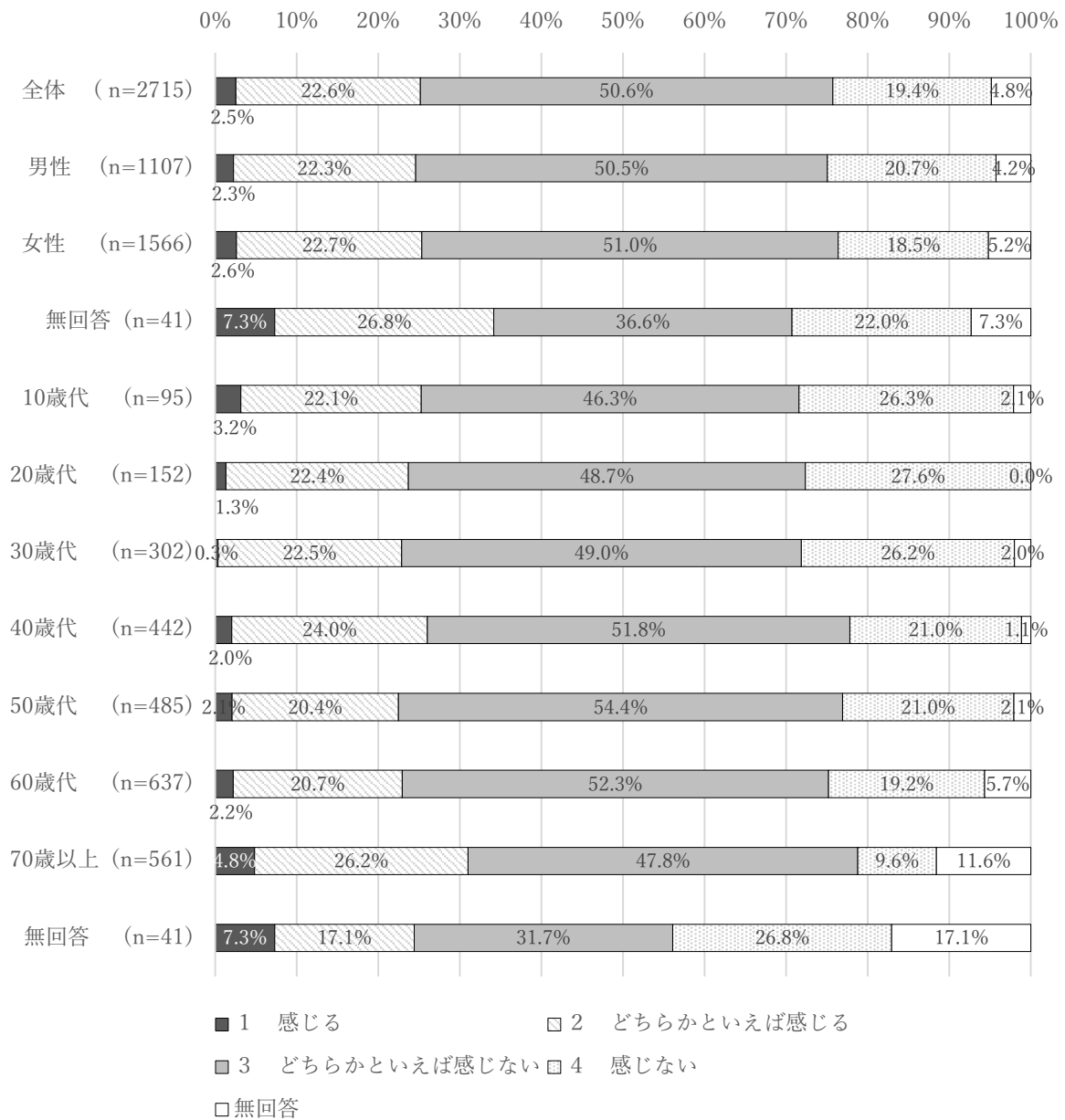
【地区別】



※ 「1 ある」「2 どちらかといえばある」と回答した方が、どの地区も約 80%近くいて、市民は「水と緑」に非常に関心がある。

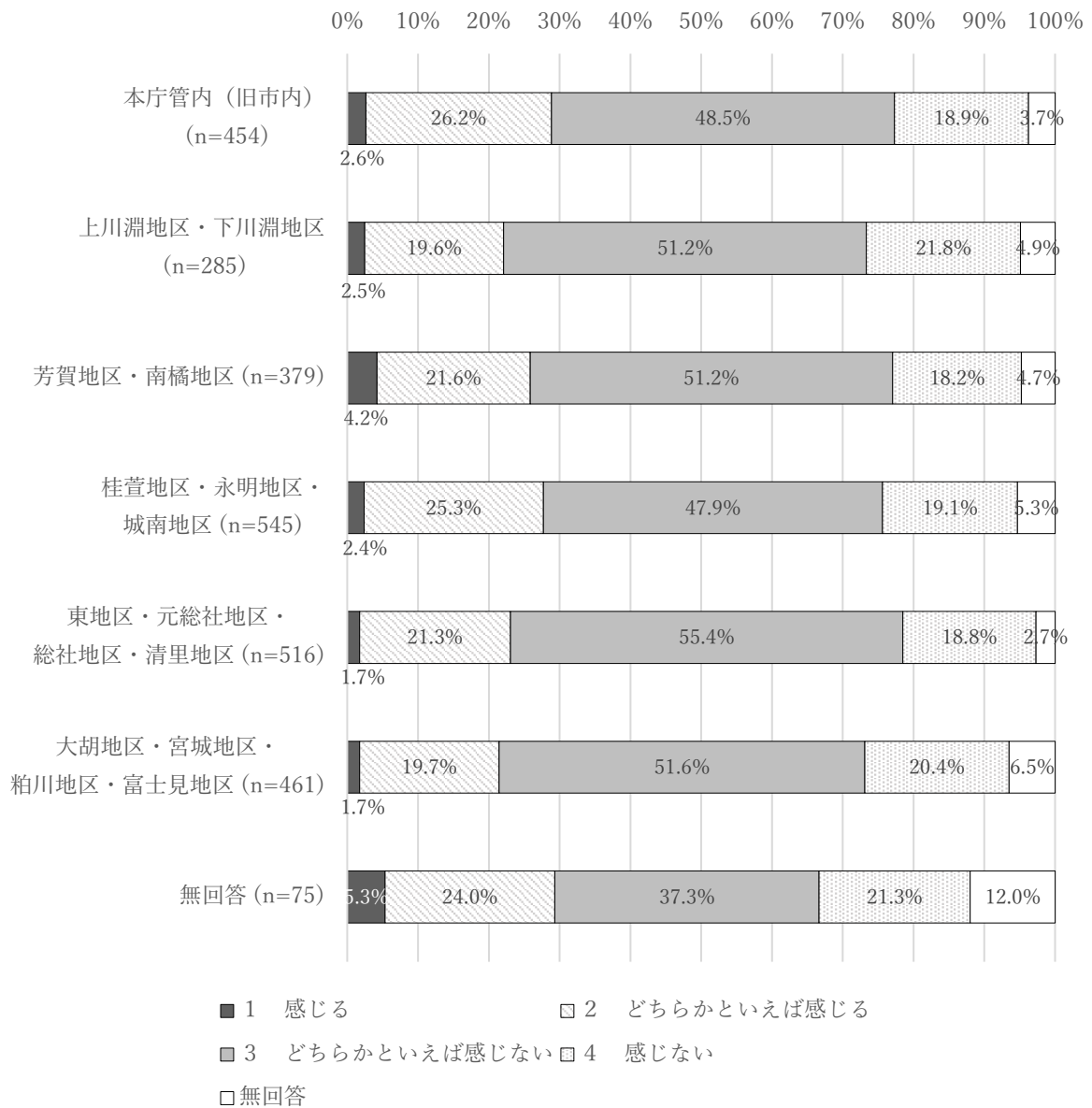
(4) 「水と緑」に関する市民活動が市内で活発に行われていると感じますか。

【性別・年代別】



※性別、年代別のすべてにおいて「3 どちらかといえば感じない」と回答した方が、約50%と高い割合を示している。

【地区別】

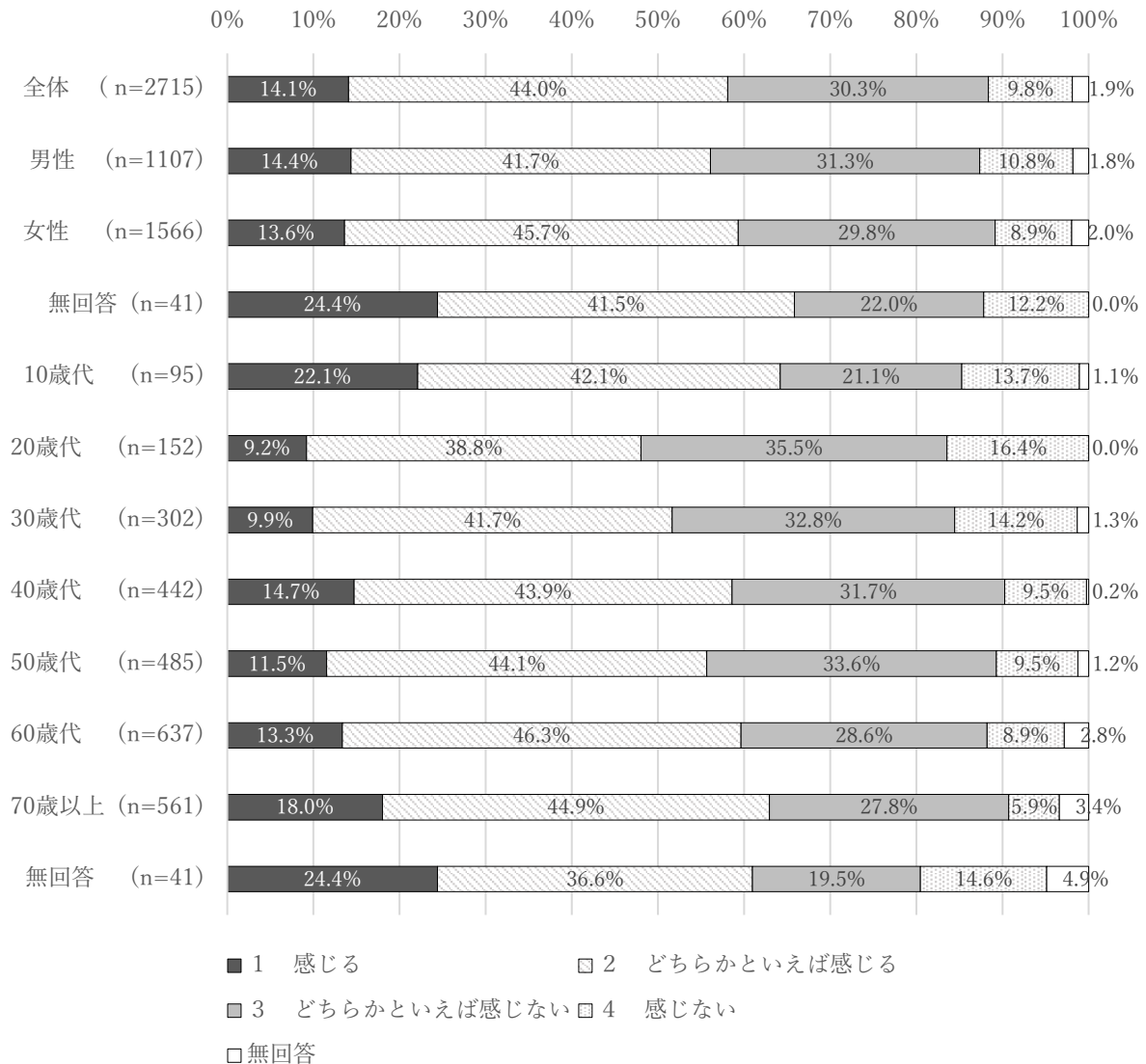


※「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答した方が、どの地区も約70%近くいる。「水と緑」に関する市民活動を知らない人が多い。

■ シティプロモーションについて

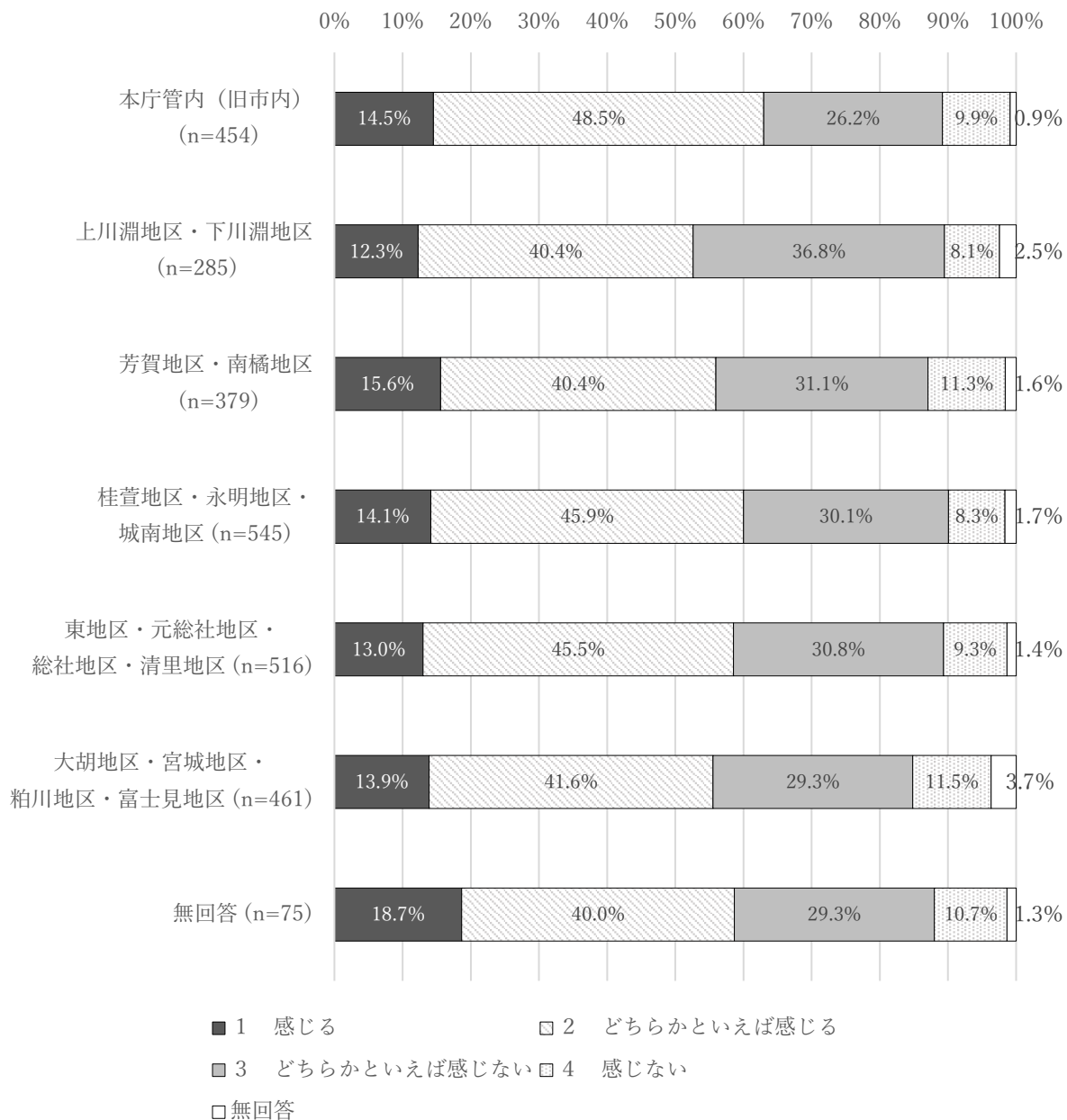
【問26】前橋市の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを感じますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

【性別・年代別】



※性別において、大きな違いは見られない。年代別においては、10歳代で「1 感じる」、「2 どちらかといえば感じる」と回答した割合が他の年代と比べると高い。一方で20歳代では、「1 感じる」、「2 どちらかといえば感じる」と回答した割合が他の年代と比べると低い。

【地区別】



※「1 感じる」「2 どちらかといえば感じる」と回答した方は、どの地区も約 60%近くいて、半数以上は誇りを感じている。

※一方で、「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答した方は、どの地区も約 40%近くいて、誇りを持たずに不満を持っている人がいる。

